

NEC

P C 9 8 -

NX

活用ガイド ソフトウェア編

アプリケーションの
概要と削除/追加

再セットアップするには

他のOSを利用する

トラブル解決Q&A

PC98-**NX** シリーズ

Mate NX

(Windows 98インストールモデル)

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

添付品の確認、本機の接続、Windows 98のセットアップ
→『はじめにお読みください』

はじめ
にお読
みくだ
さい

本機を安全に使うための情報
→『安全にお使いいただくために』

安全にお
使いいた
だくため
に

Windows 98の基礎知識、基本的な操作方法
→『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』
またはWindows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の
『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』



本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定)
→『活用ガイド ハードウェア編』



このマニュアルです

本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追
加、再セットアップ、トラブル解決方法
→『活用ガイド ソフトウェア編』



本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明
→『ハードウェア拡張ガイド』



ディスプレイの利用方法
→液晶ディスプレイ、CRTディスプレイがあり、マニュアルが添
付されています。ご使用のモデルによって異なります。

ユーザ
ズマニ
ュアル

選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェ
ア)の利用方法
→一太郎9パック、一太郎9 & 1-2-3 98、Word & Excelがあり、マニ
ュアルが添付されています。
ご使用のモデルによって異なります。

ワード
プロセ
ッサ、表
計算

ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンスとサポー
ト情報の紹介
→『メンテナンス&サポートのご案内』



パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサー
ビス網の紹介
→『NEC PC あんしんサポートガイド』



Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウ
ェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft
関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介
されています。

<http://www.microsoft.com/japan/info/press>



はじめに

このマニュアルは、本機にあらかじめインストールされているアプリケーション、添付されているアプリケーションの削除/追加、再セットアップの方法、さまざまなトラブルの解決、対応方法を説明しています。

ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア/ESMPROについては、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様に併せてお読みください。なお、選択できる項目は、今後増える可能性があります。

型番と機能仕様についての詳細は『活用ガイド ハードウェア編』の「PART3 付録」をご覧ください。

1998年11月 初版

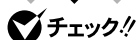
このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



トラブル事例を示します。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の機種を指します。 PC98-NX シリーズ Mate NX (Windows 98インストールモデル) 本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかります。型番の読み方については、『はじめにお読みください』と『活用ガイド ハードウェア編』をご覧ください。
本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないPC 98-NX シリーズ Mate NX(Windows 98インストールモデル)を指します。
アプリケーションなしモデル	選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア/ESMPRO)がない状態でご購入いただいたモデルです。
ESMPROモデル	ESMPROクライアントライセンスが添付された状態でご購入いただいたモデルです。
一太郎モデル	一太郎9バックがインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
一太郎9バック	一太郎9バック(一太郎9、三四郎8/R.2U、花子9、FullBand1.2U with ATOK12)、JUSTSYSTEM電子辞書ライブラリ(研究社新英和・和英中辞典、岩波国語辞典)添付)
Wordモデル	Word98、Excel97、Outlook98がインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。

Word & Excel	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™98 for Windows®, Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic マルチメディア統合辞典 Version2.0(添付)
一太郎9 & 1-2-3 98モデル	一太郎9とロータス1-2-3 98がインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
一太郎9 & 1-2-3 98	一太郎9、ロータス1-2-3 98
スーパーディスクドライブ搭載モデル	スーパーディスクドライブが搭載された状態でご購入いただいたモデルです。
「スタート」ボタン→ 「設定」→「コントロール パネル」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します
『 』	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 98 Windows 95	Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版 Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows NT、 Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 および Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0
Windows NT Workstation 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
Windows NT Server 4.0	Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0
一太郎9	- 一太郎9モデルの場合 一太郎9バック(一太郎9、三四郎8/R.2U、花子9、FullBand1.2U with ATOK12)、JUSTSYSTEM 電子辞書ライブラリ(研究社新英和・和英中辞典、岩波国語辞典)(添付) - 一太郎9 & 1-2-3 98モデルの場合 一太郎9
Excel, Word, Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™98 for Windows®, Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic マルチメディア統合辞典 Version2.0(添付)

ESMPROクライアント ライセンス	ESMPRO/ClientManager Ver2.0/Ver2.1、 ESMPRO/DeliveryManger Ver4.0/Ver4.1/Ver5.0(ライセンス FD)
1-2-3 98	ロータス1-2-3 98
Internet Explorer 4.01	Microsoft® Internet Explorer 4.01
RSA SecurPC	RSA SecurPC™ for Windows® 98/95 version 1.1.3J
スーパーディスク	SuperDisk™

このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・このマニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。
-

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパノコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。一太郎、花子、FullBand、ATOK、JustNet、Shurikenは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。商標「三四郎」は、株式会社エス・エスピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

「一太郎8」「一太郎9」「一太郎9パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、これらにかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

VirusScanは、米国Network Associates及び関連会社の商標、または登録商標です。

pcANYWHERE32はSymantec Corporationの米国における登録商標です。

AnitoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Designのロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の商標または登録商標です。RSA SecurPCおよびSecurity Dynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Photo CD portions copyright Eastman Kodack Company 1995

RIVA128は、STMicroelectronics, Inc. の登録商標です。

RAGE IICはATI Technologies, Inc. の商標です。

YAMAHAはヤマハ株式会社の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

SuperDisk、SuperDiskロゴは、米国イメージ社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

このマニュアルの構成

このマニュアルは次のような内容で構成されています。

PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加

各アプリケーションソフトウェアの概要と削除及び追加の方法について説明しています。

PART2 再セットアップするには

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップ CD-ROM」を使って、本機のシステムやアプリケーションを出荷時の状態に復元する方法を説明しています。

PART3 他の OS を利用する

Windows98 の MS-DOS モードを利用する際の注意事項や、本機で Windows NT を利用する場合のセットアップ手順及びアップデート手順について説明しています。

PART4 トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたとき、何か疑問があるときはここを読んでください。

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii
ご注意	v
このマニュアルの構成	vi
目次(このページです)	vii
索引	xii

アプリケーションの概要と 削除/追加 1

この章の構成	2
ヘルプについて	2
概要について	2
削除について	2
追加について	4
知っておきたい便利な機能とアプリケーション	6
一太郎9パック(一太郎モデルのみ)	8
概要	8
削除	11
追加	12
Word 98/Excel 97/Outlook 98(Wordモデルのみ)	14
概要	14
削除	15
追加	17
一太郎9(一太郎9 & 1-2-3 98モデルのみ)	21
概要	21
削除	21
追加	23
ロータス1-2-3 98(一太郎9 & 1-2-3 98モデルのみ)	25
概要	25
削除	25
追加	27
RSA SecurPC	29
概要	29
削除	30
追加	30

VirusScan	32
概要	32
使用上の注意	33
削除	35
追加	35
DMITool	38
概要	38
削除	40
追加	41
pcANYWHERE32 EX	43
概要	43
削除	44
追加	45
Masty Data Backup	46
概要	46
削除	47
追加	48
CyberTrio-NX	49
概要	49
各モード間の移行方法	50
各モードの注意事項	51
パスワードの設定方法	52
ベーシックモードの利用範囲	52
カスタムモードの利用範囲	53
削除	53
追加	54
CyberWarner-NX	55
概要	55
CyberWarner-NXを起動/常駐させる方法	55
CyberWarner-NXを終了する方法	56
ログファイルの表示	56
ログ対象ファイルの説明	57
削除	59

追加	60
Timer-NX	61
概要	61
タイマ機能の設定を行う	62
リング機能の設定を行う	66
オフタイマ機能	69
削除	70
追加	71
NEC Soft MPEG1.0	72
概要	72
削除	73
追加	74
プレーヤ-NX	76
概要	76
削除	78
追加	78
文豪DP/LANシリーズコンバータ	79
概要	79
削除	80
追加	81
Acrobat Reader	82
概要	82
削除	82
追加	83
英語モードフォントを使用する	84
日本語モードフォント、英語モードフォントについて	84
英語モードフォントへの切り替え(追加)	85
日本語モードフォントへの切り替え(削除)	86
液晶ディスプレイ調整ツール	87
概要	87
削除	88
追加	88

PART

2

再セットアップするには 89**再セットアップについて** 90

再セットアップが必要になるとき 90

再セットアップする前の注意 91

標準再セットアップとカスタム再セットアップ 92

工場出荷時と同じ状態にする

- 標準再セットアップ 93

標準再セットアップの手順 93

ドライブ領域を変えて再セットアップする

- カスタム再セットアップ 101

カスタム再セットアップの手順 101

フォーマットできなかったハードディスクをフォーマットする 119

FAT32ファイルシステムの利用 120

FAT32ファイルシステムについて 120

FAT32を使用する場合の注意 120

FAT32の設定方法 121

CドライブをFAT32にして再セットアップする 122

PART

3

他のOSを利用する 123**Windows 98でMS-DOSモードを利用する** 124

MS-DOSモードを利用する 124

CD-ROMドライブ(本機内蔵CD-ROMドライブ) 126

サウンド機能 129

Windows NT 4.0を利用する 130

Windows NT 4.0をセットアップする前に 130

Windows NT 4.0のセットアップとアップデート 133

本機でWindows NT 4.0を利用するときの注意 148

スーパーディスク3モード対応ドライバと

専用フォーマットユーティリティについて 149

トラブル解決 Q&A 153

トラブルが起きたとき	154
トラブルを解決するには(ヒント).....	155
お問い合わせの前に(トラブルチェックシート).....	158
はじめて電源を入れたら	160
電源を入れたが	162
電源を切ろうとしたが	170
スタンバイ機能を使おうとしたら	172
パソコンがこわれそう	174
画面がおかしい	176
画面の設定を変えようとしたら	177
ファイル、フォルダがおかしい	181
音がおかしい	184
マウスを動かしても	185
文字を入力しようとしたら	187
ファイルを保存しようとしたら	190
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続しようとしたら	192
FAXモデムを使おうとしたら	194
印刷しようとしたら	195
フロッピーディスクを使っていたら	197
ハードディスクを使っていたら	200
CD-ROMを使っていたら	204
周辺機器を取り付けようとしたら	210
メモリが足りない、増やしたい	213
アプリケーションを使っていたら	214
タイマ機能を使おうとしたら	221
日付の設定を変えようとしたら	222
コンピュータウイルス対策について	223
その他	226
トラブルを予防するには	228
アフターケアについて	230

索引

ページ太字:説明や作業のあるページを指します。

ページ細字:図や文章に出てくるページを指します。

英数字

「_」(アンダースコア、 アンダーバー)	189	FAT	120
「_」(チルダ)	188	FAT16	102
1-2-3 98	21	FAT32ファイルシステム	120
1Gバイト	203	FAXモデム	194
1Mバイト	203	FDISK	102
2000年問題	226	File Allocation Table	120
2線式	194	FullBand	8
98AP情報	226	High Color	180
Acrobat Reader	82	Internet Explorer3.02	220
ATOK12	218	Invalid system disk Replace the disk....	160, 167
BIOSセットアップメニュー	169	IPA	225
BIOSブラウザ	40	LAN	192
CD-ROM	3, 204	LANシリーズ	79
CD-ROM ドライブ	126	Masty Data Backup	46
CRT	163	MIFブラウザ	38
CyberTrio-NX	49	MOディスク	190
CyberWarner-NX	55	MPEGファイル	72
DDC	176, 178	MS-DOS	125, 182
DMITool	38	MS-DOSプロンプト画面	176
DMTF	38	MS-DOSモード	124
DP	79	Operating System not found	168
Excel 97	14	Outlook 98	14
		pcANYWHERE32 EX	43
		PCIボード	211

PDディスク	190
PK-CA101	210
PK-CA102	211
PK-UG-X006	148
PS/2互換マウスポート	186
RGBケーブル	162
RS-232C変換アダプタ	211
RSA SecurPC	29
S.M.A.R.T	46
Safe mode	166
Soft MPEG1.0	72
Timer-NX	61, 221
True Color	180
VirusScan	32
Windows 3.1	182
Windows NT Server 4.0	130
Windows NT Workstation 4.0	130
Word 98	14
WWW Extension	38
YMF724	184
Zipディスク	190

ア行

アイコンの表示	180
圧縮	199
アドバンスモード	49
アプリケーション	214
アプリケーションCD-ROM	94
暗号化	29
異臭	174

異常	174, 175, 184
一太郎9	21
一太郎9バック	8
印刷	195
ウイルス	223
ウイルス監視機能	33
英語モードフォント	84
液晶ディスプレイ調整ツール	87
エラーメッセージ	169
大文字	188
音飛び	206
オフタイマ機能	69

カ行

海外	227
会社名	161
回線	194
拡張MS-DOS領域	102
拡張子	182
カスタム再セットアップ	92, 101
カスタムモード	49
画面	176
漢字	188
キーボード	187
キーボードエラー	163
記号	189
起動ディスク	229
基本MS-DOS領域	102
休眠ファイル	40
強制的に電源を切る方法	171

共有	193
煙	174
高解像度	178
ごみ箱	181, 201
小文字	188
コンピュータウイルス	223

サ行

再セットアップ	90
再入手方法	231
サウンドドライバ	143
削除の準備	3
雑音	227
三四郎 ⁸	8
時刻	222
システムインストールディスク ...	94
システムスタンバイ	173
システムビューア	38
修復	231
周辺機器	210
重要な情報	156
消磁	164
状態監視	38
省電力	177
譲渡	231
シリアル機器	211
スーパーディスク	146
スーパバイザパスワード	169
スタンバイ機能	172
砂時計	185, 187

スピーカ	184
スリープボタン	172
西暦2000年問題	226

タ行

ディスククリーンアップ ...	200, 228
デガウス	164
電源	160, 162
添付品	231
問い合わせ	157
動画がとぎれる	207
ドライバのアップデート	140
トラブルチェックシート ...	157, 158

ナ行

長いファイル名	182, 191
名前	161
日本語入力	188
日本語入力システム	187
入力できない文字	189
ネットワーク	192

ハ行

ハードディスク	190, 200
ハウリング	184
廃棄	227
パスワード	52, 169
バックアップ	46, 91, 130
バックアップCD-ROM	94
バックアップの方法	198

ハングアップ	155
被害届	225
日付	222
表示位置	176
標準再セットアップ	92, 93
ひらがな	188
ヒント	155
ファイル	181
ファイルを保存	190
フォーマット	146, 198
フォルダ	181
復号化	29
フリーズ	155
プリンタ	195
プリンタインターフェース	
変換アダプタ	210
プリンタドライバ	196
フルカラー	216
フルスクリーン	176
プレーヤ-NX	76
プロダクトの選択	4
フロッピーディスク	190, 197
文豪DP/LANシリーズコンバータ ...	79
ベーシックモード	49
ヘルプ	2, 156
補修用性能部品	230
保守サービス	230
保守モード	57
補足説明	157

マ行

マウス	185
マニュアルセンター	227
メモリ	213
メンテナンス	228
文字	187
文字コード表	189
モニタ	177

ヤ行

ユーザパスワード	169
予防	223

ラ行

ライトプロテクト	190
リモート電源制御	38
リモートパワーオン機能	38
リング機能	66
ロータス1-2-3 98	25
ログファイルの表示	56
論理MS-DOSドライブ	102

ワ行

割り込みレベル	210
---------------	-----

アプリケーションの概要と 削除/追加

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションの概要と削除方法および追加方法について説明します。削除や追加をする場合、Windows 98およびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。

この章の内容

この章の構成	2	DMITool	38
知っておきたい便利な機能と アプリケーション	6	pcANYWHERE32 EX	43
一太郎9バック (一太郎モデルのみ)	8	Masty Data Backup	46
Word 98/Excel 97/Outlook 98 (Word モデルのみ)	14	CyberTrio-NX	49
一太郎9 (一太郎9 & 1-2-3 98モデルのみ)	21	CyberWarner-NX	55
ロータス1-2-3 98 (一太郎9 & 1-2-3 98モデルのみ)	25	Timer-NX	61
RSA SecurPC	29	NEC Soft MPEG1.0	72
VirusScan	32	プレーヤー-NX	76
		文豪DP/LANシリーズコンバータ	79
		Acrobat Reader	82
		英語モードフォントを使用する	84
		液晶ディスプレイ調整ツール	87



この章の構成

この章では各アプリケーションの概要と削除、追加について説明します。

ヘルプについて

- ・ 各アプリケーションにはヘルプ機能があります。
- ・ 用語、操作の方法や手順など、分からないことがおきたときに活用します。

ヘルプの起動方法

- 1 各アプリケーションの「ヘルプ」メニューをクリック
「ヘルプ」の画面が表示されます。

概要について

アプリケーションの起動方法、主画面などについて概略を説明します。

削除について

- ・ 本機にあらかじめインストールされているアプリケーションまたは購入後にインストールされた本機添付のアプリケーションの削除の手順を説明します。
- ・ ご自分でインストールされた別売のアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
- ・ 次のような場合にアプリケーションを削除してください。
 - ハードディスクの空き容量を増やしたい場合
 - 通常使わないアプリケーションがある場合
- ・ 一部のアプリケーションでは、次の「削除の準備」を行ってから削除します。



チェック!

- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、アプリケーションを選択して「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。
- ・削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認の上、削除してください。
- ・CD-ROMを使用して削除する場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

- ・アプリケーションの追加と削除を使って削除する場合は、以下の手順を行ってください。
- ・CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

- 1 Windows 98を起動する
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。
- 4 「インストールと削除」タブを選択する



チェック!

- ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダおよびデスクトップやスタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。
- ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法にしたがってプログラム本体の削除を実行してから、アイコンを削除してください。

追加について

- ・ 添付の「アプリケーションCD-ROM」から、本機にあらかじめインストールされているまたは添付されているアプリケーションを追加する場合の手順を説明します。
- ・ 一部のアプリケーションでは、下記の「プロダクトの選択」を行ってから追加します。
- ・ 追加の際、アプリケーションが表示するメッセージが他の画面に隠れてしまう場合があります。このような場合には、タスクバーをクリックして他の画面を最小化してください。



チェック!!

- ・ 終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・ 一部のアプリケーションは、CyberTrio-NXがベーシックモードのときはインストールできません。その場合はアドバンスモードに変更してから追加を行ってください。→「CyberTrio-NX」(P.49)

プロダクトの選択

- ・ 本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、以下の手順を行ってください。

- 1 Windows 98を起動する
- 2 CD-ROMドライブに本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 3 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 4 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 5 「インストールと削除」タブを選択する
- 6 「インストール」ボタンをクリックし「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する
- 7 「次へ」ボタンをクリック

- 8** 「インストールプログラムの実行」の画面の「インストールプログラムのコマンドライン」が「<CD-ROMドライブ名>: ¥NSETUP.EXE」となっていることを確認する

例 CD-ROMドライブ名がQの場合
Q:¥NSETUP.EXE

- 9** 「完了」ボタンをクリック
「プロダクトの選択」が表示されます。

この後は、各アプリケーションの追加方法でアプリケーションの追加を行ってください。

知っておきたい便利な機能 とアプリケーション

機 能	工場出荷時の状態	アプリケーション	
文章を作成する	○	Word 98または一太郎9	()
HTMLを作成する	○	Word 98または一太郎9	()
表計算する	○	Excel 97、三四郎8または1-2-3 98	()
図形処理する		Draw 98または花子9	()
予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 社内にメールを発信する	○	Outlook 98またはFullBand	()
インターネットへ接続する ソフトをダウンロードする 電子メールを送受信する	○	Internet Explorer 4.01 Outlook Express Shuriken	()
ファイルやフォルダの暗号化/復号を設定する		RSA SecurPC	
コンピュータウイルスを検出して除去する		VirusScan	
タイマ機能を使う		Timer-NX	
本機や本機に接続されているパソコンの情報を管理する		DMITool	
遠隔地からパソコンを操作する		pcANYWHERE32 EX	
ハードディスクをバックアップする		Masty Data Backup	
利用者のレベルに合わせてOSの操作可能な範囲を設定する		CyberTrio-NX	
OSの動作に影響を与えるファイルを保護・監視する		CyberWarner-NX	
音楽CD、ビデオCDなどの音と画像を再生する		プレーヤ-NX NEC Soft MPEG 1.0	
文豪DPシリーズ、LANシリーズで作成したデータを一太郎9、三四郎8で利用する		文豪DP/LANシリーズ コンバータ	

pdf形式の電子マニュアルの表示、閲覧、印刷をする		Acrobat Reader
海外製アプリケーションを利用する		英語モードフォント
液晶ディスプレイの画面を調節する		液晶ディスプレイ調整ツール

- :工場出荷時にインストールされているアプリケーション()はモデルによって異なります)
 :工場出荷時に添付されているアプリケーション
 MA30H/Lには添付されていません。

一太郎9パック(一太郎モデルのみ)

概要

文章作成に一太郎9、図形処理に花子9、表計算に三四郎8、情報管理にFullBandを使用します。

- ✓ **チェック!!**
- ・本機にセットアップされている一太郎9パックは、工場出荷時の状態では「標準」でインストールされているためすべての機能を利用できるわけではありません。
使用できる機能を知りたい場合や機能を追加する場合は、添付の「セットアップ」の「各セットアップ方法でコピーされる機能について」の一覧をご覧ください。
 - ・「標準」以外の機能を利用する場合は、本機添付の「一太郎9パック」のCD-ROM から追加する必要があります。詳細は「セットアップ」の「アプリケーション追加・削除を利用します」をご覧ください。

起動方法

ここでは一太郎9で説明しています。花子9、三四郎8とFullBandは本文中の「一太郎9」をそれぞれに読み換えてください。

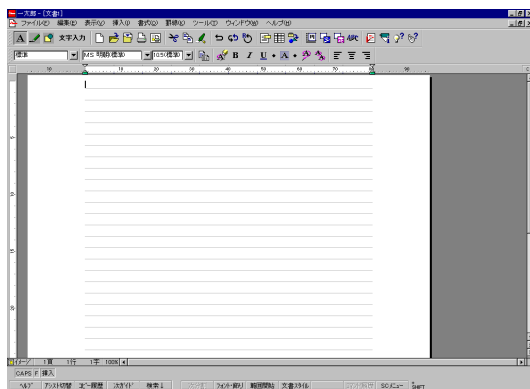
- 1 「スタート」ボタン→「JUSTSYSTEM一太郎Office」の「一太郎9」をクリック
一太郎9の画面が表示されます。

初回起動時のみ以下の手順を行ってください

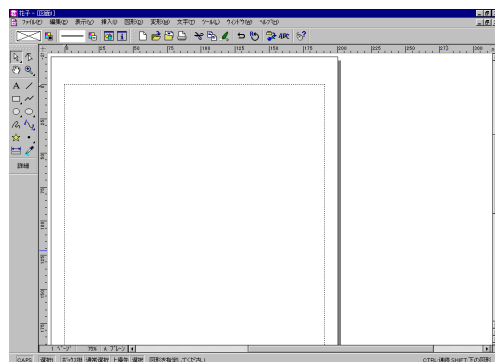
- 1 「使用許諾契約の確認」の画面が表示されたら「同意する」ボタンをクリック
- 2 「使用者名・法人名の登録」の画面で、必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリック
- 3 「シリアルナンバー・UserIDの登録」の画面で必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリック
- 4 「使用者名・シリアルナンバーの確認」の画面で登録内容を確認し、「完了」ボタンをクリック
一太郎9の画面が表示されます。

主画面

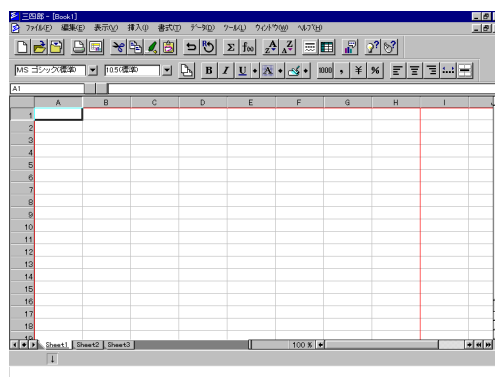
一太郎9の起動画面



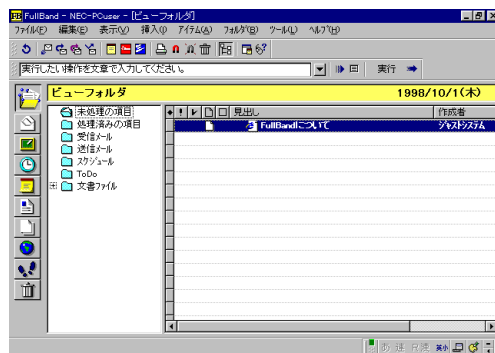
花子9の起動画面



三四郎8の起動画面



FullBandの起動画面



削除

一太郎9が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。常駐を解除する方法は次の通りです。

- 1 一太郎9を起動する
- 2 表示された画面のタイトルバーを右クリック
- 3 表示されたメニューで「一太郎9の常駐」をクリックし、チェックを外す
- 4 一太郎9を終了する

常駐の解除が確認できたら、次の手順で一太郎9パックを削除します。

- 5 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 6 「インストールと削除」の一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリックし「追加と削除」ボタンをクリック
- 7 「一太郎9パックのセットアップ開始」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 8 「一太郎9パックの追加と削除」の画面で「ファイルの追加・削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「ファイルの追加・削除」の画面で「ファイルの削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 10 「削除するファイルの詳細選択」の画面が表示されたら「全て選択」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「ジャストシステム共通ファイル(32bit)も削除しますか？」というメッセージが表示されたら「削除しない」ボタンをクリック



チェック!

一太郎9パック以外に、ジャストシステム製アプリケーションを使用していない場合、すべての機能を削除したい場合は、「削除する」ボタンをクリックしてください。

- 12 「ATOK12をWindowsや他のアプリケーションが使用しているため、コンピュータを再起動するときに削除されます。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 13 「フォルダ名を確認してください1/3」で「次へ」ボタンをクリック
- 14 「フォルダ名を確認してください2/3」で「次へ」ボタンをクリック
- 15 「フォルダ名を確認してください3/3」で「次へ」ボタンをクリック
- 16 「ファイルの削除開始」の画面で「削除開始」ボタンをクリック削除が始まります。
- 17 「一太郎9バックのセットアップ終了」の画面で「再起動」ボタンをクリック

追加

- 1 CD-ROMドライブに「一太郎9バック」のCD-ROMをセットする
- 2 「Welcome to Justsystem」の画面で「一太郎9バックのセットアップ」ボタンをクリック
- 3 「一太郎9バックのセットアップ」の画面で「セットアップ開始」ボタンをクリック

✓チェック! 「使用許諾契約の確認」の画面が表示された場合は、「確認」ボタンをクリックしてください。

- 4 「一太郎9バックのセットアップ開始」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 5 「使用者名・法人名の登録」の画面が表示されたら必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリック

- 6 「シリアルナンバー・UserIDの登録」の画面が表示されたら必要事項を入力して「次へ」ボタンをクリック
- 7 「使用者名・シリアルナンバーの確認」の画面で登録内容を確認し「登録する」ボタンをクリック
- 8 「セットアップ方法の選択」の画面が表示されます。ここでは「標準」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「標準でのセットアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 10 「サンプルファイルの選択」の画面が表示されたら「サンプルをすべてCD-ROMで利用」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「セットアップするフォルダの設定」の画面で「次へ」ボタンをクリック

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「その他のフォルダ」を選択して「次へ」ボタンをクリック。「セットアップするフォルダの設定」の画面から「参照」ボタンをクリックし、インストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックしてください。

- 12 「ファイルのコピーを開始します」というメッセージが表示されたら「コピー開始」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 13 「インターネットへダイヤルアップで接続しますか？」というメッセージが表示されたら「いいえ」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 14 「JustNetに入会するには」の画面で「確認」ボタンをクリック
- 15 「一太郎9パックのセットアップ終了」の画面が表示されたら「再起動」ボタンをクリック
- 16 「この後、一太郎Office8シリーズをセットアップすると正常に動作しない場合があります。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

Word 98/Excel 97/Outlook 98 (Wordモデルのみ)

概要

文章作成にWord 98、表計算にExcel 97、情報管理にOutlook98、イラストなどの作成にDraw 98を使用します。

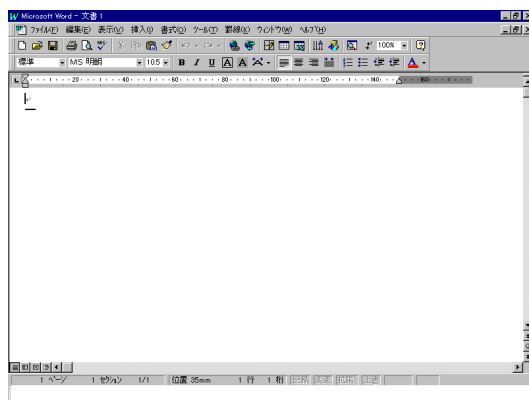
起動方法

ここではWordで説明しています。ExcelとOutlookは本文中の「Word」をそれぞれに読み換えてください。

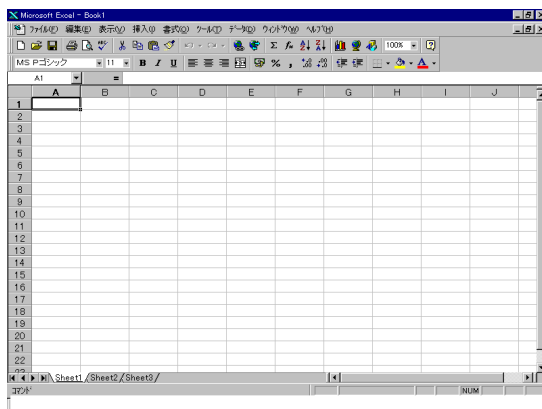
- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Microsoft Word」をクリック
Wordの画面が表示されます。

主画面

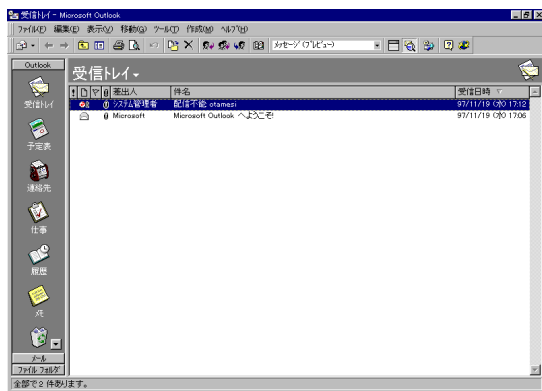
Word 98の起動画面



Excel 97の起動画面



Outlook 98の起動画面



削除



チェック!!

工場出荷時の状態から初めてすべてを削除するときは、Outlook 98、Draw 98、Word 98、Excel 97の順に行ってください。

追加したWord 98、Excel 97、Outlook 98、Draw 98をすべて削除するときは、追加した順と逆順に削除を行ってください。

Word 98、Excel 97、Outlook 98の順に追加したときの削除は、Outlook 98、Excel 97、Word 98の順に行います。

Word 98、Excel 97、Draw 98の削除

ここではWord 98で説明しています。Excel 97とDraw 98は本文中の「Word 98」をそれぞれに読み換えてください。

- 1 Windows 98を起動して「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをセットする
- 2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」が表示されたら「Word 98のセットアップ」ボタンをクリック
- 3 「Microsoft Word 98セットアップ」で「すべて削除」ボタンをクリック
- 4 「Microsoft Word 98を削除しますか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。

 **チェック!** 「共有コンポーネントの削除」が表示されたら「削除しない」ボタンをクリックしてください。

- 5 「Microsoft Word 98セットアップが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
再起動のメッセージが表示された場合は「Windowsの再起動」ボタンをクリックします。

Outlook 98の削除

- 1 Windows 98を起動して、「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをセットする
- 2 「Outlook 98のセットアップ」をクリック
- 3 「Outlook 98の削除」ボタンをクリック
- 4 「Microsoft Outlook 98コンポーネントをアンインストールします。続行しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

5 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

追加

Word 98、Excel 97の追加

ここではWord 98で説明しています。Excel 97は本文中の「Word 98」を「Excel 97」に読み換えてください。



チェック!! 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」のCD-ROMを利用して、MS-IME 98の追加はしないでください。

- 1 Windows 98を起動し、CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」のCD-ROMをセットする
- 2 「Word 98のセットアップ」ボタンをクリック
- 3 「Microsoft Word 98セットアップ」の画面が表示されたら「継続」ボタンをクリック
- 4 「ユーザー情報の登録」の画面で必要事項を入力し「OK」ボタンをクリック
- 5 「ユーザー情報の確認」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 6 プロダクトID番号が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 7 「Microsoft Word を次のフォルダにセットアップします。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「フォルダの変更」ボタンをクリックし、「フォルダの変更」の画面が表示されたら、インストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックします。「フォルダ」が変更されていることを確認して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 8 セットアップ方法の選択で、「標準セットアップ」、「カスタムセットアップ」いずれかを選択する
ここでは「標準セットアップ」を選択した場合の手順を説明します。
- 9 「Microsoft Word 98-標準セットアップ」の画面が表示されたら「継続」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 10 「Microsoft Word 98セットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
「Windows 98の再起動」が表示されたら再起動してください。

Outlook 98の追加

- 1 Windows 98を起動して、「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」のCD-ROMをセットする
- 2 「Outlook 98のセットアップ」ボタンをクリック
- 3 「Outlook 98セットアップ」が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 4 「使用許諾契約」の画面で、「同意する」にチェックをつけ「次へ」ボタンをクリック
- 5 「登録」の画面で必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリック
- 6 セットアップ方法の選択で、「標準インストール」、「最小インストール」、「完全インストール」のいずれかを選び、「次へ」ボタンをクリック
ここでは「標準インストール」で進めます。



工場出荷時の状態に戻すには「標準インストール」を選択してください

- 7** 「電子メールアップグレードオプション」の画面で「Outlook Express」,「上記以外のメールプログラム」のいずれかを選択し、「次へ」ボタンをクリック



工場出荷時の状態に戻すには「上記以外のメールプログラム」を選択してください

- 8** 「電子メールサービスオプション」の画面で「企業/ワークグループ」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

- 9** 「Outlook 98をインストールするフォルダのパスを入力してください。」と表示されたら「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、インストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックします。

- 10** 「コンポーネントのインストールは完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動されます。

- 11** 再起動後、エクスプローラ等で「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」のCD-ROMの¥patch¥outptch2.exeをダブルクリック

- 12** 「このパッチを実行する前に、Outlookをシャットダウンする必要があります。続行しますか??」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック

- 13** 「パッチのインストールは完了しました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

Draw 98の追加



チェック!

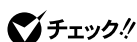
Draw 98をインストールする場合、Word 98、Excel 97またはOutlook 98のうち少なくとも1つ以上のアプリケーションがインストールされている必要があります。

- 1** Windows 98を起動し、CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」のCD-ROMをセットする
- 2** 「Draw 98のセットアップ」ボタンをクリック
- 3** 「Microsoft Draw 98セットアップ」の画面が表示されたら「継続」ボタンをクリック
- 4** 「セットアップを開始するには、左下のボタンをクリックしてください。」というメッセージが表示されたら絵の描いてあるボタンをクリック
- 5** 「Microsoft Draw 98セットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

一太郎9(一太郎9 & 1-2-3 98モデルのみ)

概要

文章作成に一太郎9を使用します。



チェック!

本機にセットアップされている一太郎9は工場出荷時の状態では「標準」でインストールされているため、すべての機能を利用できるわけではありません。使用できる機能を知りたい場合や、機能を追加する場合は、一太郎9添付のマニュアルをご覧ください。

起動方法

- 1 「スタート ボタン」→「JUSTSYSTEM一太郎Office」の「一太郎9」をクリック

一太郎9の画面が表示されます。

削除

一太郎9が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから、削除を行ってください。常駐を解除する方法は次の通りです。

- 1 一太郎9を起動する
- 2 表示された画面のタイトルバーを右クリック
- 3 表示されたメニューで「一太郎9の常駐」をクリックし、チェックを外す
- 4 一太郎9を終了する
常駐の解除が確認できたら、次の手順で一太郎9を削除します。
- 5 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)

- 6 「インストールと削除」の一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 7 「一太郎9のセットアップ開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「一太郎9の追加と削除」の画面で「ファイルの追加・削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「ファイルの追加・削除」の画面で「ファイルの削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 10 「削除するファイルの詳細選択」の画面で「全て選択」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「ジャストシステム共通ファイル(32bit)も削除しますか?」というメッセージが表示されたら、「削除しない」ボタンをクリック

 **チェック!** 一太郎9以外にジャストシステム製アプリケーションを使用していない場合、すべての機能を削除したい場合は、「削除する」ボタンをクリックしてください。

- 12 「ATOK12をWindowsや他のアプリケーションが使用しているため、コンピュータを再起動するときに削除されます。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 13 「フォルダ名を確認してください 1/2」の画面で「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!** 「指定されたフォルダ"XXX"は存在しません」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。

- 14 「フォルダ名を確認してください 2/2」画面で「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!** 「指定されたフォルダ"XXX"は存在しません」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。

- 15 「ファイルの削除開始」の画面で「削除開始」ボタンをクリック
削除が開始されます。
- 16 「一太郎9のセットアップ終了」の画面で「再起動」ボタンをクリック
これで一太郎9の削除は終了です。

追加

- 1 CD-ROMドライブに「一太郎9 CD-ROM」をセットする
- 2 「Welcome to Justsystem」の画面で「一太郎9のセットアップ」
ボタンをクリック
- 3 「一太郎9のセットアップ」の画面で「セットアップ開始」ボタン
をクリック

☑ **チェック!** 「使用許諾契約の確認」の画面が表示された場合は、「確認」ボタンをクリック
してください。

- 4 「一太郎9のセットアップ開始」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 5 「使用者名・法人名の登録」の画面で必要事項を入力し、「次へ」ボ
タンをクリック
- 6 「シリアルナンバー・UserIDの登録」の画面で必要事項を入力
し、「次へ」ボタンをクリック
- 7 「使用者名・シリアルナンバーの確認」の画面で内容を確認した
上で、「登録する」ボタンをクリック
- 8 「セットアップ方法の選択」の画面で「標準」を選択し、「次へ」ボ
タンをクリック

- 9 「標準でのセットアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 10 「サンプルファイルの選択」の画面で「サンプルをすべてCD-ROMで利用」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「セットアップするフォルダの設定」の画面で「次へ」ボタンをクリック

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「その他のフォルダ」を選択して「次へ」ボタンをクリック。「セットアップするフォルダの設定」の画面から「参照」ボタンをクリックし、インストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックしてください。

- 12 「ファイルのコピー開始」の画面で「コピー開始」ボタンをクリック
インストールが開始されます。
- 13 「インターネットへダイヤルアップで接続しますか？」というメッセージが表示されたら「いいえ」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 14 「JustNetに入会するには」の画面で「確認」ボタンをクリック
- 15 「一太郎9のセットアップ終了」の画面で「再起動」ボタンをクリック
これで一太郎9の追加は終了です。
- 16 「この後、一太郎Office8シリーズをセットアップすると正常に動作しない場合があります。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

ロータス1-2-3 98 (一太郎9 & 1-2-3 98モデルのみ)

概要

表計算アプリケーションです。

- ✓ **チェック!!** ・本機にインストールされているロータス1-2-3 98は、工場出荷時の状態では「標準セットアップ」でセットアップされているためすべての機能を利用できるわけではありません。
「標準セットアップ」では使えない機能を追加する場合は、ロータス1-2-3 98添付のマニュアルをご覧ください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「ロータスアプリケーション」の「1-2-3 98」をクリック
ロータス1-2-3 98の画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「1-2-3 98」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「スーパーオフィス製品の選択」の画面から「すべてのスーパーオフィス製品をアンインストールする」を選択し、「OK」ボタンをクリック

4 「ロータス アンインストール」の画面で「はい」をクリック

5 「次のファイルのバージョンは、インストールされたバージョンと一致しません」というメッセージが表示された場合は、すべて「削除」ボタンをクリック

 **チェック!!** 「次のアイテムは空でないため削除できません」と表示された場合は、「スキップ」ボタンをクリックしてください。

6 「次のソフトウェアが削除されました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

7 再起動を促す画面で、「スキップ」ボタンをクリック

8 「セットアップと削除」の一覧から「1-2-3 7桁郵便番号対応機能」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

9 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

10 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

11 Windows を再起動する

デスクトップ上に「1-2-3 98」アイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

1 「1-2-3 98」アイコンを右クリック

2 表示されたメニューで「削除」をクリック

3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリック
これでロータス1-2-3 98の削除は終了です。

- 1 CD-ROMドライブに「1-2-3 98 CD-ROM」をセットする
 - 2 「ロータス1-2-3 98」の画面で「インストール」ボタンをクリック
- メモ**
- 「ロータス1-2-3 98」の画面が実行されない場合、CD-ROMドライブのルートディレクトリの「INSTALL. EXE」を実行してください。
- 3 「インストール方法をお選びください」の画面で「クイックインストール」ボタンをクリック
 - 4 「C:ドライブにインストールします」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
インストールが始まります。
 - 5 「インストールは正常に終了しました」の画面が表示されたら「いいえ」ボタンをクリック
 - 6 「インストール方法をお選びください」の画面で、「7桁郵便番号対応機能の追加」ボタンをクリック
 - 7 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
 - 8 「セットアップは正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
 - 9 「インストール方法をお選びください」の画面で「戻る」ボタンをクリック
 - 10 「ロータス1-2-3 98」の画面で「終了」ボタンをクリック
 - 11 Windowsを再起動する

デスクトップ上に「1-2-3 98」アイコンを追加する場合は、次の手順を行ってください。

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック
- 2** c:\¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥ロータスアプリケーションにある「1-2-3 98」アイコンを右クリック
- 3** 「コピー」をクリック
- 4** デスクトップの画面上で右クリックし、「貼り付け」をクリック
これでロータス1-2-3 98の追加は終了です。

RSA SecurPC

概要

RSA SecurPCは、ファイルを暗号化および復号化するツールです。

RSA SecurPCは、次のような特徴があります。

- RC4という暗号方式のアルゴリズムを使用しています。
- マイコンピュータやエクスプローラのファイルメニューにコマンドを追加できます。
- 共有パスワードでファイルを暗号化でき、ファイルを共有できます。
- RSA SecurPCを持っていないユーザと共有することもできます。



チェック!!

- RSA SecurPCは工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は後述の「追加」の手順を参照してRSA SecurPCをインストールしてください。
- MA30H/Lをお使いの場合は、RSA SecurPCは添付されていません。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック

2 暗号化/復号化するファイル/フォルダを選択し、右クリック



操作方法については添付の「アプリケーションCD-ROM」の次のファイルをご覧ください。

¥SecurPC¥SecurPC.pdf



チェック!!

- 上記のファイルを参照するためにはAcrobat Readerが必要です。
「Acrobat Reader (P.82)」を参照して、インストールしてください。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「RSA SecurPC」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「RSA SecurPCをアンインストールしてよろしいですか?」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 4 「Windowsを再起動するまで、お待ちください。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。
- 5 再起動後、「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

追加

 **チェック!** RSA SecurPCを追加する場合は、フロッピーディスクが1枚必要です。あらかじめ用意しておいてください。

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.4)
- 2 「プロダクトの選択」で「RSA SecurPC for Windows 98」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 4 「複写先を選択」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが始まります。



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「RSA SecurPCへようこそ」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 6 「ランダム鍵の生成」の画面が表示されたら、鍵生成達成率が100%になるまでキーボードからキーを入力するか、またはマウスをダイアログボックス内で動かす
- 7 「ランダム鍵の生成が終了しました。」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 8 ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたらユーザー名とパスワードを入力し「OK」ボタンをクリック
- 9 「ユーザー参照ファイルをバックアップするドライブを選択し、フロッピーディスクを挿入してください。」というメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブにバックアップ用フロッピーディスクを挿入し「OK」ボタンをクリック
userpref.!!!ファイルがフロッピーディスクにコピーされます。
- 10 「RSA SecurPCセットアップは完了しました。」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 11 「RSA SecurPCのインストールが完了しました。」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック

VirusScan

概要

コンピュータ ウイルスの検出、識別、および除去を行います。
コンピュータウイルスを検出した場合は、「PART4 トラブル解決Q&A」の「コンピュータウイルス対策について」をご覧ください。対処してください。

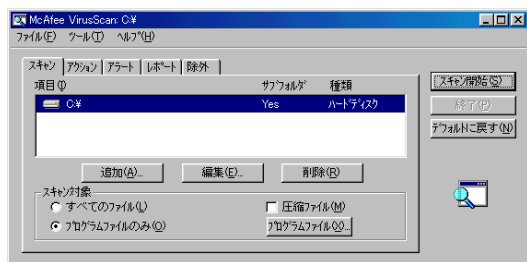
✓チェック!! VirusScan は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」をご覧ください。セットアップを行ってください。

起動方法

VirusScanには、定期的にウイルス検査を行う機能があります。この機能を使うには、以下の手順で、VirusScanコンソールを起動します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScan」をクリック
VirusScanの画面が表示されます。

主画面



VirusScanの利用方法、エマージェンシーディスクの作成方法、タスクの作成方法は、VirusScanのヘルプを参照してください。

使用上の注意

VirusScanで作成したエマージェンシーディスクを、本機のメモリを96MB以上増設している状態でご使用になる場合は、エマージェンシーディスクの設定を変更する必要があります。(メモリ96MB未満の環境で運用している場合は、設定の変更は必要ありません。)

設定を変更するプログラムを次のインターネット情報サービスからダウンロードしてください。プログラムの使用方法についても、本情報サービスをご覧ください。

ネットワークアソシエイツ社

<http://www.nai.com/japan/>



毎時、毎日、毎週、毎月というぐあいに定期的にウイルスを検索するスケジュールスキャン、フロッピーディスク、スーパーディスクまたはネットワークを経由して入出力されるファイルをリアルタイム監視するオンアクセススキャンなどの機能もあります。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

VirusScanには、Windows上で操作するファイルがウイルスに感染されていないか監視する機能があります。

ウイルス監視機能を有効にすると、ファイルをアクセスするたびにウイルスチェックを行うようになります。

性能を優先する場合には、次の手順で無効にしてください。

ウィルス監視機能を無効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScan コンソール」をクリック
- 2 タスクの一覧の「McAfee VShield」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリック
- 3 「タスクプロパティ」の画面が表示されたら「プログラム」タブの「詳細設定」ボタンをクリック

- 4 「VShield設定」の画面の「スキャン」タブの「情報」で、「スタートアップ時に起動」をクリックし、チェックマークを外す
- 5 「VShield設定」の画面の「OK」ボタンをクリック
- 6 「VShield設定マネジャー」の画面で「はい」ボタンをクリック
- 7 「タスクプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリックし、終了する
- 8 Windowsを再起動する

ウィルス監視機能を有効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScan コンソール」をクリック
- 2 タスクの一覧の「McAfee VShield」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリック
- 3 「タスクプロパティ」の画面が表示されたら「プログラム」タブの「詳細設定」ボタンをクリック
- 4 「VShield設定」の「スキャン」タブの「情報」で、「スタートアップ時に起動」をクリックし、チェックマークを付ける
- 5 「VShield設定」の画面の「OK」ボタンをクリック
- 6 「VShield設定マネジャー」の画面で「はい」ボタンをクリック
- 7 「タスクプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリックし、終了する
- 8 Windowsを再起動する

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v3.1.6 for Windows 9x(ブレインストール版)」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「McAfee VirusScanの削除が選択されました。本当に McAfee VirusScanを削除しますか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 4 「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。

✓チェック! 「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 5 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に、「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 6 Windowsを再起動する

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.4)
- 2 「プロダクトの選択」で「McAfee VirusScan v3.1.6c」をクリックして「OK」ボタンをクリック
- 3 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

4 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリック

5 「セットアップ方法」の画面が表示されたらセットアップ方法とインストール先ディレクトリを選択し、「次へ」ボタンをクリック
ここでは「カスタム」を選択した場合の手順を説明します。

メモ

インストール先を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

6 「コンポーネントの選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

7 「オプションの選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

8 「DOSスキャナインストールオプション選択」の画面が表示されたら、「ブート時にシステムをスキャン」のチェックボックスをクリックしてチェックを外す

✓チェック! 「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。

9 「エマージェンシーディスクを作成」のチェックボックスをクリックしてチェックを外す

メモ

エマージェンシーディスクは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「エマージェンシーディスク作成」をクリックして作成することができます。

参照 エマージェンシーディスク→VirusScanのヘルプ

10 「次へ」ボタンをクリック

11 「プログラムフォルダの選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

12 「インストール設定の確認」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

13 「システム領域のスキャンが完了しました。」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

メモ

「この製品についての最新の情報を表示しますか？」のメッセージが表示されます。最新の情報を読む場合「はい」ボタンを読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。

最新の情報は「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「ウイルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

14 「インストールが完了しました。」の画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

追加後はウイルス監視機能(VShield)が有効になります。ウイルス監視機能を無効にする場合は、前述の「ウイルス監視機能を無効にする」(P.33)をご覧ください。

DMITOOOL

概要

DMITOOOLは、パーソナルコンピュータや接続されているハードウェア情報およびインストールされているソフトウェア情報を管理するソフトウェアです。管理方法として、標準化団体DMTF(Desktop Management Task Force)が規定したDMI(Desktop Management Interface)を採用しています。

DMITOOOLは以下の5つの機能により構成されます。

- ・ システムビューア
- ・ 状態監視
- ・ MIFブラウザ
- ・ リモート電源制御(リモートパワーオン機能)
- ・ WWW Extension

操作方法・表示画面の詳細についてはオンラインヘルプおよび ご使用になる前に「Readme.txt」をご覧ください。



チェック!

- ・ DMITOOOLは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してDMITOOOLをインストールしてください。
- ・ MA30H/Lをお使いの場合は、DMITOOOLは添付されていません。
- ・ 電源管理のモードを「ACPIモード」で使用しているマシンに対してリモートパワーオンはできません。電源管理モードを確認しながら、お使いください。

参照

モードの確認、モード切り替え→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部」の「電源」

- ・ 本機がネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットの送信を行いたくない場合には注意が必要です。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。
- ・ 状態監視機能の「システムヘルス」で「監視方法」を「システムの監視をする」に設定していると、スキャンディスク実行時に著しく時間を要するか、エラーとなる場合があります。スキャンディスクを実行する場合は、「監視方法」を「システムの監視をしない」に設定してから実行してください。

- ・DMIToolをインストールすると、本機の起動時に毎回ダイヤルアップ接続の画面が表示される場合があります。この場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、ダイヤルアップ接続の画面を閉じてから運用してください。画面を表示したまま放置すると、エラーが発生し、DMIToolを使用できなくなります。

LAN経由でインターネット接続している場合は、以下の設定を行うことによりダイヤルアップ接続の画面が表示されなくなります。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

「インターネット」をダブルクリック

「インターネットのプロパティ」の画面の「接続」タブの「接続」ボタンをクリックし「LANを使用してインターネットに接続」に切り替える

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Dmitool」の中から利用したい機能をクリック
選んだ機能の画面が表示されます。

システムビューアの主画面

注 表示されるシステムビューアの画面は機種によって異なります



削除

DMITOOl WWW Extensionをセットアップしていない場合には、手順の7から始めてください。

- 1 PWS("Personal Web Server")を停止する
- 2 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 3 「インストールと削除」の一覧から「DMITOOl WWW Extension」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリック
- 4 DMITOOl WWW Extension常駐プログラム終了を確認する画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5 PWSプログラム終了を確認する画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 6 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
これでDMITOOl WWW Extensionプログラムの削除が開始されます。
- 7 DMITOOl 関連のアプリケーションが起動されていないことを確認する
次のアプリケーションがDMITOOl 関連のアプリケーションです。
 - ・ システムビューア
 - ・ 状態監視
 - ・ システムヘルス
 - ・ リモートビューア
 - ・ MIFブラウザ
 - ・ BIOSブラウザ
 - ・ リモート電源制御(リモートパワーオン)
 - ・ 休眠ファイル
- 8 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)

- 9 「インストールと削除」の一覧から「DMITool」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリック
 - 10 「DMITool削除」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック
 - 11 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリック
これでプログラムの削除が開始されます。
-  **チェック!!** 「いいえ」ボタンを選び、削除を中断した場合には、本機を再起動してからDMIToolを使用してください。
- 12 削除を開始して間もなく共有ファイルの削除を確認する画面が表示されたら、「すべていいえ」ボタンをクリック
 - 13 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
 - 14 「リブート」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.4)
- 2 「プロダクトの選択」で「DMITool」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 4 「登録」の画面が表示されたら、あなたの名前と会社名を入力して「次へ」ボタンをクリック

- 5** 「起動モード」の画面が表示されたら、起動モードを選択し、「次へ」ボタンをクリック
プログラムのインストールが開始されます。

 **チェック!** 通常は初期設定(標準機能で利用)のままインストールを行ってください。
「起動モード」は「コントロールパネル」の「DMITool」で変更可能です。「起動モード」の詳細な説明はインストール後、「スタート」ボタン→「プログラム」→「DMITool」の「ご使用になる前に」を参照してください。

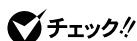
- 6** 「情報」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

- 7** Windowsを再起動する

pcANYWHERE 32 EX

概要

ネットワーク接続された他のパソコンに本機の画面を表示し、遠隔地から本機を操作することができます。遠隔地からの保守作業などに使用することができます。



チェック!

- ・pcANYWHERE32 EXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してpcANYWHERE32 EXをインストールしてください。
- ・MA30H/Lをお使いの場合は、pcANYWHERE32 EXは添付されていません。
- ・本機に添付されているpcANYWHERE32 EXを使用して、他のパソコンを操作することはできません。
- ・他のパソコンから本機を操作するためには、相手側のパソコンに、別売の「DMITool (pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」または「pcANYWHERE (Symantec社製)」がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても別売の「DMITool (pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。
- ・接続デバイスはIPX (Windows NTを除く)、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。
- ・モデム接続の場合は、ダイヤルアップ接続で利用してください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」の「pcANYWHERE32 EX」をクリック

削除

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」→
「pcANYWHERE32 EXの削除」をクリック

2 「ファイル削除の確認」の画面で「はい」ボタンをクリック

 **チェック!** 共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合、「すべてはい」ボタンをクリックしてください。すぐに削除の継続を確認する画面が表示されるので「はい」ボタンをクリックしてください。

3 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

 **チェック!** 共有コンポーネントの削除を確認する画面が表示された場合、すべて「はい」ボタンをクリックしてください。

4 「pcANYWHEREはコンピュータからインストール解除されました。今すぐに再ブートしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.4)
- 2 「プロダクトの選択」で「pcANYWHERE32 EX」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 4 「ユーザーの情報」の画面で名前と会社名を入力し「次へ」ボタンをクリック
- 5 「オンライン使用許諾契約」の画面が表示されたら、契約内容をよくお読みになり、同意の上で「はい」ボタンをクリック
- 6 「セットアップは次のフォルダにpcANYWHERE32をインストールします。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 「セットアップレビュー」の画面で「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが始まります。
- 8 「セットアップの完了」と表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認し「終了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



Masty Data Backup

概要

Masty Data Backup(マスティデータバックアップ)は、高機能バックアップツールです。

“ハードディスクが突然クラッシュ”この時の損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を最小限におさえるツールです。

Masty Data Backupには次のような特徴があります。

- OSがサポートしている装置(MO、PD、HD、スーパーディスク、Zip、JazおよびTAPEなど)にバックアップできます。
- 日付/曜日/時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジュールリングができます。
- データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- 複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- 世代管理ができます。
- S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。



チェック!

- Masty Data Backupは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してMasty Data Backupをインストールしてください。
- MA30H/Lをお使いの場合は、Masty Data Backupは添付されていません。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Masty Data Backup 1.0」
→「Masty Data Backup 1.0」をクリック

削除

- 1 Masty Data Backupを終了する
タスクバーの右下に時計アイコンが存在する場合は、時計アイコン上で右クリックして、「閉じる」をクリックしてください。
次に、タスクバーのMasty Data Backupを右クリックし「閉じる」を選択し、終了してください。
- 2 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 3 「インストールと削除」の一覧から「Masty Data Backup /F」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 4 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 5 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック



チェック!!

- ・アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windows 98の登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルにはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外はすべて隠しファイルとなっています。

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.4)
- 2 「プロダクトの選択」で「Masty Data Backup/F」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 4 「インストール先の選択」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「READMEファイルを読みますか？」で「はい」ボタンをクリック
メモ帳が起動し、READMEファイルが表示されます。読み終えたら終了させてください。
- 6 「セットアップが完了しました。」で「OK」ボタンをクリック

CyberTrio-NX

概要

CyberTrio-NXは、Windows 98の利用レベルに合わせ、次の3つのモードから選べます。インストールした時の状態ではアドバンスモードに設定されています。

- ・カスタムモード :マイプログラムまたはカスタムデスクトップに登録しているアプリケーションのみを使用できます。
- ・ベーシックモード :システムへ影響を与える機能の動作を制限し、本機のハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
- ・アドバンスモード :Windows 98へのフルアクセスが可能です。

 **チェック!!** CyberTrio-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してCyberTrio-NXをインストールしてください。

各モード間の移行方法

各モード間を移行するには、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」より選びます。

カスタムモードから他のモードに変更するときの、パスワードの設定を行うことが可能です。パスワードを設定することでプログラムのファイルを操作できるベーシックモードやアドバンスモードに変更することを保護します。パスワードはベーシックモード、またはアドバンスモードで設定可能です。



チェック!

モードの変更を行う前に、必ず起動中の他のアプリケーションを終了させ、編集中の必要なデータなどは保存してください。

- ・Windows 98で「ユーザ別の設定」を行っている場合、CyberTrio-NXのモードを切り替えることはできません。CyberTrio-NXのモードを切り替えるために、「ユーザ別の設定」を解除するには、次の設定を行ってください。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

「パスワード」をダブルクリック

「ユーザ別の設定」タブで、「このコンピュータでは、すべてのユーザーが同じ基本設定とデスクトップ設定を使う」を選択する

「OK」ボタンをクリック

Windowsを再起動する

- ・CyberTrio-NXのモードを変更すると、エクスプローラが起動してしまう場合は、モードを変更する前に、以下の手順で「アクティブデスクトップ」での「Webページで表示」の設定を変更してください。

デスクトップの任意の場所で右クリック

表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」をクリックし、「Webページで表示」の左についているチェックをはずす

各モードの注意事項

ベーシックモードでの注意事項

- ・ Safeモードで起動した場合、CyberTrio-NXがベーシックモードになっていると、ハードウェアの設定を変更できません。
このような場合は、以下の手順で設定の変更を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に以下のように入力して、「OK」ボタンをクリック
c:\¥cybertrio¥kiddos c:\¥cybertrio¥script¥normal.dtc
- 3 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 4 「システム」をダブルクリック
- 5 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、変更が必要なハードウェアの設定を行う

- ・ アプリケーションがインストールできない場合があります。その場合には、アドバンスドモードに切り替えた後、アプリケーションをインストールしてください。
- ・ タスクバー、デスクトップの設定は、工場出荷時の状態で使用してください。タスクバー、デスクトップの設定を変更して使用する場合は、アドバンスドモードで使用してください。

カスタムモードでの注意事項

画面の解像度を640×480にして、カスタムモードを使用される場合、壁紙は画面からはみ出して表示されます。壁紙を640×480の画面サイズで使用される場合は、壁紙をLowResと表記されているものに変更してください。

また、1024×768以上の解像度では、壁紙は並べて表示されます。

パスワードの設定方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」の「CyberTrio-NXセットアップ」をクリック
- 2 「CyberTrio-NXのプロパティ」の画面の「パスワードの設定」タブをクリック
- 3 「パスワードを設定する」にチェックし、パスワードを入力する
- 4 パスワードの確認のためにもう一度同じパスワードを入力する
- 5 設定を有効にするために「OK」ボタンをクリック

 **チェック!** 入力したパスワードは忘れないようにしてください。

ベーシックモードの利用範囲

ベーシックモードでは以下の点を制約しています。
これらの機能を使う場合はアドバンスモードに切り換えてお使いください。

- コントロールパネルの以下の機能
 - ・ ネットワーク
 - ・ マルチメディア
 - ・ システム
 - ・ プリンタで「プリンタの削除」
- レジストリエディタやシステムエディタの使用
- CyberWarner-NXを使用時および起動時は「警告あり」のモードでの起動となる(起動後は「警告なし」に変更可能)。

カスタムモードの利用範囲

カスタムモードは以下の点を制約しています。

- ・ スタートメニューから選択できるのは「Windowsの終了」「ヘルプ」「プログラム」だけです。
- ・ マウスの右クリックは動作しません。

削除

CyberTrio-NXはベーシックモード、カスタムモードからは削除できません。

削除する前に、アドバンストモードに変更してください。

次の手順でCyberTrio-NXを削除します。

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「CyberTrio-NX」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 4 「CyberTrio-NXアンインストール」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

追加

- 1** 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.4)
- 2** 「プロダクトの選択」で「CyberTrio-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3** 「CyberTrio-NXセットアップへようこそ!」が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4** 「インストール先の選択」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5** 「インストール」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック自動的に再起動します。



CyberWarner-NX

概要

Windows 98の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更しようすると警告のダイアログを表示します。また、ログファイルを採取して保守時に使用することができます。



チェック!!

CyberWarner-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してCyberWarner-NXをインストールしてください。

CyberWarner-NXを起動/常駐させる方法

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「CyberWarner-NX」をダブルクリック
- 3 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリック
- 4 常駐させる場合は「オプション」→「起動時にCyberWarner-NXを実行する」のチェックボックスにチェックをつける
- 5 「OK」ボタンをクリック

CyberWarner-NXを終了する方法

- 1 タスクバーに表示されている「CyberWarner-NX」アイコン
 をクリック
- 2 「終了」をクリック
- 3 「CyberWarner-NXのシャットダウン」で「はい」ボタンをクリック

ログファイルの表示

ログ対象ファイルに対して操作した場合、その操作内容がLogViewerに保存されます。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」から「CyberWarner-NX」をダブルクリック
- 2 「一般」タブの「参照」ボタンをクリック

ログビューワが表示されます。

ログビューワの上のリストに表示されている項目の説明は下記の通りです。

- | | |
|---------|--|
| データ: | 記録した日時を表示 |
| オブジェクト: | ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示 |
| オーナー: | 操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示 |
| メモ: | 操作の状態、および、簡単な説明を表示。操作の状態は、下記のどちらかになります。
(1)ユーザ操作
(2)アプリケーション操作 |

上のリストでデータを選択すると、下のリストのフィールド名に表示される項目に対するコンテンツは下記の通りです。

- | | |
|----------|---|
| 管理者: | 「ファイル」と表示 |
| 復元する: | バックアップファイルが使用可能かどうかを表示 |
| 復元されました: | ファイルが保守モードでの復元ボタンで、復元されたかどうかを表示
1-復元されました
0-復元されていません |

日付:	記録した日時を表示
ソース:	ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示
バックアップ:	バックアップファイルが存在すれば、絶対パスで表示
オーナー:	操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示
オペレーション:	変更/削除等、操作の種類を表示
メモ:	操作の状態、および、簡単な説明を表示。上のリストの、メモと同様



チェック!

採取されたログファイルは保守モードでのみ操作可能です。保守モードはNECの担当員から指示があったときに使用してください。通常はご使用になれません。

ログ対象ファイルの説明

以下のファイルを操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の確認画面が表示されます。

```
¥autoexec.bat
¥config.sys
¥msdos.sys
¥Windows¥command¥*. *
¥Windows¥system¥*.dll
¥Windows¥system¥*.vxd
```

以下のファイルを操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

```
¥command.com
¥io.sys
¥Windows¥win.com
¥Windows¥notepad.exe
¥Windows¥regedit.exe
¥Windows¥explorer.exe
¥Windows¥system¥vmm32¥*. *
¥Windows¥command.com
¥Windows¥himem.sys
¥Windows¥system¥sysedit.exe
¥Windows¥system¥iosubsys¥*. *
```

¥Windows¥rundll.exe
¥Windows¥rundll32.exe
¥Windows¥progman.exe
¥Windows¥control.exe
¥Windows¥winfile.exe
¥Windows¥taskman.exe
¥Windows¥aztpnp.exe
¥Windows¥winsock.dll

以下のファイル进行操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の確認画面が表示されます。また、他のアプリケーションをインストールした場合に以下のファイルに修正が加わると自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥Windows¥win.ini
¥Windows¥system.ini



チェック!

- ・全角文字ファイルは監視の対象になりません。
- ・監視対象ファイルは変更できません。
- ・CyberWarner-NXでは監視の対象となるのはファイルのみですが、監視対象となるファイルが格納されているフォルダの「削除」や「名称変更」は行わないでください。フォルダ名が変更された場合、ファイルを監視することができなくなります。
- ・CyberWarner-NXで保護されているファイルを削除する場合、ゴミ箱の中身がないにもかかわらず、中身があるように表示されることがあります。このような場合には、以下の手順でゴミ箱の中身の状態と表示を合わせてください。

「ゴミ箱」を右クリック

表示されたメニューで「プロパティ」をクリック

「ゴミ箱のプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリック

削除

- 1 CyberWarner-NXを常駐させている場合はタスクバーの右下にある「CyberWarner-NX」をクリックし、「終了」をクリック
- 2 「CyberWarner-NXのシャットダウン」が表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 3 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 4 「インストールと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 5 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 6 「アンインストールを有効にするために再起動する必要があります。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.4)
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberWarner-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
CyberWarner-NXのインストーラが起動します。
- 3 「Cyber Warner-NXセットアップへようこそ!」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「インストール先の選択」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「セットアップへようこそ!」と表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 6 「インストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック



チェック!! 追加すると、本機起動時に「CyberWarner-NX」が実行する設定になります。

Timer-NX

概要

Timer-NXには以下の機能があります。

1. タイマ機能により、指定した時刻に電源を入れる、またはスタンバイ状態から復帰し、アプリケーションを起動することができます。
2. リング機能により、電話やFAX受信時に本機がスタンバイ状態から復帰し、アプリケーションを起動することができます。
3. オフタイマ機能により、本機の電源を指定した時刻に切る、またはスタンバイ状態にすることができます。



チェック!!

- ・Timer-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。Timer-NXをお使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してTimer-NXをインストールしてください。
- ・本機の電源管理のモードを「ACPIモード」で使用しているときは、タイマ機能を使用して自動的に電源を入れることはできません。電源管理のモードを確認してから、お使いください。

参照

モードの確認、モード切り替え→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「電源」

- ・スーパバイザパスワード、ユーザパスワードを設定している場合には、「起動時のパスワード」を「使用しない」にしてください。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定』の「セキュリティの設定」

タイマ機能の設定を行う

タイマ機能は、自動的に本機の電源を入れたり、スタンバイ状態から復帰させる時刻の設定/解除ができます。また、そのときに起動するアプリケーションの指定や電源を切る、またはスタンバイ状態にする時刻を設定できます。

チェック! ACPIモードでは、自動的に電源を入れることはできません。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
「Timer-NX」の画面が表示されます。



- 2 曜日を指定する
「Timer-NX」の「曜日指定」欄で曜日をクリックします。毎日のときは「毎日」をクリックします。指定した曜日は黄色で表示されます。
- 3 タイマプログラムの番号を指定する
タイマプログラムとは、予定表のようなものです。ユーザーが作成したこの予定表(タイマプログラム)にしたがって「Timer-NX」は動作します。タイマプログラムは、1つの曜日に3つまで指定することができます。

4 起動するアプリケーションを指定する

起動するアプリケーションを「Timer-NX」の「実行ファイル」メニューで指定します。メニューに起動したいアプリケーションが無い場合はメニューの一番下の「任意指定」をクリックし、アプリケーションを指定します。

5 「オン」と「オフ」の時刻を指定する



「オン」とは、電源を入れる、またはスタンバイ状態から復帰することを指します。

「オフ」とは、電源を切る、またはスタンバイ状態になることを指します。

「Timer-NX」の「オン」ボタンをクリック

「オン」ボタンが赤色の枠線で囲まれ、「現在時刻」の右に時計のアイコンが表示され、タイマーが設定されたことを表します。自動的に電源を入れる、またはスタンバイ状態から復帰したい時刻を設定

数字の上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。

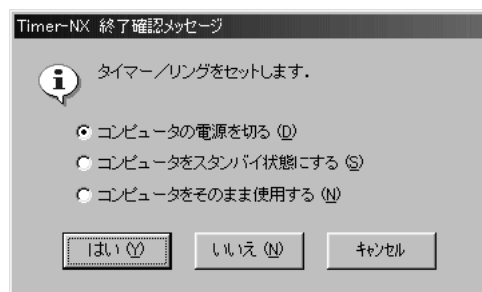
「オフ」ボタンをクリック

「オフ」ボタンが赤色の枠線で囲まれます。

「オフ」する時刻を設定

時刻の設定のしかたは、手順 と同じです。

6 各項目の指定が終了したら、「OK」ボタンをクリック 次の画面が表示されます。



● オプション

- ・ コンピュータの電源を切る
「Timer-NX」を終了して、Windowsを終了した後、本機の電源を切ります。
- ・ コンピュータをスタンバイ状態にする
「Timer-NX」を終了して、本機をスタンバイ状態にします。
- ・ コンピュータをそのまま使用する
「Timer-NX」のみを終了して、本機はそのまま使うことができます。



コンピュータとは、本機のことを指します。

7 オプションを選択し、「はい」ボタンをクリック

タイマプログラムの設定が有効になります。

「いいえ」をクリックすると、設定を廃棄して「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」をクリックすると、設定画面に戻ります。



タイマ機能を解除するには、「オン」ボタンまたは「オフ」ボタンをクリックし、ボタンが上がった状態にすると設定が解除できます。すべての設定を解除すると「現在時刻」の右の時計アイコンの表示が消えます。

そのあと、「OK」ボタンをクリックしてください。

タイマ機能を利用するときの注意

(1) タイマプログラムで「オン」/「オフ」を設定するときの注意

「オン」時刻を設定すると、指定した時刻の本機の状態によって次のようになります。

- ・ 本機の電源が切れている場合
タイマプログラムで指定した時刻に本機の電源が入り、指定したアプリケーションを起動します。
- ・ 本機の電源が入っている場合
タイマプログラムで指定した時刻に、指定されたアプリケーションプログラムを起動します。

- ・ 本機がスタンバイ状態の場合
タイマプログラムで指定した時刻に本機がスタンバイ状態から復帰し、指定されたアプリケーションを起動します。
- 「オフ」機能は、「オン」機能が働いたときの本機の状態に戻す機能です。必ずしも本機の電源を切るわけではなく、「オン」機能が働いたときの本機の状態により次のようになります。
- ・ 本機の電源が切れていた場合
アプリケーションを終了し、本機の電源を切ります。
- ・ 本機の電源が入っていた場合
本機の電源は入ったままになります。アプリケーションも終了しません。
- ・ 本機がスタンバイ状態の場合
本機をスタンバイ状態にします。アプリケーションは終了しません。

(2) タイマプログラムで指定できる時刻

タイマプログラムでは2日間にまたがる設定が可能です。

たとえば、当日の23:00にスタンバイ状態から復帰し、翌日の3:00にスタンバイ状態にする場合は、次のように設定します。

「オン」23:00

「オフ」27:00 ← 翌日の午前3時を表します。

この設定では、最大次の設定が可能です。

「オン」00:00

「オフ」47:59 ← 翌日の午後11時59分を表します。

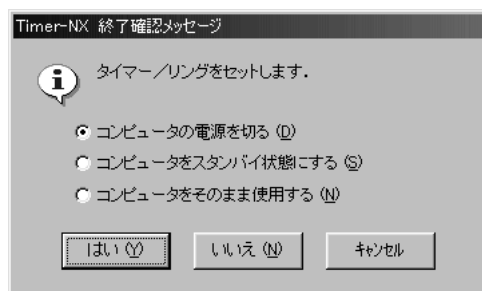
(3) その他の注意

- ・ 「オフ」時刻を指定しない場合は、自動的に電源を入れる、またはスタンバイ状態から復帰しても、自動的に電源を切るまたは、スタンバイ状態にすることはできません。
- ・ 自動的に電源を切らない、スタンバイ状態にしない場合は、「オフ」ボタンをクリックせずに、ボタンが上がった状態にしてください。
- ・ タイマで指定した時刻とほぼ同じ時刻に、手操作でスタンバイ状態から復帰した場合には、タイマ起動と判断される場合があります(2~3分の誤差があります)
- ・ 「オフ」の時間から、次の「オン」の時間は5分以上あけてください。

リング機能の設定を行う

リング機能は、電話/FAX受信時にスタンバイ状態から復帰させるための設定/解除と、そのときに起動するアプリケーションやスタンバイ状態にする時間を指定できます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
Timer-NXが起動します。
- 2 起動するアプリケーションを指定する
起動するアプリケーションを「Timer-NX」の左下の「実行ファイル」ボタンで指定します。
- 3 電話の絵のボタンをクリック
電話が黄色く表示されます。
- 4 「OFF」ボタンをクリック
「自動電源断の設定」の画面が表示されます。
10分間隔で終了時間を設定します。自動的にスタンバイ状態から復帰した後、設定した時間が経過するとスタンバイ状態にします。
「通信ポートを監視する」をチェックすると、アプリケーションでFAXモデムボードの通信ポートが使われているかどうかチェックし、使われていない場合のみ、スタンバイ状態にします。
- 5 各項目の指定が終了したら、「OK」ボタンをクリック
「Timer-NX」の画面に戻ります。
- 6 「OK」ボタンをクリック
次の画面が表示されます。



● オプション

- ・ コンピュータをスタンバイ状態にする
「Timer-NX」を終了して、本機をスタンバイ状態にします。
- ・ コンピュータをそのまま使用する
「Timer-NX」のみを終了して、本機はそのまま使うことができます。



チェック!

リング機能では電源が切れた状態から電源を入れることはできません。リング機能を使用する場合は、「コンピュータの電源を切る」は選択しないでください。



コンピュータとは、本機のことを指します。

7

オプションを選択し、「はい」ボタンをクリック

タイマプログラムの設定が有効になります。

「いいえ」ボタンをクリックすると、設定を廃棄して「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定画面に戻ります。



リング機能を解除するには、手順3で電話の絵のボタンをクリックし、電話が白で表示されるようにします。そのあと、「OK」ボタンをクリックしてください。

リング機能を使用するときの注意

- ・ 別売のFAXモデムボードセット(PK-UG-X001またはPK-UG-X021)を利用しても「Timer-NX」を使ってスタンバイ状態から復帰することができます。
- ・ Timer-NXでは、リング機能でスタンバイ状態から復帰した後、一定時間が経過すると自動的にスタンバイ状態にする設定を行うことができますが、通信中にスタンバイ状態にしないようにスタンバイ状態にするまでの時間を十分に長く設定してください。通信中にスタンバイ状態にした場合、回線が接続されたままになります(電話機の手話器をあげた状態と同様です)。このため、長時間本機から離れる場合には、自動でスタンバイ状態にする設定にはしないでください。

- ・ リング機能は、スタンバイ状態のときに動作します。本機の電源が入っているときまたは切れているときには、動作しません。
- ・ リング機能を使用する場合は、発信側からの呼び出し回数は十分余裕をみて(5、6回程度)鳴らしていただくようにしてください。呼び出し回数が少ないと、指定したアプリケーションの起動ができない場合があります。
- ・ Timer-NXのリング機能は1回線のみ対応しております。本機にモデムが接続されている場合、本機に最初に接続したモデムに対してリング機能が有効になりますので、先に接続したモデムにつながっている回線を利用してください。

FAXソフトなどの通信ソフトと組み合わせてリング機能を使用するときの注意

- ・ 一部の通信ソフトを起動した状態では、リング機能によるスタンバイ状態からの復帰が行われても、Timer-NXで指定したアプリケーションを起動できない場合があります。通信ソフトを起動した状態でリング機能を使用する場合は、あらかじめ以下の手順で指定したアプリケーションが起動できることを確認してからご使用ください。

Timer-NXのリング機能を設定し、起動するアプリケーションを指定する

通信ソフトを起動して、スリープボタンを押してスタンバイ状態にする

本機に電話をかけて、本機がスタンバイ状態から復帰して指定したアプリケーションが起動することを確認する

- ・ また、一部のソフトでは、「通信ポートを監視する」を設定していても、通信状態が監視できない通信ソフトがあります。リング機能でスタンバイ状態から復帰後に通信を行う場合、あらかじめ、以下の手順で、ご使用になる通信ソフトとTimer-NXとを組み合わせで通信状態が監視できることを確認してからご使用ください。

Timer-NXのリング機能を設定する

起動するアプリケーションとして通信ソフトを指定し、「通信ポートを監視する」を設定してください。

スリープボタンを押してスタンバイ状態にする

本機に電話をかけて、本機がスタンバイ状態から復帰後、指定した通信ソフトが通信中に、スタンバイ状態にならないことを確認する

オフタイマ機能

オフタイマ機能を使うと、指定した時刻に本機の電源を切る/スタンバイ状態にすることができます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
Timer-NXが起動します。
- 2 「オフタイマ」ボタンをクリック
「OffTimer」の画面が表示されます。
- 3 画面の数字上をマウスでクリックして、時刻設定を行う
数字上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時間は24時間モードです。
- 4 「OK」ボタンをクリック
「OffTimer終了確認メッセージ」の画面が表示されます。

✓チェック!! 「キャンセル」ボタンをクリックすると、タイマが解除されます。

- 5 電源を切るか、スタンバイ状態にするかを選択する
- 6 「はい」ボタンをクリック
(「いいえ」ボタンをクリックすると「OffTimer」の画面に戻ります。)

オフタイマ機能を利用するときの注意

オフタイマ機能は、設定した時間になり、オフタイマ機能が働いても、電源が切れず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って処理を終了させ、Windowsを終了させてください。タイマ設定を行っても、以下の場合はタイマによる自動電源OFFはできません。

- ・ 無条件に終了できないアプリケーションが起動されていた場合
- ・ OffTimerを終了してしまった場合

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Timer-NX」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Timer-NXとそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。



チェック!!

削除中、Timer-NXが使用している共有ファイルの削除確認メッセージが表示される場合があります。これらの共有ファイルが他のアプリケーションでも、使用されている場合は、「保存」ボタンをクリックしてください。使用されていない場合は「削除」ボタンをクリックしてください。使用されているか不明な場合は「保存」ボタンをクリックしてください。

- 4 「削除されました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.4)
- 2 「プロダクトの選択」で「Timer-NX」をクリックして、「OK」ボタンをクリック



チェック!

MA26D/F、MA23D/F以外の機種をお使いの場合は、「Timer-NX(MA26D/F、MA23D/F Windows 98)」は選択しないでください。

- 3 「Timer-NXのセットアップを始めます。」のメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 4 「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」と表示されたらパソコンの絵が描かれているボタンをクリック
インストールが始まります。

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「ディレクトリ変更」ボタンをクリックし、「ディレクトリ変更」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「Timer-NXのセットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック



NEC Soft MPEG1.0

概要

メディアプレーヤー、プレーヤNXなどで、MPEG1のファイルやVideo CDのファイルを再生するときに、データをデコードするために必要です。MPEGファイルとしては拡張子が".mpg"のもののほかにビデオCD内の拡張子が".dat"のものを再生することができます。



チェック!

NEC Soft MPEG1.0は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してNEC Soft MPEG 1.0をインストールしてください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンタテインメント」の「メディアプレーヤー」をクリック
- 2 「デバイス」メニューから、「NEC Soft MPEG1.0」を選択する
- 3 「開く」の画面で、再生したいMPEGファイルを選んで「開く」ボタンをクリック
- 4 再生ボタンをクリック
再生が始まります。

NEC Soft MPEG1.0に関する注意事項

- ・ ビデオのみのデータあるいはVideo CDの静止画を含むデータは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置は必ずしも一致しません。
- ・ メディアプレイヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみ、こま送りとなります(順方向ボタン)。逆再生方向のボタンは戻す場合と戻らない場合があります。
- ・ 画質優先モードで再生時、画像サイズを変更すると再生が遅くなる場合があります。
- ・ メディアプレイヤー、プレーヤ-NXでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも同様に停止します。

削除

NEC Soft MPEG1.0の削除は「コントロールパネル」の「マルチメディア」を使用して行います。

- 1 動作中のアプリケーションをすべて終了する
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「マルチメディア」をダブルクリック
- 4 「マルチメディアのプロパティ」から「デバイス」タブを選択する
- 5 「メディアコントロールデバイス」の左のプラス記号(+)をクリックして、デバイスドライバの一覧を表示させる
- 6 「NEC Soft MPEG1.0」をダブルクリックし、「NEC Soft MPEG1.0のプロパティ」で「削除」ボタンをクリック
- 7 「削除」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 8 「デバイスは削除されました」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック

9 削除後、再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

10 Windowsを再起動する

追加

NEC Soft MPEG1.0の追加は「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」を使用して行います。

- 1** CD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をセット
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3** 「ハードウェアの追加」をダブルクリック
- 4** 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 5** 「次へ」ボタンをクリック
- 6** 「インストールするデバイスは一覧にありますか？」というメッセージが表示されたら、「デバイスは一覧にない」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 7** 新しいハードウェアを自動的に検出する選択画面で「いいえ」を選び、「次へ」ボタンをクリック
- 8** インストールするハードウェアの種類に「その他のデバイス」を選んで「次へ」ボタンをクリック
- 9** 「ディスク使用」ボタンをクリックし、「ディスクからインストール」ダイアログでコマンドラインに
<CD-ROMドライブ名> :¥NECMPEG
と入力し、「OK」ボタンをクリック

- 10** 画面に「NEC Soft MPEG1.0」と表示されるので、「次へ」ボタンをクリック
- 11** 「完了」ボタンをクリック
ファイルのコピーが開始されます。
- 12** ファイルのコピー終了後、再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



プレーヤ-NX

概要

音楽CD(オーディオCD)、Video CD、カラオケCD、Photo CDを再生表示します。

- ✓ **チェック!**
- ・プレーヤ-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。プレーヤ-NXをお使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してプレーヤ-NXをインストールしてください。
 - ・プレーヤ-NXでMPEG1のファイルやVideo CDのファイルを再生する場合には、NEC Soft MPEG1.0が必要です。NEC Soft MPEG1.0(P.72)を参照して、インストールしてください。
 - ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生しているとき、ビデオ画面の表示サイズを変更するには、プレーヤ-NXのビデオCDウィンドウをマウスでドラッグして、表示サイズを変更してください。
 - ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でCDプレーヤーを削除または再追加すると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、CDプレーヤー、プレーヤ-NXの順で再追加してください。
 - ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でプレーヤ-NXを削除すると、音楽CDをセットしてもCDプレーヤーは自動起動しません。音楽CDをセットしてCDプレーヤーを自動起動させる場合は、CDプレーヤーを再追加してください。

対応するCD

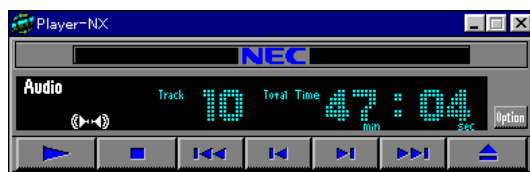
音楽CD(オーディオCD)、Video CD(Ver1.1)/カラオケCD(Ver1.1)、Video CD(Ver2.0)、Photo CD、Photo CDポートフォリオ

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」の「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」をクリック
プレーヤ-NXの画面が表示されます。

主画面

音楽CD(オーディオ)の場合



ビデオCDの場合



フォトCDの場合



✓チェック! 詳しくは「Option」ボタン→「Help」ボタンをクリックして、「プレーヤ-NXのヘルプ」をご覧ください。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。

✓**チェック!** 「共有ファイルを削除しますか？」の画面が表示された場合は「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.4)
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 4 「Folder Selection」で「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 5 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

文豪DP/LANシリーズコンバータ

概要

NECワープロ(文豪シリーズ、文豪DPシリーズ、LAN(N5200、PC-PTOS)シリーズ)やWindows版LANシリーズの文書を一太郎や三四郎のデータ形式に変換を行います。

操作の説明や変換における制限事項等については、添付の「アプリケーションCD-ROM」の次のファイルをご覧ください。

<CD-ROMドライブ名>: ¥dpconv ¥説明書.jtd



チェック!!

- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは、工場出荷時の状態では、インストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照して文豪DP/LANシリーズコンバータをインストールしてください。
- ・本プログラムは文豪ミニシリーズ、文豪JXシリーズの文章を変換することはできません。
- ・本プログラムをご使用になる場合は、一太郎8以上もしくは三四郎8以上のソフトウェアが必要です。また、上記のファイルを参照するには一太郎8が必要です。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、変換をおこないたいユーティリティをクリック

変換をおこないたい文書形式に該当する変換ユーティリティを起動します。

- 「DP-CARD + → 三四郎8文書変換」 ... NECカード型データベースソフトの文書を三四郎文書に変換します。
- 「DP-PLAN → 三四郎8文書変換」 ... NEC表計算ソフトの文書を三四郎文書に変換します。
- 「DP-WORD → 一太郎8文書変換」 ... NECワープロの文書を一太郎文書に変換します。
- 「NECAI → ATOK辞書移行ツール」 ... 学習単語をATOK11登録形式に変換します。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック



チェック!! 「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 5 Windowsを再起動する

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.4)
- 2 「プロダクトの選択」で「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックして「OK」ボタンをクリック
- 3 「セットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「お使いのコンピュータの機種を選択してください。」というメッセージが表示されたら「MATE NX/VALUESTAR NX/Net Fine NX」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「セットアップは次のディレクトリに文豪DP/LANシリーズコンバータをインストールします。」というメッセージが表示されたら「次へ」ボタンをクリック

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6 「セットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 7 Windowsを再起動する



Acrobat Reader

概要

PDF(Portable Document Format)形式の電子マニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができます。



チェック!

Acrobat Readerは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してAcrobat Readerをインストールしてください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adobe Acrobat」→「Acrobat Reader3.0J」をクリック
Acrobat Reader の画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 4 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.4)
- 2 「プロダクトの選択」で「Acrobat Reader」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「Adobe Acrobat Reader 3.0Jインストール」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「使用許諾契約書」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 6 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 「セットアップの完了」が表示されたら、「終了」ボタンをクリック
メモ帳が起動し、READMEファイルが表示されます。
読み終えたら終了させてください。
- 8 「Adobe Acrobat 3.0Jセットアップ」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

英語モードフォントを使用する

日本語モードフォント、英語モードフォントについて

日本語モードフォントのまま、海外製Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントのまま、日本語版Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用する場合も、正しく表示されない文字があります。

それぞれのモードでの表示状態については、次の通りです。

	海外製Windows 98 アプリケーションを使用	日本語版Windows 98 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「㊞」、「®」→「㊟」、 「\」→「¥」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「㊞」→「©」、「㊟」→「®」、 「¥」→「\」



チェック!! 英語モードフォントは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。
「英語モードフォントへの切り替え」の方法でインストールしてください。

英語モードフォントへの切り替え(追加)

使用するフォントを日本語モードフォントから英語モードフォントに切り替えます。

- 1 CD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「フォント」をダブルクリック
- 4 「Fonts」の画面が表示されたら「ファイル」→「新しいフォントのインストール」をクリック
- 5 「フォントの追加」の画面が表示されたら、「ドライブ」にCD-ROMドライブ(通常は「Q:」)を指定し、「フォルダ」で「usfont」フォルダをダブルクリック
- 6 「フォントの一覧」のリストボックスに、
「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem (Set#6)」「EnglishModeTerminals(Set#6)」が表示されることを確認してから、「すべて選択」ボタンをクリックした後、「OK」ボタンをクリック
「Fonts」フォルダ内に英語モードフォントが追加され、英語モードフォントに切り替わります。

 **チェック!!** 使用しているフォントが英語モードフォントのままで、日本語版Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用すると、「う」「ヨ」「¥」が正しく表示されなくなります。この場合、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えてください。

日本語モードフォントへの切り替え(削除)

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「フォント」をダブルクリック
- 3 「Fonts」の画面が表示されたら「フォント」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem (Set#6)」「EnglishModeTerminals(Set#6)」(実際には名前が短く表示されることもあります)を選択し、「ファイル」の「削除」を選択する
- 4 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
英語モードフォントが削除され、日本語モードフォントに切り替わります。

 **チェック!!** 使用しているフォントが日本語モードフォントのままで、海外版Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用すると、著作権(©)や登録商標(®)、(\) が正しく表示されなくなります。この場合、日本語モードフォントを英語モードフォントに切り替えてください。

液晶ディスプレイ調整ツール

概要

液晶ディスプレイ調整ツールは、液晶ディスプレイがセットになったモデルの液晶ディスプレイの画面を調整する場合に利用します。液晶ディスプレイに内蔵されているOSD機能(画面調節用表示機能)と組み合わせで利用していただくことにより、液晶ディスプレイの画面調節が簡単に行えます。



チェック!! 液晶ディスプレイの調整方法については、液晶ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「液晶ディスプレイ調整ツール」をクリック
調整パターンとガイダンスが表示されます。

削除

- ✓ **チェック!**
- ・液晶ディスプレイ調整ツールを削除した場合、再追加するためには、再セットアップを行う必要がありますのでご注意ください。
 - ・液晶ディスプレイをご利用の場合は、液晶ディスプレイ調整ツールは削除しないでください。

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「液晶ディスプレイ調整ツール」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「液晶ディスプレイ調整ツールとそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 4 「コンピュータからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

追加

液晶ディスプレイ調整ツールの追加はできません。再セットアップが必要です。「PART2 再セットアップするには」(P.89)をご覧ください。

2

再セットアップするには

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、本機のシステムやアプリケーションを工場出荷時の状態に復元する方法を説明しています。

この章の内容

再セットアップについて	90
工場出荷時と同じ状態にする - 標準再セットアップ	93
ドライブ領域を変えて再セットアップする	
- カスタム再セットアップ	101
FAT32ファイルシステムの利用	120



再セットアップについて

再セットアップを行うと、壊れてしまったパソコンのシステムを復旧することができます。ただし、ハードディスクに保存したファイルが消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してからはじめてください。

再セットアップが必要になるとき

つぎのようなとき、パソコンの再セットアップが必要です。

- ・ 電源を入れても、電源ランプは点灯するが、Windows 98が動作しない。
- ・ ハードディスクの中のプログラムが正常に動作しない。
- ・ ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった。
- ・ スキャンディスクを行っても修復できない。
- ・ Safeモードで起動しても問題が解決できない。

Safeモードで起動して問題を解決する

SafeモードはWindowsの正常な起動を行えるようにするための、特殊な診断モードです。以下の手順でSafeモードを起動させてください。

- 1 問題のあるWindows 98を起動する
- 2 「NEC」のロゴの画面で「<F2>キーを押すと、セットアップを起動します。」と表示されたら、すぐに【Ctrl】を「Microsoft Windows 98 Setup Menu」が表示されるまで押し続ける
- 3 「3.Safe mode」を選択して【Enter】を押す
- 4 キーボードのタイプを判定しますと表示されたら、【半角/全角/漢字】を押す
- 5 「WindowsはSafeモードで実行されています」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
Safeモードが起動します。

Safeモードで起動して解決できる問題は、ネットワークまたはハードウェアの設定に問題があります。コントロールパネルで設定を確認してから、Windowsを再起動してください。

-  **チェック!** Safeモードで実行しているときは、いくつかのデバイスが利用できなくなることがあります。

再セットアップする前の注意

- ・ データをバックアップしてください。
ご自分で作成されたデータは再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップを始める前に、必ずバックアップをとってください。
- ・ パソコンの設定を控えてください。
再セットアップを行うと、ネットワークの設定やBIOSセットアップメニューの設定などはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。
- ・ 別売の周辺装置は取り外してください。
『はじめにお読みください』をご覧の上、本機に添付されていた機器のみを接続した状態で再セットアップを行ってください。再セットアップ後、別売の周辺機器の接続を行ってください。
- ・ 再セットアップは途中でやめないでください。
再セットアップを始めたら、本書の手順通りに、最後まで行ってください。途中でやめた場合は、最初から再セットアップを行ってください。
- ・ 別売のアプリケーションは再セットアップ完了後にインストールを行ってください。
別売のアプリケーションも再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップがすべて完了してから、インストールを行ってください。
- ・ カスタム再セットアップを行う場合、ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。
「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力し直すかボリュームラベルを削除してください。
Windows 98が起動しない場合は、「起動ディスク」を使って本機を起動し、コマンドプロンプトから以下のように入力してボリュームラベルを変更してください。

C:¥WINDOWS¥COMMAND¥LABEL ドライブ名 :【Enter】

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

再セットアップの方法には次の二つの方法があります。

- ・ 標準再セットアップ

ハードディスクを工場出荷時と同じ状態に戻します。初心者の方および、ハードディスクについての知識のない方は、必ず、この方法で再セットアップしてください。

- ・ カスタム再セットアップ

手順の中でFDISKコマンドを使用するため、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Cドライブのハードディスク容量を変更したい場合にこの手順で再セットアップします。

 参照 ▶ 標準再セットアップ(P.93) \ カスタム再セットアップ(P.101)

 **チェック!!** ここに掲載されている画面は、機種によって、実際に表示される画面と異なることがあります。

用語 再セットアップ

このパソコンのシステムが壊れてしまったときに、CD-ROMに入っているデータをもとに、工場出荷時と同じ状態に戻す作業のことです。

ハードディスクの構成を変えるときも、ハードディスクをフォーマット(初期化)し直すとシステムが消えてしまうので、再セットアップが必要です。

工場出荷時と同じ状態にする - 標準再セットアップ

「標準再セットアップ」を行うと、パソコンを工場出荷時と同じ状態に戻すことができます。

標準再セットアップの手順

標準再セットアップはつぎの手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

- 1 バックアップをとる
- 2 パソコンの設定を控える
- 3 必要なものを準備する
- 4 システムを再セットアップする(約30分)



再セットアップにかかる時間は、モデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

- 5 Windows 98の設定をする(約20分)
- 6 選択アプリケーションのあるモデルの場合は、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)
- 7 別売の周辺機器の設定をやり直す



チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。

1. バックアップをとる

「バックアップCD-ROM」で再セットアップできるのは、このパソコンに工場出荷時からはいっていたソフトウェアだけです。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。Windows 98を起動できるときは、かならず、大切なデータのバックアップをとってから、再セットアップを行ってください。MOディスク、Zipディスク、外付けハードディスクなどの記憶装置があると、まとめてバックアップをとることができるので便利です。



本機には、添付の「アプリケーションCD-ROM」からバックアップツール「Masty Data Backup」がインストールできます。

参照 「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「Masty Data Backup」(P.46)

用語 バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダが消えてしまってもいいように、フロッピーディスクや、MOディスク、外付けハードディスクなどに複製を作っておくことを「バックアップをとる」といいます。

2. パソコンの設定を控える

再セットアップを行うと、ネットワークの設定やBIOSセットアップメニューの設定などはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

3. 必要なものを準備する

再セットアップの作業にはいる前に、このパソコンに添付されている、つぎのCD-ROM、フロッピーディスク、マニュアルを準備してください。

「バックアップCD-ROM」

「システムインストールディスク」

『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』

インストールアプリケーションのあるモデルのときは、それぞれのアプリケーションのCD-ROMも必要です。

また、このパソコンの購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。

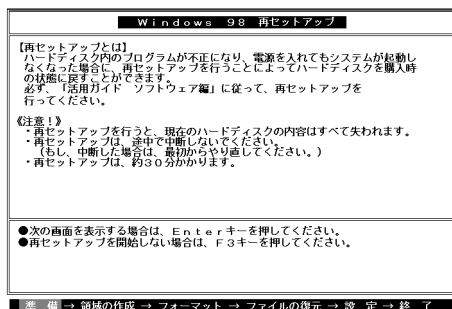


準備するものは、モデルによって異なりますので、再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認して、全て準備するようにしてください。

4. システムを再セットアップする

再セットアップは、ハードディスクのCドライブに対して行われます。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
次の画面が表示されます。



再セットアップにかかる時間はモデルによって異なりますので、この画面で確認してください。

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

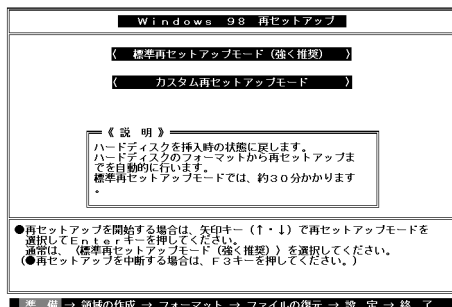
「Invalid system disk Replace the disk....」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットしなおして、何かキーを押してください。

- 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

- 4 【Enter】を押す

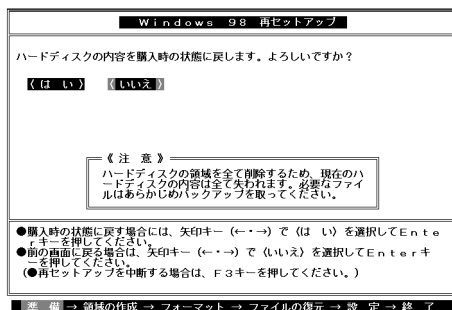
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す



6 「標準再セットアップモード(強く推奨)」を選択し【Enter】を押す

「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。



7 「はい」を選択し【Enter】を押す

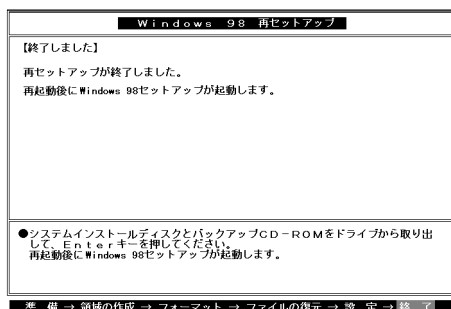
ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約30分かかります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。



チェック!!

- ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチやスリープボタンを押したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回ビープ音が鳴りますが、問題ないので無視してください。
- ・「再セットアップが終了しました」というメッセージが画面に表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。初めからやり直してください。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。

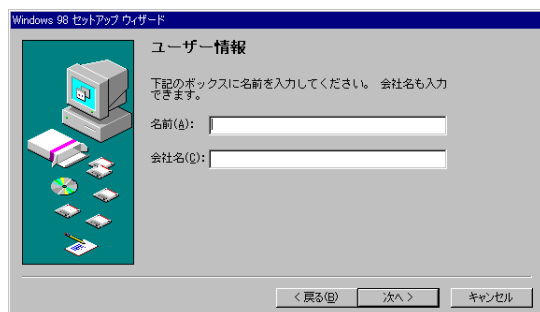


✓**チェック!!** この画面が表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。初めからやりなおしてください。

8 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

9 CD-ROM ドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

10 【Enter】を押す
システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」の画面が表示されます。



5.Windows 98の設定をする

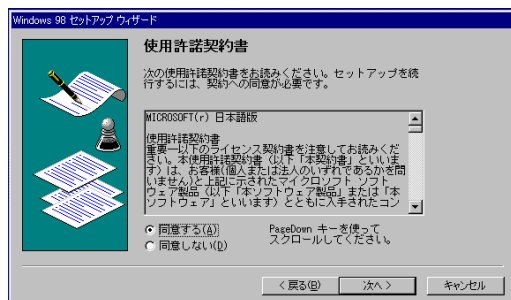
ここで行う操作は、はじめてこのパソコンを使ったときの操作『はじめてお読みください』と同じ操作です。

- 1 「ユーザー情報」の画面で、キーボードを使ってこのパソコンを使う人の名前と会社名を入力する
名前を入力しないと、つぎの手順に進めません。会社名は入力しなくてもかまいません。
ただし、ここで入力した名前、会社名は変更できません。変更する場合は、再セットアップする必要があります。
名前や会社名は、ローマ字でも、漢字やカタカナでもかまいません。

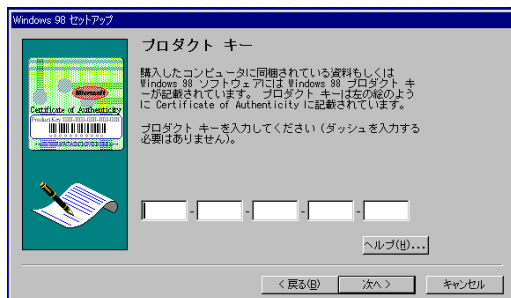
- 2 入力が終わったら、「次へ」ボタンをクリック

- 3 画面に表示される「使用許諾契約書」を確認する

▼【スクロールボタン】をクリックするか、キーボードの【Page Down】を押すと、「使用許諾契約書」の下の方を読むことができます。



- 4 「同意する」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
 (「同意しない」をクリックすると、セットアップが中止になるようなメッセージが表示されます。中止したときは、再セットアップをもういちど最初からやり直してください)



- 5 キーボードを使ってプロダクト キーを半角文字で入力する
 プロダクト キーは、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。表紙のデザインは、実際のものと異なる場合があります。

✓ **チェック!** 『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』は紛失しないように気をつけてください。表紙に記載されている「プロダクト キー」がわからないと、再セットアップできません。

- 6 「次へ」ボタンをクリック

- 7 「ウィザードの開始」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
 何度か画面が変わり、Windows 98のデスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。途中で再起動を促す画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

✓ **チェック!** Wordモデルの場合は続けてすぐにOutlook、Excel、Wordの再セットアップを行ってください。再セットアップを完了しないと誤動作の原因になる場合があります。再セットアップの方法は「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「Word 98/Excel 97/Outlook 98(Wordモデルのみ)」をご覧ください。

6. アプリケーションを再セットアップする(選択アプリケーションのあるモデルのみ)

各アプリケーションを再セットアップしてください。

再セットアップ方法は「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「追加」をご覧ください。

7. パソコン購入後に行った設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなっているので、設定しなおしてください。

別売の周辺機器がある場合は接続して設定しなおしてください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、別売のアプリケーションをインストールしていた場合もインストールし直してください。

ドライブ領域を変えて再セットアップする - カスタム再セットアップ

ハードディスクのCドライブ領域を変更するときは、カスタム再セットアップを行ってください。

カスタム再セットアップは、領域の削除や作成が必要なので、パソコンに慣れた方や、ハードディスクについて知識のある方が行う必要があります。

カスタム再セットアップの手順

カスタム再セットアップはつぎの手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

- 1 バックアップをとる
- 2 パソコンの設定を控える
- 3 必要なものを準備する
- 4 領域を削除する(約5分)
- 5 領域を確保する(約5分)
- 6 ドライブを初期化(フォーマット)する(約10～15分)
- 7 システムを再セットアップする(約30分)



再セットアップにかかる時間は、モデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

- 8 Windows 98の設定をする(約20分)
- 9 選択アプリケーションのあるモデルのときは、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)

10 パソコン購入後に行った設定をやり直す

- ✓ **チェック!**
- ・ハードディスクの領域を削除すると、その領域のシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。領域を削除する前に、必ずバックアップをとってください。
 - ・再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。
 - ・本機の工場出荷時のCドライブの領域作成状態は、Windows 98(FAT16)で作成できる最大領域(2,047Mバイト)で領域作成しています。
FAT16ファイルシステムでは、1つのドライブを2,047Mバイト以上で作成することはできません。
 - ・2,047Mバイトを越えて作成し、ご使用になる場合は、「FAT32ファイルシステムの利用」(P.120)をよくお読みください。

FDISKについて

カスタム再セットアップでは、FDISKというコマンドを使って、次のようにハードディスクの領域を作成します。

基本MS-DOS領域 起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows98をインストールします。1つのハードディスクに1つだけ作成できます。

拡張MS-DOS領域 基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここから起動することはできません。1つのハードディスクに1つだけ作成できます。拡張MS-DOS領域の中に論理MS-DOSドライブを割り当てることでDドライブ以降として領域を割り当てることができます。

論理MS-DOSドライブ 拡張MS-DOS領域の中に作成します。複数のドライブを作成することができます。ここでDドライブ以降を作成します。なお、本機では1つのドライブにつき、最大2,047Mバイト(FAT16の場合)まで作成できます。

拡張MS-DOS領域を削除する場合は、論理MS-DOSドライブ→拡張MS-DOS領域の順に削除してください。また、領域を作成する場合は、基本MS-DOS領域→拡張MS-DOS領域→論理MS-DOSドライブの順で作成してください。

なお、FDISKコマンドで領域作成後、それぞれのドライブをフォーマットすると、ハードディスクが使えるようになります。フォーマットはFORMATコマンドで行います。本機では、カスタム再セットアップの画面から直接フォーマットが実行できるようになっています。

1. バックアップをとる

「バックアップCD-ROM」で再セットアップできるのは、このパソコンに購入時から入っていたソフトウェアだけです。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。

Windows 98を起動できるときは、かならず、大切なデータのバックアップをとってから、再セットアップを行ってください。

MOディスク、外付けハードディスクなどの記憶装置があると、まとめてバックアップをとることができるので便利です。



本機には、添付の「アプリケーションCD-ROM」からバックアップツール「Masty Data Backup」がインストールできます。



「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「Masty Data Backup」(P.46)

2. パソコンの設定を控える

再セットアップを行うと、ネットワークの設定やBIOSセットアップメニューの設定などはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

3.必要なものを準備する

再セットアップの作業にはいる前に、このパソコンに添付されている、つぎのCD-ROM、フロッピーディスク、マニュアルを準備してください。

「バックアップCD-ROM」

「システムインストールディスク」

『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』

インストールアプリケーションのあるモデルのときは、各アプリケーションのCD-ROMも必要です。また、このパソコンの購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。

メモ

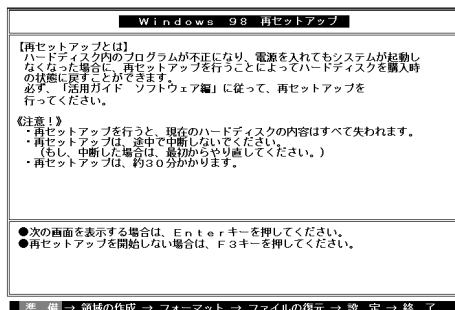
準備するものは、モデルによって異なりますので、再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認して、すべてを準備するようにしてください。

4.領域を削除する

カスタム再セットアップを行うには、まず、再セットアップするドライブの領域を削除する作業が必要です。

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 次の画面が表示されます。





再セットアップにかかる時間はモデルによって異なりますので、この画面で確認してください。

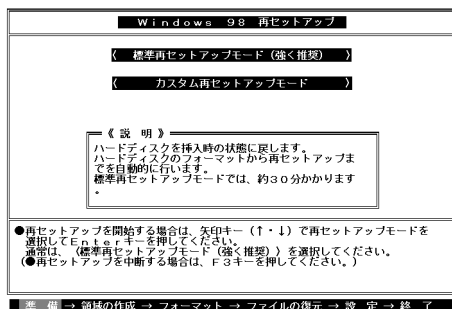
「システムインストールディスク」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk Replace the disk....」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク（起動用）」をセットしなおして、何かキーを押してください。

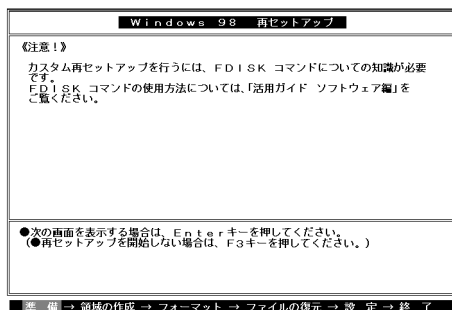
3 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】を押す

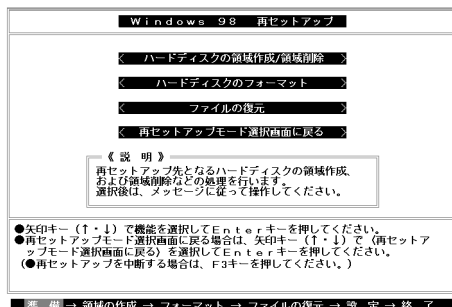


5 【↓】を1回押して「カスタム再セットアップモード」を選択し【Enter】を押す



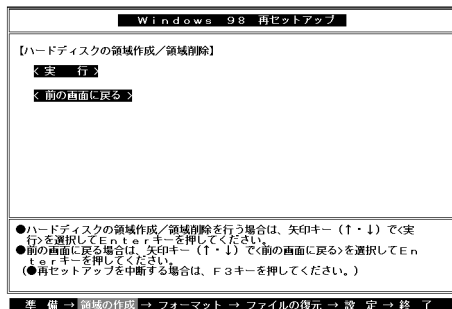
6 【Enter】を押す

カスタム再セットアップを中断して、標準再セットアップを行うときは、【F3】を押し、最初からやり直してください



7 「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」を選択して【Enter】を押す

「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」の画面が表示されます。



8 「実行」を選択して【Enter】を押す

「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますが(Y/N)・・・？」と表示されます。

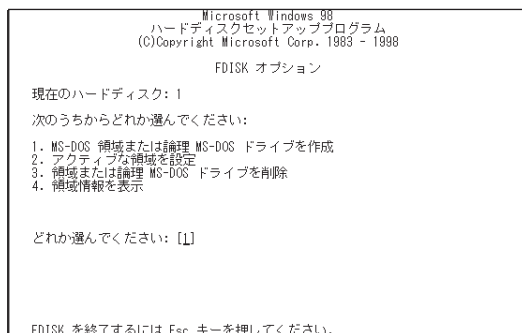
9 【N】を押して、【Enter】を押す

ここではCドライブをFAT16で再セットアップする手順について説明します。



チェック!! CドライブをFAT32で再セットアップする場合は、「CドライブをFAT32にして再セットアップする (P.122) をご覧ください。

「FDISKオプション」の画面が表示されます。



ハードディスクに基本MS-DOS領域しかない場合は、「4-3. 基本MS-DOS領域を削除する」(P.109)へ進んでください。削除したい論理MS-DOSドライブおよび拡張MS-DOS領域がある場合は、「4-1. 論理MS-DOSドライブを削除する」(P.107)に進んでください。

4-1. 論理MS-DOSドライブを削除する

- 1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「3. 拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 3 ドライブ一覧とともに、「どのドライブを削除しますか」と表示されるので、削除するドライブを選択し、(Dドライブの場合は【D】を押す)【Enter】を押す
- 4 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されるので、ボリュームラベルがつけられている場合は入力して【Enter】を押す
入力する必要がない場合(削除する領域にボリュームラベルがつけられていない場合)は、そのまま【Enter】を押す

- 5 「よろしいですか(Y/N)」と表示されるので、【Y】を押して【Enter】を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました」と表示されます。
- 6 ほかに削除したいドライブがある場合、残りのドライブも同様に3～5の手順ですべて削除する
- 7 すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブはすべて削除されました」と表示されるので【Esc】を押す
- 8 「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました」と表示されるので【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に、「4-2. 拡張MS-DOS領域を削除する」に進んでください。

4-2. 拡張MS-DOS領域を削除する

- 1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「2. 拡張MS-DOS領域を削除」を選択し、【Enter】を押す
- 3 「削除した拡張MS-DOS領域データはなくなります。続けますか(Y/N)」と表示されたら、【Y】を押して【Enter】を押す
- 4 「拡張MS-DOS領域を削除しました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に「4-3. 基本MS-DOS領域を削除する」に進んでください。

4-3. 基本MS-DOS領域を削除する

- 1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「1. 基本MS-DOS領域を削除」を選択し、【Enter】を押す
- 3 現在のハードディスクの状態と共に、「削除した基本MS-DOS領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されるので、【1】を押して、【Enter】を押す
- 4 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されたら、「WINDOWS98」と入力して(別のボリュームラベルの場合はその名前を入力、何もボリュームラベルが付けられていない場合はなんにも入力せずそのままの状態)【Enter】を押す
- 5 「よろしいですか(Y/N)」と表示されたら、【Y】を押して【Enter】を押す
- 6 「基本MS-DOS領域を削除しました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に「5. 領域を作成する」に進んでください。

5.領域を作成する

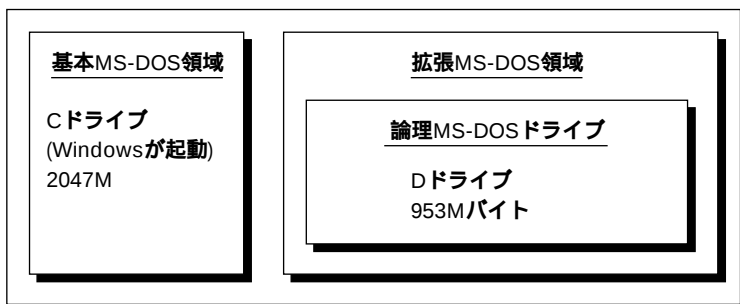
領域を削除したら、新しく作成します。本機では次のようにして領域を作成します。

例:ハードディスクの容量が3000Mバイトある場合

領域の分け方の例(1)

基本MS-DOS領域(FAT16)を最大サイズ確保

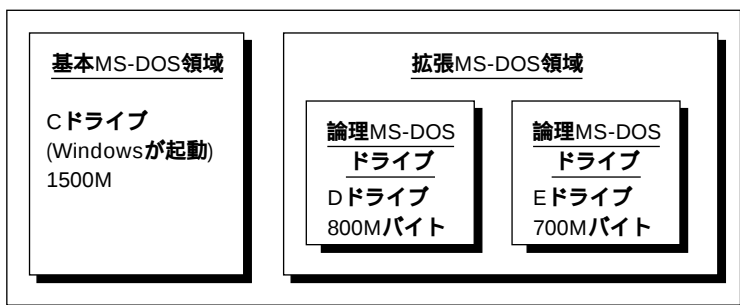
拡張MS-DOS領域を最大サイズ確保したあと、論理MS-DOS領域も最大サイズ確保



領域の分け方の例(2)

基本MS-DOS領域を1500Mバイト確保

拡張MS-DOS領域を残り全部確保したあと、論理MS-DOS領域を800Mバイトと700Mバイトに分割



5-1. 基本MS-DOS領域を作成する

- 必要なハードディスク容量について
本機では基本MS-DOS領域にWindows 98やアプリケーションをインストールします。領域のサイズを指定して作成する場合は、1160MB以上の領域を作成してください。
- 基本MS-DOS領域の作成
基本MS-DOS領域を最大に割り当てるかどうかで手順が違います。それぞれ該当する部分をお読みください。
 - ・ 最大(2,047Mバイト)に割り当てる場合
 - a. 基本MS-DOS領域を最大に割り当てる
 - ・ 最大に割り当てないでサイズを指定する
 - b. 基本MS-DOS領域をサイズを指定して割り当てる

a. 基本MS-DOS領域を最大に割り当てる

- 1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「どれか選んでください」と表示されるので、「1. 基本MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す
- 3 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします Y/N)」と表示されるので、【Y】を押して、【Enter】を押す
- 4 「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」と表示されたら、【Esc】を押す
- 5 「拡張MS-DOS領域を作成しますか」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

内蔵ハードディスクの容量が2Gバイト以下のときは「設定を有効にするためシステムを再起動します」と表示されるので、【Enter】を押します。Windows 98再セットアップの画面が表示されます。「6. ドライブをフォーマットする」に進んでください。

- 6** 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)」と表示されますので【N】を押して【Enter】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に「5-2. 拡張MS-DOS領域を作成する」に進んでください。

b. 基本MS-DOS領域をサイズを指定して割り当てる

- 1** 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す
- 2** 「どれか選んでください」と表示されるので、「1. 基本MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す
- 3** 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されるので、【N】を押して、【Enter】を押す
- 4** 「領域サイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されるので、数値を入力して【Enter】を押す



- すでに最大領域2,047が入力された状態で表示されているので、そのまま【Enter】を押すと最大領域が作成されます。
- 割合は全体に対する割合なので、モデルによって同じ%を指定しても作成される容量は異なります。

例: ハードディスクの容量が3Gバイトの場合	20%	約614Mバイト
ハードディスクの容量が4Gバイトの場合	20%	約819Mバイト

- 5** 「基本MS-DOS領域を作成しました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

- 6 【2】アクティブな領域を設定)を押し、【Enter】を押す
- 7 「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されるので、【1】を押して、【Enter】を押す
- 8 「領域1がアクティブになりました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に「5-2.拡張MS-DOS領域を作成する」に進んでください。

5-2.拡張MS-DOS領域を作成する

- 1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選んで、【Enter】を押す
- 2 「2. 拡張MS-DOS領域を作成」を選んで、【Enter】を押す
- 3 「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張MS-DOS領域を作ります」と表示されるので、最大サイズが表示されていることを確認して、【Enter】を押す
- 4 「拡張MS-DOS領域を作成しました」と表示されるので、【Esc】を押す

次に「5-3.論理ドライブを割り当てる」に進んでください。

5-3.論理ドライブを割り当てる

- 1 「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。最大サイズを割り当てない場合は、数字を入力して【Enter】を押す
そのままの状態では【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。
作成されると、「論理MS-DOSドライブを作成しました。ドライブ名は変更または追加されました」と表示されます。

2 割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っている場合は、続けて「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。最大サイズで割り当てない場合は、数字を入力して【Enter】を押す。そのままの状態では【Enter】を押すと、自動的に最大サイズを割り当てられます。

拡張MS-DOS領域の残りがなくなるまで、手順2を繰り返して、すべての拡張MS-DOS領域を論理ドライブに割り当ててください。すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。

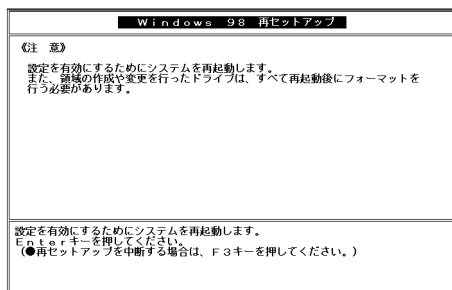
3 【Esc】を押して、もう一度【Esc】を押して、FDISKオプションの画面を終了する



FDISKオプションの画面の「4.領域情報を表示」で作成した領域を確認することができます。

4 「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示された場合は、【Esc】を押す

5 「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示された場合は、【Enter】を押す

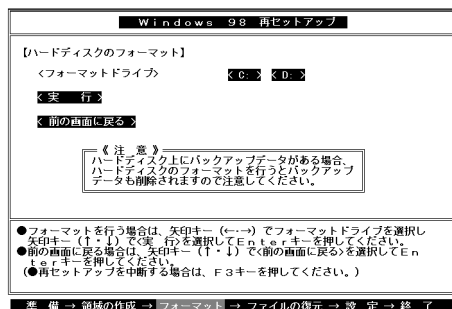


再起動後、Windows 98再セットアップの画面が表示されます。これで領域は作成されました。次に「6. ドライブをフォーマットする」に進んでください。

6. ドライブをフォーマットする

新しく確保した領域は、フォーマットする必要があります。

- 1 「ハードディスクのフォーマット」を選択し、【Enter】を押す
次の画面が表示されます



- 2 「C:」を選択して、【Enter】を押す
「注意! ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますが(Y/N)？」と表示されます。
- 3 【Y】を押して、【Enter】を押す
フォーマットが始まります。ドライブのサイズにもよりますが、5分ほどかかります。
フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。

4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押す。必要がなければ、【Enter】だけを押す

ボリュームラベルは、半角英数字で11文字まで、全角文字で5文字まで入力できます。(ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。あとで「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選ぶと全般シートで入力、変更することができます)

「Windows 98再セットアップ」の画面に戻ります。

- ✓ **チェック!** 新しく領域を作成したドライブはすべて、手順1~4をくりかえして、フォーマットしてください(手順2のドライブ名は、【→】キーを押して選択してください)

メモ

拡張MS-DOSドライブ領域が残っているにもかかわらず、FDISKオプションを終了させてしまい、再度FDISKオプションを起動し、論理MS-DOSドライブを作成した場合は、そのドライブは手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることができません。またハードディスクを5つ以上に分割(Gドライブ以上作成)した場合も、これ以降のドライブ(G,H,I,...)は手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることはできません。

これらの場合については「フォーマットできなかったハードディスクをフォーマットする」(P.119)をご覧ください。

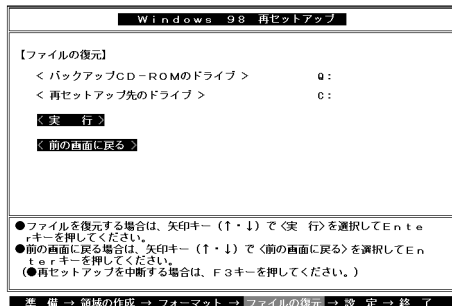
- ✓ **チェック!**
- ・領域を削除しなかったドライブはフォーマットしないでください。フォーマットすると、ドライブ内のすべてのデータが削除されます。
 - ・システムインストールディスクはフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

次に「7.システムを再セットアップする」に進んでください。

7 システムを再セットアップする

1 「Windows 98再セットアップ」の画面で「ファイルの復元」を選択し、【Enter】を押す

次の画面が表示されます。



2 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

3 【Enter】を押す

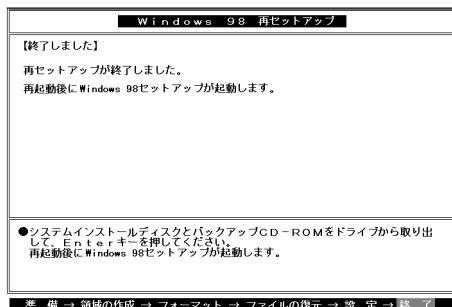
システムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約30～45分かかります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。



チェック!!

- ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMや、フロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回ビープ音が鳴りますが、問題ないので無視してください。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



4 フロッピーディスクドライブからシステムインストールディスクを取り出す

5 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

6 【Enter】を押す

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」の画面が表示されます。

これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「工場出荷時と同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「5.Windows 98の設定をする」(P.98)に進んで、そのあとの操作を行ってください。

フォーマットできなかったハードディスクをフォーマットする

拡張MS-DOSドライブ領域が残っているにもかかわらず、FDISKオプションを終了させてしまい、再度FDISKオプションを起動し、論理MS-DOSドライブを作成した場合やハードディスクドライブを5つ以上分割した場合(Gドライブ以上作成)は、Gドライブ以降のドライブ「6.ドライブをフォーマットする」でフォーマットできなかったドライブを次の手順によりフォーマットしてください。

- 1 パソコン本体の電源を入れる
- 2 「マイコンピュータ」をダブルクリック
- 3 「マイコンピュータ」の画面が表示されたら、フォーマットするハードディスクドライブ(G,H,I,...)のアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「フォーマット」をクリック
- 4 「フォーマット」の画面が表示されたら、「通常のフォーマット」をクリック
- 5 「開始」ボタンをクリック
- 6 フォーマットの確認画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 7 「フォーマット結果」の画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック
- 8 スキャンディスクの実行を促す画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 9 「フォーマット」の画面の「閉じる」ボタンをクリック
- 10 ヘルプの内容に従ってスキャンディスクを実行する
フォーマットできなかったハードディスクドライブが他にもある場合は、手順3～10をくり返してフォーマットしてください。



FAT32ファイルシステムの利用

本機にインストールされているWindows 98では、FAT32ファイルシステムをサポートしています。ここでは、FAT32ファイルシステムの概要や設定方法について説明します。

FAT32ファイルシステムについて

FAT(File Allocation Table)ファイルシステム(以降、FAT16)は、MS-DOSや従来のWindowsで使用されている基本的なファイルシステムです。FAT32ファイルシステム(以降、FAT32)はFAT16を拡張したファイルシステムで、次のような特徴があります。

- ・ FAT16では、2GBの容量を超える領域を扱えませんが、FAT32では理論上2TB(2,047GB)の容量まで扱えます。

FAT32を使用する場合の注意

本機の工場出荷時のハードディスクの基本MS-DOS領域はFAT16です。通常は、FAT16のまま使用してください。FAT32を使用する場合は、「Windows」フォルダのgeneral.txtと次の注意事項を確認してご使用ください。

- ・ ハードディスクにインストールされた他のOS(Windows NT 4.0 Workstationなど)からは、アクセスできません。
- ・ ご使用になっている別売のソフトウェアによっては正しく動作しない場合があります。
- ・ スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、「システムツール」グループにあるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただし、「ドライブスペース」でFAT32のドライブを圧縮できません。
- ・ FAT16に戻すためには、再セットアップする必要があります。

FAT32の設定方法

FAT32を利用するには、「FDISKコマンド」を使用して領域を作成、または「ドライブコンバータ(FAT32)」を使用して領域を変換します。

「FDISKコマンド」は、ハードディスクに領域を作成したり、削除したりするプログラムです。

「ドライブコンバータ(FAT32)」はFAT16ファイルシステムのハードディスクをFAT32ファイルシステムに変換します。



チェック!

領域を削除すると、お客様がセットアップしたシステムやアプリケーション、データファイルもすべて削除されます。大切なデータやファイルがある場合には、必ずフロッピーディスクなどの別の媒体に保存してください。

「FDISKコマンド」での設定

1 本機をMS-DOSモードで再起動する

2 以下のように入力する

FDISK /X【Enter】

ハードディスクの容量が512MB以上の場合は、大容量ディスクのサポートを行うかどうかを確認する、次のようなメッセージが表示されます。

512MB以上のディスクがあります。このバージョンのWindowsでは、大容量のディスクのサポートが強化され、ディスク領域を有効に使えるようになりました。2 GB以上のドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます。

重要：大容量ディスクのサポートを使用可能にして、このディスクに新しいドライブを作成した場合、はかのオペレーティングシステムを使ってこの新しいドライブにアクセスすることはできません。(Windows 95とWindows NTの特定のバージョン以前のバージョンのWindowsとMS-DOSを含む)。また、FAT32ファイルシステム用に設計されていないディスクユーティリティは、正常に動作しません。このディスクではかのオペレーティングシステムや以前のディスクユーティリティにアクセスする必要がある場合、大容量ドライブのサポートはしないでください。

大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか (Y/N)? [Y]

3 【Enter】を押す



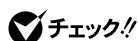
領域(ただし、512MB以上の領域)を作成すると、その領域にはFAT32が適用されます。

4 Windowsを再起動する

ドライブをフォーマットすると、領域が利用できるようになります。

「ドライブコンバータ(FAT32)」での設定

ドライブをFAT32ファイルシステムに変換する手順は、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』または、Windows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』第5章 高度な機能』の「FAT32ファイルシステムを使う」をご覧ください。



チェック!!

- ・ドライブコンバータを使う前に、Windows 98のヘルプにある「ドライブコンバータ(FAT32)を使う」をよくお読みください。
- ・ドライブコンバータを使う前に、コンベシヨナルメモリ空間を確保するため、「CONFIG.SYS」や「AUTOEXEC.BAT」に追加したドライバを無効してから、実施してください。

CドライブをFAT32にして再セットアップする

「ドライブ領域を変えて再セットアップする-カスタム再セットアップ」(P.101)の手順にしたがって、「4.領域を削除する」(P.104)の手順9で「Y」を選択すると、CドライブをFAT32にして再セットアップすることができます。

512MB以上のディスクがあります。このバージョンのWindowsでは、大容量のディスクのサポートが強化され、ディスク領域を有効に使えるようになりました。2 GB以上のドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます。

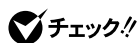
重要：大容量ディスクのサポートを使用可能にして、このディスクに新しいドライブを作成した場合、ほかのオペレーティングシステムを使ってこの新しいドライブにアクセスすることはできません（Windows 95とWindows NTの特定のバージョン、以前のバージョンのWindowsとMS-DOSを含む）。また、FAT32ファイルシステム用に設計されていないディスクユーティリティは、正常に動作しません。このディスクでほかのオペレーティングシステムや以前のディスクユーティリティにアクセスする必要がある場合、大容量ドライブのサポートはしないでください。

大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか (Y/N) ?[Y]

この後は、「ドライブ領域を変えて再セットアップする - カスタム再セットアップ」(P.101)の手順を参照し、画面の指示にしたがって操作してください。



工場出荷時には、本機のCドライブはFAT16に設定されています。



チェック!!

CドライブをFAT32にする前に、「FAT32を使用する場合の注意」(P.120)な内容をよく確認しておいてください。

他のOSを利用する

この章の内容

Windows 98でMS-DOSモードを利用する	124
Windows NT 4.0を利用する	130



Windows 98でMS-DOSモードを利用する

Windows 98のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

MS-DOSモードを利用すると、MS-DOSで起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用する方法は以下の2種類があります。

< Windows 98起動時のMS-DOSモード >

- 1 本体の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの画面で「<F2>キーを押すと、セットアップを起動します。」と表示されたら、すぐに【Ctrl】を「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されるまで押し続ける
- 3 「5. Command Prompt only」を選んで【Enter】を押す
MS-DOSモードが起動します。

< Windows 98終了後のMS-DOSモード >

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
MS-DOSモードが起動します。

MS-DOSモードを終了する

Windows 98起動時にMS-DOSモードで起動した場合

1 電源ボタンを押す

Windows 98終了後にMS-DOSモードで起動した場合

1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

用語 MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。

「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、ほかのアプリケーションと一緒に使うことはできません。

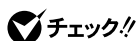
「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。

「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

「MS-DOSプロンプト」画面が表示されます。

なお、コマンドやアプリケーションによっては、「MS-DOSモード」もしくは「MS-DOSプロンプト」からは使用できないものもあります。



チェック!

- ・MS-DOSの通信アプリケーションは、「MS-DOSプロンプト」をフルスクリーン表示にして実行してください。

- ・Windows 98のスクリーンセーバを設定し、フルスクリーン表示のMS-DOSプロンプトで、マウス操作のみを行っている場合、Windows 98のスクリーンセーバが動作する場合があります。

この場合は、次の手順でスクリーンセーバが動作しないように設定してください。

【Alt】を押しながら、【Enter】を押して、フルスクリーン表示からウィンドウ表示に切り替える

【Alt】を押しながら、スペースキーを押して、MS-DOSプロンプトのメニューを表示させる

メニューから「プロパティ」を選択する

「MS-DOSプロンプトのプロパティ」の画面が表示されたら、「その他」タブをクリック

「ウィンドウがアクティブな場合」の「スクリーンセーバーを使用する」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずし「OK」ボタンをクリック

【Alt】を押しながら、【Enter】を押して、ウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替える

CD-ROMドライバ(本機内蔵CD-ROMドライブ)

本機は、工場出荷時の状態では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで本機内蔵のCD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

現在のMS-DOS設定を使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリック
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力
SETCD /A【Enter】
CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加され
SETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは拡張子SCDとして保存されます。
- 4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力
EXIT【Enter】
Windowsが再起動します。
- 5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

- 6 「再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリック
Windowsを再起動します。
- 7 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 8 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリック
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブにアサインされます。

新しいIMS-DOS設定を指定する場合

新しいIMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック
- 2 CドライブのWindowsディレクトリの「COMMAND.COM」をクリック
プログラム名が反転表示されます。
- 3 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリック
- 4 「プロパティ」の画面が表示されたら、「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリック
- 5 「プログラムの詳細設定」の画面が表示されたら、「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいIMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。
- 6 「OK」ボタンをクリック
- 7 「OK」ボタンをクリック

- 8** 「エクスプローラ」で新しいIMS-DOS設定を指定したプログラムをダブルクリック
MS-DOSモードが起動します。
- 9** コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
SETCD /A【Enter】
CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。
- 10** コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
EXIT【Enter】
Windowsが再起動します。
- 11** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック
- 12** 「エクスプローラ」で新しいIMS-DOS設定したプログラムをダブルクリックする
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライバがQドライブに割り当てられます。

サウンド機能

MS-DOSモードのサウンド機能は、工場出荷時の設定では有効になっていません。

MS-DOSモードにおいて、サウンド機能を使用する場合は、次の設定方法に従って設定を行ってください。

なお、Windows 98の「MS-DOS プロンプト」ではサウンド機能は使用できません。

設定方法

「c:¥autoexec.bat」および「c:¥windows¥dosstart.bat」の2つのファイルの最後に、次の3行を追加してください。

<追加内容>

```
@copy c:¥ds-xg¥dos4gw.exe >NUL
```

```
@c:¥ds-xg¥setupds.exe /s >NUL
```

```
@del dos4gw.exe >NUL
```

追加には、メモ帳、ワードパッド等のエディタを使用してください。
エディタの使用方法については、エディタのヘルプを参照してください。



Windows NT 4.0を利用する

本機で別売のWindows NT Workstation 4.0やWindows NT Server 4.0 (以下、Windows NT 4.0)を利用する場合のセットアップ手順およびアップデート手順について説明します。

ここでの説明では次のようなドライブ構成を想定しています。異なるドライブ構成で利用する場合は、ドライブ番号を読み替えてください。

Cドライブ : Windows 98がインストールされているドライブ

およびWindows NT 4.0をインストールするドライブ

Aドライブ : フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ

Qドライブ : CD-ROMドライブ

Windows NT 4.0をセットアップする前に

再セットアップする前の注意

- ・ データをバックアップしてください。
ご自分で作成されたデータは再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップを始める前に、必ずバックアップをとってください。
- ・ 別売の周辺機器を取り外してください。
『はじめにお読みください』をご覧の上、本機に添付されていた機器のみを接続した状態で再セットアップを行ってください。再セットアップ後、別売の周辺機器の接続を行ってください。
- ・ 再セットアップは途中でやめないでください。
再セットアップを始めたら、本書の手順通りに、最後まで行ってください。途中でやめた場合は、最初から再セットアップを行ってください。
- ・ 別売のアプリケーションも再セットアップ完了後にインストールを行ってください。
別売のアプリケーションも再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップがすべて完了してから、インストールを行ってください。
- ・ 再セットアップを始める前に後述の「本機でWindows NT 4.0を利用するときの注意」もご覧ください。

次の手順で、本機にWindows NT 4.0をセットアップし、アップデートを行います。

準備

セットアップを開始する前に、次のものを準備してください。

- ・ アプリケーションCD-ROM
- ・ フロッピーディスク
 - ・ 1.44Mバイトでフォーマットしてください。
 - ・ フォーマット時にシステムの転送は行わないでください。
MA45D/M、MA35D/M、MA40D/S、MA35D/S、MA33H/S、MA30H/S
の場合 → 7枚
MA40D/C、MA35D/C、MA30H/C、MA30H/Lの場合 → 8枚
- ・ 次の内容を書いたラベルを貼っておいてください。
 - MA45D/M、MA35D/M、MA40D/S、MA35D/S、MA33H/S、
MA30H/Sの場合
「Windows NT4.0アップデートディスク1～5」
「システム修復ディスク」
「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」
MA40D/C、MA35D/C、MA30H/C、MA30H/Lの場合
「Windows NT4.0アップデートディスク1～6」
「システム修復ディスク」
「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」
- ・ 「Service Pack 3」をダウンロードする
再セットアップの途中で「Service Pack 3」をインストールする手順
がありますので、以下のアドレスからダウンロードしてください。
[http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/
NT4SP3/default.htm](http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/NT4SP3/default.htm)

手順

必ず、ここに書いてある手順通りにセットアップ、アップデートを行ってください。

- ・「Windows NT 4.0アップデートディスク」、「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」の作成
- ・ システム設定の変更
- ・ Windows NT 4.0のセットアップ
- ・ USB接続のキーボードドライバのセットアップ
- ・ 液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ
- ・ Service Pack3のインストール
- ・ ドライバのアップデート

 **チェック!** ドライバのアップデート、セットアップ、コピーを行う場合はAdministrator権限を持ったユーザが行ってください。

- ・ 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ
- ・ サウンドドライバとモデムドライバのコピー
- ・ 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
- ・ 内蔵FAXモデムボードのセットアップ
- ・ スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ

 **チェック!** スーパーディスクドライブを使用してWindows NT 4.0をセットアップする場合は、「Windows NT Workstation Setup Disk1」から本機を起動することができません。
次の手順に従ってCD-ROMブートを行い、「Windows NT CD-ROM Disc1」で本機を起動してください。

本機の電源を入れる

「NEC」ロゴの画面で <F2> キーを押すと、セットアップを起動します。」と表示されたら、【F2】を押して、「BIOSセットアップメニュー」を起動させる

「メイン」メニューを選択し、「フロッピーディスクA:」を「使用しない」にする

「起動」メニューを選択し、【+】または【-】を押して「1.」を「ATAPI CD-ROMドライブ」にする

【Esc】を押して「変更を保存して終了する」を選択する

これでCD-ROMブートが行われますので、あらかじめ「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットしておいてください。

スーパーディスク搭載モデルの場合は、フロッピーディスクドライブをスーパーディスクドライブと読み替えてください。

Windows NT 4.0のセットアップとアップデート

「Windows NT 4.0アップデートディスク」・「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」の作成

次の手順で、「Windows NT 4.0アップデートディスク」・「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」を作成します。

- 1 内蔵ハードディスクからWindows 98を起動する
- 2 MS-DOSプロンプトを起動する
(「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」)
- 3 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブに、
「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする
あらかじめ用意しておいたフロッピーディスクのうち、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」というラベルを貼ったものです。
- 4 フロッピーディスクにファイルをコピーする
コマンドプロンプトから次のように入力します。

✓**チェック!** CDNTUPのあとのフロッピーディスクドライブ名にコロン「:」をつけないでください。

Q:【Enter】

CD¥NT40【Enter】

MA45D / M、MA35D / M、MA40D / S、MA35D / S、MA33H / S、
MA30H / Sの場合

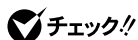
CDNTUP01 A【Enter】

MA40D / C、MA35D / Cの場合

CDNTUP02 A【Enter】

MA30H/C、MA30H/Lの場合
CDNTUP03 A【Enter】

あとは画面の指示に従って「Windows NT 4.0 アップデートディスク」、「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」の作成を行ってください。



チェック!

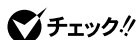
最初の手順で作成する「Windows NT 4.0 アップデートディスク1」のルートディレクトリにある「README.TXT」には、マニュアルに記載されていない補足事項が書かれています。セットアップを行う前に必ずお読みください。

次に「システム設定の変更」へ進んでください。

システム設定の変更

BIOS セットアップメニューで、次のようにシステム設定を変更してください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの画面で「<F2>」キーを押すと、セットアップを起動します。」と表示されたら、【F2】を押して、「BIOS セットアップメニュー」を起動させる
- 3 「詳細」メニューで、次のように設定する

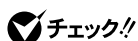


チェック!

MA40D/C、MA35D/C、MA30H/C、MA30H/L の場合のみ表示されます。

- ・ プラグ & プレイ OS : いいえ
- ・ 周辺機器設定
 - シリアルポート A : 使用する
 - シリアルポート B : 使用する
 - パラレルポート : 使用する

- 4 「省電力管理」メニューで次のように設定する
入力装置によるレジューム : オフ



チェック!

PS/2 109 キーボードをお使いの場合は「メイン」メニューで次のように設定してください。

- ・ キーボード機能
 - USB レガシー機能 : 使用しない

- 5 「変更を保存して終了する」でBIOSセットアップメニューを終了
自動的に再起動します。
次に「Windows NT4.0のセットアップ」へ進んでください。

Windows NT 4.0のセットアップ

次の手順でセットアップを行ってください。設定の詳しい内容については、Windows NT 4.0添付の『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』をご覧ください。

- 1 「Windows NT 4.0 Setup Disk 1」をフロッピーディスクドライブにセットして本機の電源を入れる(スーパーディスク搭載モデルの場合は不要)
- 2 画面の指示に従ってセットアップを行う
- 3 セットアップの途中で、「キーボードの種類の選択」の画面が表示されたら、106日本語キーボードを選択する(【半角/全角/漢字】を押す)



チェック!!

ここでは接続しているキーボードの種類にかかわらず、「106日本語キーボード」を選択してください。

「コンピュータには次のハードウェアとソフトウェアがあります。」と表示されます。

- 4 「上記の一覧は使用中のコンピュータと一致します。」を選択し【Enter】を押す
キーボードドライバの変更はグラフィックセットアップの完了後に行います。
- 5 ファイルのコピー終了後、画面の指示に従いドライブよりフロッピーディスク、CD-ROMを取り出して、コンピュータを再起動
これで、Windows NT 4.0のテキストセットアップは終了しました。続いてグラフィックセットアップを行います。グラフィックセットアップでは、内蔵LANを組み込む手順を説明します。

6 再起動するとCD-ROMの挿入要求のメッセージが表示されるので、「Windows NT CD-ROM Disc 1」をCD-ROMドライブにセットして「OK」ボタンをクリック

7 グラフィックセットアップでは、次の設定を行う
これら設定の詳しい内容については、Windows NT 4.0[®] Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』をご覧ください。

 **チェック!** WorkstationとServerでは、設定が異なります。

- ・ セットアップ方法の選択
- ・ 個人情報の入力
- ・ サーバーの種類の選択 (Serverのみ)
- ・ 管理者アカウントのパスワードの設定
- ・ システム修復ディスク作成の選択
- ・ インストールするファイルの選択

8 次にネットワークのインストールを行う。ネットワークに参加させる方法を、「ネットワークに参加する」→「ネットワークに接続」を選択して「次へ」ボタンをクリック

<「まだネットワークに参加しない(D)」を選択した場合>

後は画面の指示に従ってセットアップを行ってください。
Windows NTのセットアップ終了後にネットワークをインストールする場合は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、手順10～15を行ってください。

 **チェック!** ネットワークのインストール後、再起動しないですぐにServicePack3をインストールしてください。

9 Serverの場合はInternet Information Serverをインストールするかどうかを選択し、「次へ」ボタンをクリック

10 ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選択」をクリック

11 ネットワークアダプタの選択画面で、「ディスク使用」ボタンをクリック

12 フロッピーディスクの挿入画面が表示されるので、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットして、次のように入力して、「OK」ボタンをクリック
A:¥E100B

13 OEMオプションの選択画面が表示されるので、リストから「NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter」を選択し、「OK」ボタンをクリック

14 ネットワークアダプタの検索画面に、「NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter」が表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリック

✓**チェック!** 途中で、「PCIコンフィグレーション情報」または、「PCI Configuration Notification」のほか、確認の画面が表示された場合は、内容を確認し「OK」ボタンをクリックしてください。

15 次のネットワークアダプタのセットアップを行う
・ ネットワークプロトコルの選択

✓**チェック!** TCP/IPプロトコルを使用する場合は、ここでTCP/IPプロトコルを組み込んでください。後からTCP/IPプロトコルを組み込む場合は、一度ネットワークの設定をすべて削除してからネットワークの設定をやり直してください。

- ・ ネットワークサービスの選択
- ・ ネットワークの設定の確認
- ・ ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・ NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapterの設定

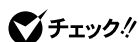
✓**チェック!** ここでは設定を変更せずに必ず「OK」ボタンをクリックしてください。設定の変更が必要な場合はWindows NTセットアップ終了後、「コントロールパネル」の「Intel PROset」から変更してください。

- ・ ネットワークバインドの調整
- ・ ワークグループまたはドメインの参加

✓**チェック!** ネットワークに必要なファイルの読み込みが要求された場合は、「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットし、キーボードから CD-ROMドライブ名 :¥386と入力して「続行」ボタンをクリックしてください。

これで、グラフィックセットアップの手順で内蔵LANの組み込みが終了しました。後は画面の指示に従ってセットアップを行ってください。

セットアップが完了したら、次の「USB接続のキーボードドライバのセットアップ」に進んでください。



チェック!

スーパーディスクドライブ搭載モデルのお使いの場合は、ここでBIOSセットアップメニューの「起動」の設定を次のようにしてください。

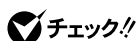
- 1** 取り外し可能デバイス
- 2** ハードディスク
- 3** ネットワークブート
- 4** ATAPI CD-ROMドライブ
- 5** LANDesk® Service

USB接続のキーボードドライバのセットアップ

USB109キーボード、USB小型キーボード、USB98配列キーボードモデルをお使いの方のためにUSBキーボードドライバが「Windows NT 4.0アップデートディスク1」に保存されています。ここではUSB接続のキーボードドライバのセットアップの手順について説明します。

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2** 「キーボード」をダブルクリック
- 3** 「全般」タブをクリック
- 4** 「変更」ボタンをクリック
- 5** 「ディスク使用」ボタンをクリック
- 6** ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするように指示されたら、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットし、「OK」ボタンをクリック

7 「デバイスの選択」の画面で「USB109日本語キーボード(JIS配列)」を選択し、「OK」ボタンをクリック



チェック!

USB98配列キーボードの場合は、「USB PC-9800 配列キーボード」を選択してください。

8 「閉じる」ボタンをクリック

9 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、「はい」ボタンをクリック

次に液晶ディスプレイをお使いの場合は「液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ」(P.140)に進んでください。CRTディスプレイをお使いの場合は「Service Pack3のインストール」(P.140)に進んでください。

液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ

液晶ディスプレイをご利用になっている場合は、液晶ディスプレイ調整ツールを利用するため次の手順でセットアップします。

1 「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

3 「ファイル名を指定して続行」の画面で次のように入力して、「OK」ボタンをクリック

A:¥SETUP

インストールの画面が表示されます。

4 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック

5 「ファイルコピーの開始」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック

セットアップが始まります。

6 インストール画面が終了したらフロッピーディスクを取り出す

以上で液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップは完了です。



チェック!!

- ・液晶ディスプレイ調整ツールを起動するには「スタート」ボタン→「プログラム」→「液晶ディスプレイ調整ツール」をクリックしてください。
- ・液晶ディスプレイの画面調整については、添付の『ユーザーズマニュアル』をご覧ください。

次に「Service Pack 3のインストール」に進んでください。

Service Pack 3のインストール

Microsoft Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 3 (以下 Service Pack 3)」をインストールします。

1 Service Pack 3の「README.TXT」を読む

2 Service Pack 3のインストールを行う



チェック!!

ファイルのコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。

次に「ドライバのアップデート」に進んでください。

ドライバのアップデート

本機の機能を有効に使うために、次の手順でWindows NT 4.0のドライバをアップデートします。

1 コマンドプロンプトを起動する

(「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」)

2 「Windows NT 4.0 アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする

3 アップデートを実行する

コマンドプロンプトから次のように入力します。

A:【Enter】

CD ¥【Enter】

UPDATE【Enter】

- 4 次の画面が表示されたら、内容をよく読んで「OK」をクリック
ファイルのコピーが開始されます。



- 5 次の画面が表示されたら、「Windows NTに戻る」ボタンをクリック



- 6 フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り
出し、Windows NT 4.0 を再起動する

以上でドライバのアップデートは完了です。

次に「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」に進んでください。

内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

本機内蔵アクセラレータを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「画面」をダブルクリック
- 3 「ディスプレイの設定」タブをクリック
- 4 「ディスプレイの種類」をクリック
- 5 「変更」をクリック

- 6 「ディスク使用」をクリック
ドライブの入ったフロッピーディスクをセットするよう指示されます。
- 7 フロッピーディスクドライブに「Windows NT4.0アップデートディスク2」をセットする
- 8 「フロッピーディスクからインストール」の画面で次のように入力して、「OK」をクリック
MA45D/M、MA35D/M、MA40D/S、MA35D/S、MA33H/S、
MA30H/S、MA40D/C、MA35D/Cの場合
A:¥RIVA128
MA30H/C、MA30H/Lの場合
A:¥RAGE2
- 9 「ディスプレイ」のリストから次のものを選択し、「OK」ボタンをクリック
MA45D/M、MA35D/M、MA40D/S、MA35D/S、MA33H/S、
MA30H/S、MA40D/C、MA35D/Cの場合
「NVidia Riva 128」
MA30H/C、MA30H/Lの場合
「ATI 3D RAGE IIC AGP」
- 10 ドライバを組み込み確認のメッセージが表示されるので「はい」をクリック
- 11 ドライバ組み込み結果が表示されるので「OK」をクリック
- 12 「閉じる」をクリック
- 13 「閉じる」をクリック
- 14 再起動を促すメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、「はい」をクリック
自動的にWindows NT 4.0が再起動されます。

以上で内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップは完了です。
次に「サウンドドライバとモデムドライバのコピー」(P.143)に進んでください。

サウンドドライバとモデムドライバのコピー

サウンドドライバとモデムドライバをWindows NT 4.0アップデートディスクからハードディスクにコピーします。

- 1 「スタート」ボタン→[プログラム]→[コマンドプロンプト]で次のように入力する
C:【Enter】
CD NT40【Enter】
DRVCOPY【Enter】
- 2 画面の指示に従って操作する
ドライバがハードディスクにコピーされます。

次に「内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ」に進んでください。

内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

本体内蔵サウンドボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「マルチメディア」をダブルクリック
- 3 「デバイス」タブをクリック
- 4 「追加」をクリック
- 5 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
- 6 ドライバのインストール画面になるので、Windows NTをインストールしたドライブのNT40¥YMF740(C:¥NT40¥YMF740)を指定して「OK」ボタンをクリック
- 7 ドライバの一覧から「YAMAHA DS-XG Audio Driver (Japanese)」を選択し、「OK」ボタンをクリック

8 パラメータの設定画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリック

9 再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動する」ボタンをクリック
自動的にWindows NTが再起動されます。

以上でサウンドドライバのセットアップは完了です。

次にFAXモデムが内蔵されたモデルの場合は「内蔵FAXモデムボードのセットアップ」に進んでください。

LANボードが内蔵されたモデルでスーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は「スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ(スーパーディスクドライブ搭載モデルのみ)」(P.146)に進んでください。

それ以外のモデル(LANボード内蔵・フロッピーディスクドライブ搭載)をお使いの場合は、これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

内蔵FAXモデムボードのセットアップ

本体内蔵FAXモデムボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「シリアルポート」をダブルクリック

2 「追加」ボタンをクリック

3 「新しいポートの詳細設定」の画面で各設定を選択する



チェック!

「COMポートの番号」は必ず「3」を選択してください。「I/Oポートアドレス」「割り込み番号(IRQ)」はほかのデバイスと競合しない値を選択してください。

4 「OK」ボタンをクリック

5 「システム設定の変更」の画面で「再起動しない」をクリック

- 6 「閉じる」ボタンをクリック
- 7 「コントロールパネル」の「モデム」をダブルクリック
- 8 「新しいモデムのインストール」の画面で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「ディスク使用」をクリック
- 10 「Windows NT 4.0アップデートディスク3」をフロッピーディスクドライブにセット
- 11 「フロッピーディスクからインストール」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリック
A:¥MODEM
- 12 「NEC Fax Modem 56K Data + Fax(BUQ)」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 13 どのポートにインストールするかを訊いてくるので、「選択したポート」をチェック
- 14 「COM3」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 15 「所在地情報」を設定して、「次へ」ボタンをクリック
- 16 以後は画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了

以上で内蔵FAXモデムボードのセットアップは完了しました。
スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は「スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ(スーパーディスクドライブ搭載モデルのみ)」(P.146)に進んでください。
フロッピーディスクドライブが搭載されたモデルをお使いの場合は、これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマット
ユーティリティのセットアップ
(スーパーディスクドライブ搭載モデルのみ)

 **チェック!** スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いで、1.2MB/1.23MBフォーマットのフロッピーディスクを使用する場合は、スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティをセットアップする必要があります。

720KB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)しか使用しない場合は、このセットアップは必要ありません。

■ スーパーディスク3モード対応ドライバのセットアップ

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「SCSIアダプタ」をダブルクリック
- 2 「ドライバ」タブをクリック
- 3 「追加」ボタンをクリック
- 4 「ドライバのインストール」の画面で、「ディスク使用」ボタンをクリック
- 5 スーパーディスクドライブに「Windows NT 4.0アップデートディスク6」をセットする
- 6 「フロッピーディスクからインストール」の画面で、「配布ファイルのコピー元」にA:を指定して、「OK」ボタンをクリック
- 7 「SCSIアダプタ」の一覧に「Panasonic SuperDisk」があることを確認して、「OK」ボタンをクリック
- 8 「Windows NT セットアップ」の画面で、A:と指定して「続行」ボタンをクリック
- 9 「今すぐコンピュータを再起動しますか?」というメッセージが表示されたら、フロッピーディスクを取り出して、「はい」ボタンをクリック

以上でスーパーディスク3モード対応ドライバのセットアップが終了しました。

次に「専用フォーマットユーティリティのセットアップ」に進んでください。

■ 専用フォーマットユーティリティのセットアップ

- 1** スーパーディスクドライブに「Windows NT 4.0アップデートディスク6」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 3** 「名前」にA:¥MKELS120¥SETUP.EXEと指定して「OK」ボタンをクリック
- 4** 後は、メッセージに従ってセットアップを行う

これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

本機でWindows NT 4.0を利用するときの注意

- ・ 本機に添付されているWindows NT 4.0のドライバは、本機専用です。他機種では使用しないでください。
- ・ 新しいコンポーネント(ドライバ等)を追加または変更した場合は、再度Service Pack3をインストールしてください。
- ・ Windows NT 4.0は、NEC製のキーボードおよび 液晶ディスプレイ(F14T3、F14S1、F15T1、F15S1、F18S1)のハブを利用できます。
- ・ Windows NT 4.0実行中にキーボードの抜き差しはしないでください。
- ・ サスペンド/レジュームで問題が発生する場合は、サスペンド/レジューム機能を次のように設定してください。
『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定の「省電力の設定」で次のように設定します。
「パワーマネージメント」：使用する
「設定方法」：ユーザ設定
「HDDモータ制御」：使用しない
「スリープボタン」：使用しない
- ・ Windows NT 4.0を利用する場合、Windows 98にインストールまたは添付されていたアプリケーションはご利用できません。



チェック!

別売の100 BASE-TXインターフェースボード(以後、オプション)PK-UG-X006を追加、ご使用される場合についてのご注意

オプションPK-UG-X006ボードのマニュアルには、本体内蔵用のドライバを一旦削除した後、オプションボード添付のドライバディスクを使用するように指示されていますが、本機にオプションPK-UG-X006を追加する場合は下記の通りドライバをインストールしてください。

その際、セットアップ済みの内蔵用LANドライバを削除する必要もありません。フロッピーディスクドライブに「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をセットします。「ディスク使用」ボタンをクリックし、次のように入力して「OK」ボタンをクリックします。

A:¥E100B

- ・ LAN上のサーバーを一括管理するための機能を提供する、「ESMPRO/ServerAgent Ver3.1(Windows NT版)」があります。本機にて「ESMPRO/ServerAgent Ver3.1(Windows NT版)」をお使いいただくには本機に対応するためのモジュールが必要になります。本機に対応するモジュールは次のインターネット情報サービスからダウンロードしてください。
- ・ パソコンインフォメーションセンターROBO

<http://www.nec.co.jp/picrobo>

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティについて

専用フォーマットユーティリティの起動方法

1 フォーマットを行うディスクをセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDisk フォーマットユーティリティ」→「SuperDisk用フォーマットユーティリティ」をクリック



チェック!!

- ・スーパーディスクフォーマットユーティリティは、起動時に挿入されている媒体を判別してフォーマット可能な容量を表示します。このためフォーマットを行う媒体は、ユーティリティ起動前にスーパーディスクに挿入してください。
- ・ユーティリティ起動後に媒体を入れ替えた場合は、ユーティリティをいったん終了して再起動してください。

注意事項

- ・スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティをセットアップした場合には、720KB/1.2MB/1.23MB/1.44MBのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)のフォーマットはすべて専用フォーマットユーティリティで行ってください。Windows NTエクスプローラや、コマンドプロンプトからのformatコマンドでのフォーマットはできません。
スーパーディスク3モード対応ドライバをセットアップしていない場合には、720KB/1.44MBのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)のフォーマットは、Windows NTのコマンドプロンプトからのformatコマンドで行うことができます。
- ・スーパーディスクフォーマットユーティリティで1.2MB/1.23MBへのフォーマットを行う場合、以下の項目を選択してください。
 - ・ 1.2MB→「3.5インチ、1.2MB、512バイト/セクタ(TOSHIBA)」
 - ・ 1.23MB→「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」
- ・一度もフォーマットされていない媒体や、フォーマットが破壊されていて正常にアクセスできない媒体を、スーパーディスクフォーマットユーティリティでフォーマットした場合、イベントビューアにエラーが記録されることがありますが、この媒体の使用には問題ありません。

- ・ スーパーディスク3モード対応ドライバがインストールされている場合、1.2MB/1.23MBのフロッピーディスクに対してコマンドプロンプトからchkdskコマンドは実行できません。誤って実行した場合、アクセスエラーの表示となることがありますがこれはフォーマットされていないことを示すものではありません。
容量等をお知りになりたい場合は、別のツール(エクスプローラなど)で参照してください。

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのアンインストール方法

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティは、以下の手順でアンインストールすることができます。

■ スーパーディスク3モード対応ドライバのアンインストール

- 1 Administrator権限のあるユーザでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「SCSIアダプタ」をダブルクリック
- 4 「ドライバ」タブをクリック
- 5 「Panasonic SuperDisk」をクリック
- 6 「削除」ボタンをクリック
- 7 「はい」ボタンをクリック
- 8 「OK」ボタンをクリック
- 9 「コントロールパネル」の中にある「デバイス」をダブルクリック
- 10 デバイスの一覧の中から「mkefpd」をクリック
- 11 「スタートアップ」ボタンをクリック

12 スタートアップの種類で「システム」が選択されているので、「無効」をクリック

13 「OK」ボタンをクリック

14 「mkefpdデバイスのスタートアップの種類を変更すると、システムは使用不能になる可能性があります。変更してもよろしいですか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

15 「閉じる」ボタンをクリック

16 本機を再起動する

■ 専用フォーマットユーティリティのアンインストール

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDisk フォーマットユーティリティ」→「Uninstall」をクリック

2 画面の指示に従ってアンインストールを続行する

3 本機を再起動する

トラブル解決 Q & A

パソコンを使っていて、なにかトラブルが起きたときは、ここを読んでください。

「トラブルを解決するには」を読んで、どうしてそうなったかを考え、あてはまる項目を探してください。

なにか疑問があるときも、ここを読んでください。

この章の内容

トラブルが起きたとき	154
トラブルを解決するには(ヒント)	155
お問い合わせの前に	
(トラブルチェックシート).....	158
はじめて電源を入れたら	160
電源を入れたが	162
電源を切ろうとしたが	170
スタンバイ機能を使おうとしたら	172
パソコンがこわれそう	174
画面がおかしい	176
画面の設定を変えようとしたら	177
ファイル、フォルダがおかしい	181
音がおかしい	184
マウスを動かしても	185
文字を入力しようとしたら	187
ファイルを保存しようとしたら	190

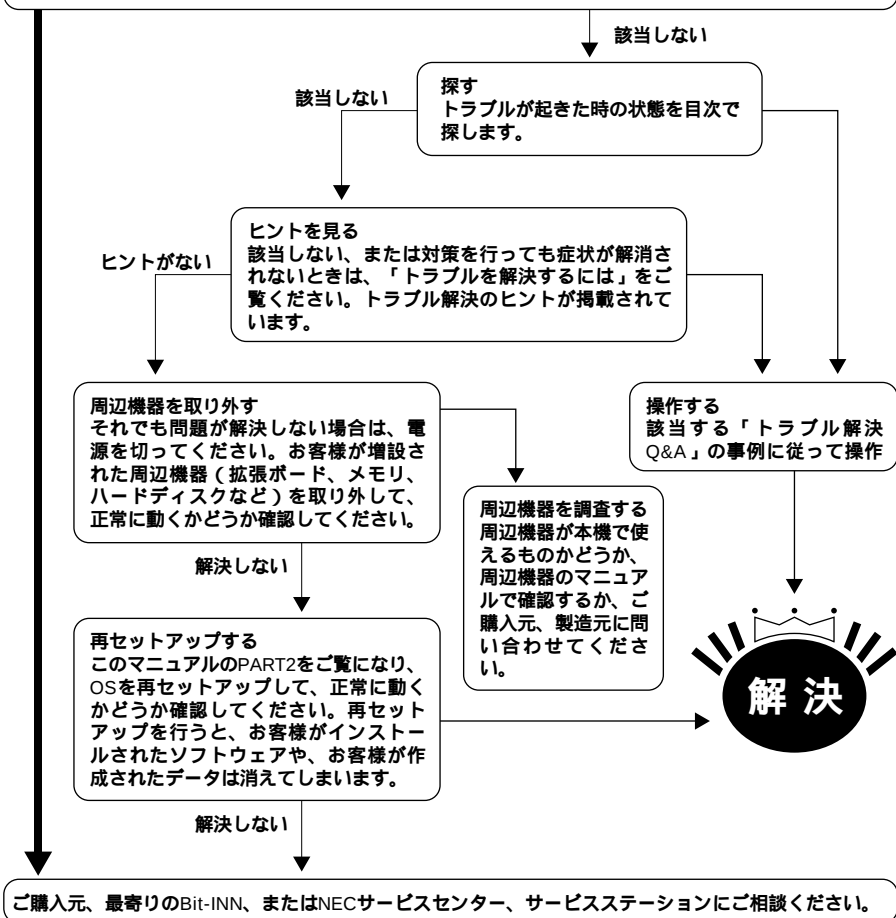
LAN(ローカルエリアネットワーク)に	
接続しようとしたら	192
FAXモデムを使おうとしたら	194
印刷しようとしたら	195
フロッピーディスクを使っていたら	197
ハードディスクを使っていたら	200
CD-ROMを使っていたら	204
周辺機器を取り付けようとしたら	210
メモリが足りない、増やしたい	213
アプリケーションを使っていたら	214
タイマ機能を使おうとしたら	221
日付の設定を変えようとしたら	222
コンピュータウイルス対策について	223
その他	226
トラブルを予防するには	228
アフターケアについて	230

トラブルが起きたとき

このマニュアルには多くのトラブル解消法が掲載されています。トラブルが起きたら、まずこのマニュアルを手がかりに次の手順で解決法を見つけてください。

トラブルが起きたら、このマニュアルをご覧ください

煙や異臭、異常音がでた場合、すぐに電源を切って電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。それ以外のトラブルの場合は下へ進んでください。



トラブルを解決するには(ヒント)

パソコンは、さまざまなアプリケーションや周辺機器を組み合わせで使うので、予期しないトラブルが発生することがあります。

トラブルをうまく解決するためには、いくつかのポイントがあります。

● 落ちついて対処する

あわてて、電源を切ったり、マウスで何度もクリックしたりしないでください。

パソコンが反応していない(フリーズした)ように見えても、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのこともあります。その場合は処理が終わるまでしばらく待ってください。

◆ 用語 フリーズ(ハングアップ)

どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなること。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起こることがあります。ウィンドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。ハングアップともいいます。

● メッセージが表示されているときは書きとめる

番号や英語など、意味がわからないものも解決の糸口になることがあるので、紙に書きとめてください。

● 原因が何か考える

原因になったのが、パソコン本体なのか、周辺機器なのか、アプリケーションなのか、もっとほかのものなのか考えてください。原因を特定できないことも多いのですが、原因がわかると対処しやすくなります。周辺機器に原因があるときは、ひとつずつ取りはずして、トラブルが起きた操作をやり直すと、どれに関連したトラブルなのかがわかります。

● Safeモードで起動する

うまく起動しない場合には、Safeモードで本機を起動して、状態を調べたり、設定を変更したりします。

「Safeモードで起動して問題を解決する(P.90)」をご覧ください。

● システム情報を利用する

システム情報は、本機の構成情報や関連情報等を収集し、表示します。トラブルを解決する際に、システム情報を使うと、システムの問題を解決するために必要なデータをすばやく探すことができます。

システムファイルチェッカー

.....Windows 98のファイルの整合性を確認したり、これらのファイルが破損している場合に復元したり、インストールディスクからドライバなどの圧縮ファイルを抽出したりすることができます。

スキャンディスク

.....ハードディスクの軽い障害であれば、スキャンディスクを使って修復することができます。

起動方法は次の通りです。

- ・ システム情報の起動方法
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリック
- ・ システムファイルチェッカーの起動方法
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリック
「ツール」メニューの「システムファイルチェッカー」をクリック
- ・ スキャンディスクの起動方法
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリック
「ツール」メニューの「スキャンディスク」をクリック
- Windows 98のヘルプを使う
『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ヘルプの表示方法」をご覧ください。
- 「トラブル解決 Q&A」の中から、あてはまるトラブルを探す
あなたのトラブルにあてはまる項目があったら、そのページをお読みください。
- ほかのマニュアルやヘルプ、READMEファイルを見る
あなたのトラブルに関連する記述がないか探してください。アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのアプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。
また、アプリケーションには、READMEファイルがついていることが多く、そこには、マニュアルやヘルプに掲載していない重要な情報が載っていることがあります。ワードパッドなどのワープロで開いて、お読みください。

本機には「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」に本製品のご利用にあたっての補足説明があります。

またC:\WINDOWSには「GENERAL.TXT」(「Windows 98 README:一般情報」)があります。

- NECのホームページ「98Information」を見る
アドレスは、<http://www.nec.co.jp/98/> です。
 - 「トラブルチェックシート」に記入する
どんなトラブルかを、「トラブルチェックシート」に記入してください。
お問い合わせの時に役立ちます。
 - 問い合わせる
NECの問い合わせ先は『メンテナンス&サポートのご案内』NEC PC
あんしんサポートガイド』をご覧ください。
本機と別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するト
ラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。
本機に添付されていたものでも、アプリケーションの問題は、そのアプ
リケーションの問い合わせ先からのほうが適切な回答を得られます。
- <本機に添付されているアプリケーションの問い合わせ先>
- ・ 本機添付の『ソフトウェア使用条件適用一覧』の「添付ソフトウェアサ
ポート窓口一覧」に従い、各社へお問い合わせください。
 - ・ そのほかのアプリケーションについては、『メンテナンス&サポートの
ご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの構成やトラブルの具体的な状況をお知らせいただく必要があります。

あらかじめ、このシートの各項目にご記入いただくと、お問い合わせの際により的確で迅速な対応を受ける助けになります。ぜひ、ご利用ください。

トラブルチェックシート 1 あなたのパソコンの構成

■ ハードウェア

本体	
型番 (保証書に記載されています)	
製造番号 (保証書番号)	
メモリの容量	_____ MB(メガバイト)
ハードディスクの容量	_____ GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	_____ MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには、マイコンピュータのハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。	
周辺機器	品名・型名 (メーカー名)
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
ネットワークボード	
その他の周辺機器	

■ ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー	
☐ Windows 98	☐ Windows NT (バージョン)
☐ Windows 95	
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション	

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

● どのようなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

● 画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

● そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するときに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動する
ときに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

● その他に気づいたことがあれば書いてください。

はじめて電源を入れたら...

買ってきて、はじめてパソコンを使うときは、まず、設定などの作業が必要です。

参照 『はじめにお読みください』



セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

電源スイッチを押して電源を入れてください。

スキャンディスクが行われた場合はシステムに異常がないかの検証が始まります。

スキャンディスクで異常が発見されなかった場合は、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

何か異常が発見された場合は、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、再セットアップが必要になります。本書の「PART2 再セットアップをするには」をご覧ください。再セットアップをしてください。

参照 再セットアップ → 「PART2 再セットアップするには」(P.89)



セットアップの途中で電源スイッチを押してしまったら、「Windowsを終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示された

「キャンセル」ボタンをクリックしてください。元の画面に戻りますので、そのままセットアップを続けてください。



「Invalid system disk Replace the disk....」と表示される

フロッピーディスクがセットされていないか確認してください。セットされていたら、フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直し、再起動してください。



ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windows 98のセットアップでは、正常に処理が行われていても、数分～十数分間、画面が止まったようになることがあります。電源は切らないでください。

Windows 98のセットアップ中ではないのにパソコンが反応していないとき(ハードディスクアクセスランプが点滅しないなど)は、電源を切って、5秒以上待ってから、もう一度電源を入れます。「セットアップの途中で誤って電源を切ってしまった」と同じ手順で問題を解決してください。



セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい

セットアップ時に「ユーザー情報」で登録した名前や会社名は、セットアップが完了すると変更できません。

どうしても変更したいときは、「PART2 再セットアップするには」にしたがって、再セットアップを行ってください。再セットアップの「ユーザー情報」の画面で名前や会社名を入力します。



電源を入れたが...

電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。



電源が入らない / ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイのマニュアルにしたがって、電源を入れてください。

それでも、点灯しないときは、『はじめにお読みください』をご覧ください、ディスプレイの電源ケーブルを接続しなおしてください。

もう一度、ディスプレイの電源を入れても、ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス＆サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』

パソコン本体の電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイのRGBケーブルが本体に正しく接続されていますか？

パソコン本体の電源ランプが点灯していないときは、『はじめにお読みください』にしたがって、電源ケーブルを接続しなおしてください。

電源ケーブルを接続しなおして、電源を入れても本体電源ランプが点灯していないときは、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス＆サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』

ディスプレイの輝度(明るさ)、コントラストが、小さくなっていますか？

ディスプレイのマニュアルを見て、画面の輝度とコントラストを上げてください。

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、パソコン本体やディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。



参照 NECのお問い合わせ先

→『メンテナンス & サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』



「ピーッ」という音がしない

画面になにか表示されていますか？

画面になにも表示されていないときは、「電源が入らない/ディスプレイに何も表示されない」(P.162)をご覧ください。

スピーカのボリュームが小さくなっていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「サウンド機能」をご覧ください。スピーカのボリュームを調節してください。



キーボードエラーが表示される

キーボードと本体の接続を確認する

液晶ディスプレイにキーボードを接続している場合は、キーボードと液晶ディスプレイの接続、液晶ディスプレイと本体を接続しているUSBケーブルの接続を確認してください。



参照 接続の確認→『はじめにお読みください』

電源の投入順序を確認する



参照 電源の投入順序→『はじめにお読みください』『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部「電源」



CRTディスプレイの画面の色が部分的におかしい

テレビや、ステレオのスピーカーなど、CRTディスプレイのそばに強力な磁気を発生する電気製品がありませんか？

強力な磁気を発生する電気製品があるときは、その電気製品の電源を切るか、CRTディスプレイから遠ざけてください。

CRTディスプレイの消磁は行ってみましたか？

CRTディスプレイのマニュアルを見て、画面を消磁してください。



強力な磁気を発生する電気製品などによって、画面自身が磁気を帯びてしまうことがあります。その電気製品の電源を切ったり、ディスプレイから遠ざけても、画面の色がおかしいときは、消磁(デガウス)を行ってください。



電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる

次の操作を試みてください。

マウスを動かすか、キーボードのキーを何が【Shift】などを押す

画面になにも表示されない場合は、スリープボタンを押す

画面になにも表示されない場合は、電源スイッチを押す

電源を入れてしばらくすると画面がまっくらになる場合、次の原因が考えられます。

- ・ Timer-NXによるスタンバイ状態

Timer-NXのタイマプログラムやオフタイマ機能を利用すると時間を指定して、スタンバイ状態にすることができます(→「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「Timer-NX」)。上記の手順でスタンバイ状態から復帰します。

- ・ ディスプレイの省電力機能が働いた

ディスプレイセットモデルに添付されているディスプレイは省電力機能に対応しているので、「コントロールパネル」→「電源の管理」→「電源設定」で省電力の設定をすると、設定した時間になると、ディスプレイを省電力モードにしたり、ディスプレイの電源を切ったりすることができます。(工場出荷時の状態では15分に設定されています)上記の手順で表示されるようになります。

- ・ Timer-NXによって本体の電源が切れた

Timer-NXのタイマプログラムまたはオフタイマー機能を利用すると、時間を指定して本体の電源を切ることができます。上記の手順で電源が入ります。

上記の設定を変更することにより、画面を真っ暗にする時間を変更したり、画面を真っ暗にしないようにすることができます。



Windows 98が起動しない

ハードディスクのファイルにデータエラーがないか、スキャンディスクでチェックしてください。

参照 Windows 98が起動できなかった場合→『活用ガイド ハードウェア編』
「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」

システムの設定が正しくない可能性があります。
次の手順でシステムの設定を工場出荷時の状態に戻して再起動してください。

別売の拡張ボードを取付けている場合は、そのボードを取り外す

参照 ボードの取り外し方→『ハードウェア拡張ガイド』

工場出荷時の状態に戻す

参照 工場出荷時の状態に戻す→『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定」

メモ

- ・ BIOSセットアップメニューで設定したパスワードは初期値には戻りません。
- ・ どうしてもWindows 98が起動しないなど、再セットアップする必要がある場合は、「PART2 再セットアップするには」をご覧ください。



「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示され、「3. Safe mode」を選択するような画面が表示された

「3. Safe mode」を選択するような画面「Enter a choice:」のところに「3」が表示されている状態が表示された場合は以下の手順でSafe modeを起動させてください。

「3.Safe mode」になっていることを確認して【Enter】を押す

「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【全角/半角/漢字】を押す

「WindowsはSafeモードで実行されています」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

Safeモードが起動します。

画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。Windows 98 Startup Menuは起動時にネットワークやハードウェアの設定に問題があり、正常に起動できなかったときに表示されます。起動時にネットワークやハードウェアの設定に問題があり、Safe modeを選択するような画面が表示された場合は、無理に「1. Normal」を選択しないで、Safe モードで一度起動してください。コントロールパネルで設定を確認してから、「スタート」→「Windowsの終了」で「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックして再起動すると、問題がなければ、元の状態に戻ります。Safe modeで起動して、その後、再起動しても問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。その場合は再セットアップが必要になりますので、本書の「PART2 再セットアップするには (P.89)」をご覧くださいの上、再セットアップしてください。



「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった

ハードディスクに異常がないかチェックが行われ、ハードディスクに異常がなければ、Windows 98が起動します。

正常に起動しなかったときは、画面の指示にしたがってください。再セットアップの必要があるときは、再セットアップしてください。

メモ

前回、電源を切ったときに、正しく電源を切らなかったときや、スタンバイ状態のときにACコンセントが抜けたり停電すると、このメッセージが表示されます。

スキャンディスクプログラムを実行してシステムファイルに異常が見つかったときや、スキャンディスクプログラムで異常は見つからないがうまく起動できない、あるいは動作が不安定なときは、再セットアップが必要になります。

定期的にスキャンディスクプログラムを実行してディスクに異常がないかどうか確認してください。

参照

再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(P.89)

スキャンディスク→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「ハードディスクドライブ」



「Invalid system disk Replace the disk....」と表示される

フロッピーディスクがセットされている場合

システムの入ったフロッピーディスクをセットし直して何かキーを押さか、フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直して、再起動してください。

フロッピーディスクがセットされていない場合

Windows 98起動ディスクから本機を起動してハードディスクにスキャンディスクを実行して、ハードディスクを調べてください。

問題が発見された場合は画面の指示に従ってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見された場合は本書の「PART2 再セットアップするには」をご覧ください。

また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindows 98がインストールされていない場合も、再セットアップしてください。

メモ

Windows 98でフォーマットしただけでシステムの入っていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されているとこのようなメッセージが表示されます。



「Operating System not found」と表示される

Windows 98起動ディスクで本体を起動して、FDISKコマンドを実行しCドライブの状態を調べてください。

Cドライブがアクティブでない状態になっている

FDISKオプションの「4.領域情報を表示」で「領域C:」の「状態」のところに「A」がついているか確認してください。

ついていない場合は、アクティブでない状態になっているので、FDISKコマンドの「2.アクティブな領域を設定」を利用して、アクティブの状態にしてください。

ドライブ自体がフォーマットされていないとき

「PART2 再セットアップするには (P.89)」をご覧くださいの上、再セットアップしてください。



電源を入るとピーッと音がするまたは何かメッセージが表示されるまたは何も表示されない

フロッピーディスクがセットされている場合

フロッピーディスクがセットされている場合は、そのフロッピーディスクにシステムが入っていないか、本機では扱えないフロッピーディスクであることを示しています。本機で使用できるシステムの入ったフロッピーディスクをセットし直して何かキーを押すか再起動してください。またはフロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直して、再起動してください。



本機で使用できるフロッピーディスクについては、『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「フロッピーディスクドライブ」をご覧ください。

フロッピーディスクがセットされていない場合

フロッピーディスクがセットされていないのに起動時にエラーメッセージが表示されたりする場合は、メッセージを書き留めるかまたは症状を書き留めて、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。



エラーメッセージが表示された

エラーメッセージを書き留めて、ご購入元、NECにご相談ください。

参照 ▶ NECのお問い合わせ先→『メンテナンス＆サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』



パスワードを忘れてしまった

BIOSセットアップメニューでのパスワード(ユーザパスワード、スーパーバイザパスワード)の場合

BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを忘れてしまった場合は、『ハードウェア拡張ガイド』PART5 付録」の「パスワードの解除」をご覧ください。パスワードを解除して、再設定してください。

Windows 98でのパスワードの場合

Windows 98のパスワードを忘れてしまった場合、【Esc】を押すと、Windows 98が起動して、本体は使用できますがネットワークには接続できなくなります。再設定したい場合には、再セットアップが必要になりますので、本書の「PART2 再セットアップするには」(P.89)をご覧ください。再セットアップしてください。



Windows 98のパスワードは、ネットワークの設定などをしたら、設定されるようになります。ネットワークへのログインパスワードについては、ネットワーク管理者にご相談ください。



Windowsの起動に時間がかかる

TCP/IPプロトコル使用時においてWindows 98の起動やスタンバイ状態からの復帰の時間が長いことがあります。

この場合は、次の方法のいずれかを行ってください。

- ・ ネットワーク上に正常にDHCPサーバを接続する
- ・ TCP/IPプロトコルにIPアドレスを設定する
- ・ ネットワークの設定からTCP/IPを削除する
- ・ 次の手順で一時的にネットワークを無効にする(ネットワークに未接続の場合)

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリック

「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「NEC PK-UG-X006 (PCI) or compatible Fast Ethernet Adapter」をダブルクリック

「デバイスの使用」の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックを付けて「OK」ボタンをクリック

「閉じる」ボタンをクリックし、Windowsを再起動する

電源を切ろうとしたが...

本機の電源は必ずこの手順で切ってください。正しい手順を守らないと、データやプログラム、本機が壊れてしまう場合がありますので、特に注意してください。



電源を切れない。強制的に電源を切りたい

本機の電源を切るときは、「正しい電源の切りかた」にしたがってください。

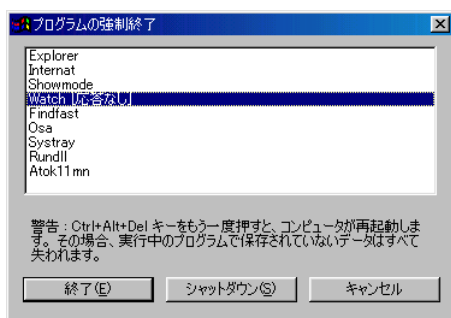
正しい電源の切りかた

「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックし、「電源を切れる状態にする」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源を切れないときには、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。次の「プログラムの強制終了」にしたがってください。

プログラムの強制終了

【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を同時に押すと、「プログラムの強制終了」の画面が表示されます。



プログラム名の右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「終了」ボタンをクリックします(このアプリケーションで編集した文書、画像などは保存できません)。もう一度、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」を選択してください。

この方法でも電源を切れないときは、次の「強制的に電源を切る方法」にしたがってください。

強制的に電源を切る方法

本機の電源スイッチを4秒以上押しつづけてください。



- ・ 強制的に電源を切った場合は電源を入れ直してWindowsを起動した後もう一度正しい手順で電源を切ってください。
- ・ Windows 98セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。



ワープロなどで文書を保存せずにアプリケーションを終了した。または、電源を切った。保存していないデータを消してしまったアプリケーションを終了したり、電源を切ると、フロッピーディスクやハードディスクに保存していないデータは消えてしまいます。



万一のアクシデントに備えて、データはこまめに保存しておくようにしましょう。

スタンバイ機能を使おうとしたら...

本機には、作業を中断するときなどに、作業内容を記憶して本機の一部の電源を切るスタンバイ機能があります。スタンバイ状態から復帰するときには、本機のスリープボタンを押します。



参照 ▶ スタンバイ機能→『活用ガイド ハードウェア編』PART1本体の構成各部」の「電源」



スリープボタンを押してもスタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない(スタンバイ状態から復帰できない)

アプリケーションや周辺機器はスタンバイ機能に対応していますか？対応していないアプリケーションや周辺機器でスタンバイ機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ機能は使わないでください。

電源ケーブルは正しく接続されていますか？

電源ケーブルをコンセントに接続します。

スタンバイ状態中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？

スタンバイ状態中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、スタンバイ状態になる前の内容は消えてしまいます。

スタンバイ状態中やディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを約4秒以上押し続けませんでしたか？スタンバイ状態中に電源スイッチを約4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、スタンバイ状態になる前の内容は消えてしまいます。



設定した時間にシステムスタンバイが実行されない

ACPIモードで使用時に、「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の「電源の管理」をダブルクリックし、「システムスタンバイ」の設定時間を、「モニタの電源を切る」の設定時間よりも後にした場合、「システムスタンバイ」は「モニタの電源を切る」が実行されてからの時間となります。よって、次のような設定がされている場合、実際にシステムスタンバイが実行されるのは、「モニタの電源を切る」の20分後である35分後となります。

「システムスタンバイ」→20分後

「モニタの電源を切る」→15分後

「システムスタンバイ」を20分後に設定したい場合は、次のように設定してください。

例1:

「システムスタンバイ」→15分後

「モニタの電源を切る」→5分後

例2:

「システムスタンバイ」→20分後

「モニタの電源を切る」→なし



パソコンがこわれそう...



本機から煙が出たり、異臭がしたりする

本機が、手で触れられないほど熱い

本機から異常な音がする

そのほか、本機および本機に接続されたケーブル類に、目に見える異常が生じた

このようなトラブルが発生した場合は、次の手順で対応してください。

すぐに、電源を切る

電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。

ご購入元、最寄りのBit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションに相談する



参照 NECのお問い合わせ先→『メンテナンス & サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』



チェック!! 本機を安全に使用するための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。本機をお使いになるときは、必ず注意事項を守ってください。



キーボードに飲み物をこぼしてしまった

『活用ガイド ハードウェア編』PART3 付録の「本機のお手入れ」にしたがって、柔らかい布などで拭き取ってください。

キーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。

乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス＆サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいに拭き取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。



安全ピン、クリップなど異物を本体内部に入れてしまった

すぐに電源を切り、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜き、ご購入元にご相談ください。



チェック!

発煙、発火や故障の原因となります。



CD-ROMから異常な音がする

CD-ROMにラベルなどを貼っていませんか？

CD-ROMにラベルなどを貼ると、回転時にバランスがとれず、異常な音が出ることがあります。

CD-ROMの表面にはラベルなどを貼らないでください。

参照

CD-ROMの取扱い→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「CD-ROMドライブ」



画面がおかしい...

参照 『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ディスプレイ」



画面の表示位置やサイズがおかしい

ディスプレイセットモデルのディスプレイを使っているとき
『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ディスプレイ」にしたがって、表示位置やサイズを見やすく調整してください。

別売のディスプレイを使っているとき

ディスプレイで表示位置やサイズを調節できることがあります。くわしくはディスプレイのマニュアルを見てください。



MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった

【Alt】を押したまま【Enter】を押してください。



画面が流れるように表示される

一部のDDC対応ディスプレイにおいて、ディスプレイ情報ファイル(Monitor.Inf)がないためにディスプレイの同期が取れず、画面が流れるように表示される場合があります。

この場合には、ディスプレイ製造元より最新のディスプレイ情報ファイル(Monitor.Inf)を入手し、セットアップしてください。

画面の設定を変えようとしたら...

ディスプレイの設定は、「コントロールパネル」の「画面」で行います。

参照

Windows 98の『ヘルプ』活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ディスプレイ」



ディスプレイの省電力機能が設定できない

ディスプレイの省電力機能は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「電源の管理」をダブルクリックして、設定します。

本機と別売のディスプレイを使っているときは、ディスプレイが省電力機能(パワーマネジメント機能)に対応しているか確認してください

省電力機能(パワーマネジメント機能)に対応していないディスプレイを接続しているときは、ディスプレイの省電力機能の設定はできません。セットモデルのディスプレイは、省電力機能に対応しています。別売のディスプレイを使うときは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

「ディスプレイの詳細プロパティ」にディスプレイの種類は表示されていますか？

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックして、「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックします。「ディスプレイの詳細プロパティ」の画面の「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。セットモデルのディスプレイの種類は、『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ディスプレイ」にしたがって指定してください。別売のディスプレイについては、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。



「ディスプレイの種類が指定されていません...」というメッセージが表示される

「ディスプレイの詳細プロパティ」にディスプレイの種類は表示されていますか？

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックして、「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックします。別売のディスプレイをお使いの場合は、「ディスプレイの詳細プロパティ」の画面の「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されることがあります。この場合は、「変更」ボタンをクリックし、「デバイスの選択」の画面で使っているディスプレイの種類を指定してください。



ディスプレイに添付のマニュアル



表示できるはずの高解像度を選べない

別売のディスプレイでは、プラグ&プレイ(DDC)対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度(1280×1024ピクセル)など、サポートしている表示モードの一部を選択できないことがあります。次の操作で解像度が選択できるようになります。

ディスプレイを接続し、Windows 98を起動する

起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示される場合があります。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブをクリック

「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリック

「オプション」の「プラグアンドプレイモニタを自動的に検出する」チェックボックスをクリックして ☐ (オフ)にする

「OK」ボタンをクリックし、順に「OK」ボタンをクリックして、コントロールパネルを閉じる

「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリック

「Windowsの終了」の画面が表示されます。

「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
Windowsが再起動します。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブをクリック

「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックして、「変更」ボタンをクリック

 **チェック!** 「モニタ不明」の場合は手順へ進んでください。

「次へ」ボタンをクリック

「検索方法を選択してください。」というメッセージが表示されたら「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

「すべてのハードウェアを表示」を選択する

「デバイスドライバの更新ウィザード」一覧より、「製造元」と「モデル」を選択する

 **モ**

一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」で(標準モニタの種類)、「モデル」では接続したディスプレイに対応した解像度を選択してください。

「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリック

「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリック

「OK」ボタンをクリック

これでディスプレイの設定が完了しました。

再起動後に、高解像度を選択できるようになります。



アイコンの表示がおかしい

「コントロールパネル」の「画面」で「設定」タブをクリックすると「色」の設定ができますが、「色」を「High Color」または「True Color」に設定した状態で「デザイン」タブの項目の設定を変更すると、ウィンドウ内のアイコンの表示が不正になる場合があります。この場合は、「画面プロパティ」の「デザイン」タブをクリックし、「指定する部分」で「ウィンドウ」を違う色に変更するとアイコン表示が元に戻ります。



シャットダウンできない

タスクバーにある画面の解像度や色数を変更できる「設定インジケータ」をクリックして設定を変更する際に、「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選択して設定を変更すると、正常にシャットダウンできない場合があります。「設定インジケータ」から画面の解像度や色数を変更する場合、変更した後の再起動は「スタート」ボタンの「Windowsの終了」から行ってください。



アプリケーションの画面の色がおかしい

Windows 98の画面の色数を256色で使用すると、アプリケーションの画面の色が正しく表示されない場合があります。

この場合には、デスクトップの任意の場所を右クリックし、表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」をクリックして、「Webページで表示」の左に付いているチェックをはずしてください。

ファイル、フォルダがおかしい...

ファイルが見つからないときや、間違って消してしまったときは、ここを見てください。



ファイルが見つからない

ファイルがどのフォルダに入っているかわからないとき
わからないときは、「スタート」ボタン→「検索」→「ファイルやフォルダ」
で探してください。



フォルダやファイルを保存した日付がわかっているときは、「検索」の「日付」タブで検索できます。

ファイルのアイコンが、ほかのアイコンの下に重なって見えなくなっていますか？

そのフォルダのウィンドウの「表示」の「等間隔に整列」をクリックし、アイコンを並べなおしてください。

隠しファイルなど、ファイルを表示しない設定が有効になっていませんか？

マイコンピュータやエクスプローラの「表示」の「フォルダオプション」の「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルの表示」で、「隠しファイルとシステムファイルを表示しない」のチェックマークを外してください。



必要なファイルを消してしまった

「ごみ箱」を開いて、フォルダやファイルが残っていないか確認してください

残っていたら、元に戻したいフォルダやファイルをクリックして、「ごみ箱」の「ファイル」メニューをクリックし、「元に戻す」をクリックすると元に戻すことができます。



Windows 98では、フォルダやファイルを削除すると、いったん「ごみ箱」に保管されます。間違ってフォルダやファイルを削除しても、「ごみ箱」から元に戻すことができます。

ただし、フロッピーディスクやMOディスクおよびネットワーク上に保存されているフォルダやファイルを削除したときは、「ごみ箱」には保管されないの、元に戻すことはできません。



長いファイル名をつけられない。表示できない

MS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っていますか？

Windows 98で、Windows 98用のソフトウェアを使っているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文字までの長い名前を使えますが、Windows 98でMS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前を付けることはできません。



ファイルの拡張子が表示されない

マイコンピュータやエクスプローラの「表示」の「フォルダオプション」の「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルとフォルダ」で、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックマークを外してください。



文書を保存せずに電源を切った(または、アプリケーションを終了した)ら、データが消えた

電源をオフにすると、フロッピーディスクやハードディスクに保存していないファイルは消えてしまいます。万に備えて、大切なファイルはこまめに保存しておくようにしましょう。



システムファイルチェッカーを使っていたらファイルが壊れていると表示された

工場出荷時直後の状態でも「システムファイルチェッカー」で変更のあったファイルをスキャンした場合、USER.EXEが壊れている旨のメッセージが表示されますが、実際にはファイルは壊れていません。

メッセージが表示された場合は、以下の手順でファイルを復元後、チェックを継続してください。

「ファイルを復元する」を選択し、「OK」ボタンをクリック

「ファイルの復元」の画面で「復元元」に「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力する

「ファイルの保存先」が「C:¥WINDOWS¥SYSTEM」になっていることを確認して「OK」ボタンをクリック

「バックアップファイル」の画面が表示されます。

バックアップファイルを作る場合は、ファイルの保存先を指定して「OK」ボタンをクリック

バックアップファイルを作らない場合は、「スキップ」ボタンをクリックします。

「システムファイルのスキャンが終了しました。」というメッセージ表示されたら、「OK」ボタンをクリック

再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

音がおかしい...

異常な音がするときや、スピーカの音を調整したいときは、ここを見てく
ださい。

参照 音量の調整→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の
「サウンド機能」



異常な音がする

本機の内部から、ガリガリと物をひっかくような音がしたり、ガガ
ガと引っ掛かるような音がしたとき

参照 「パソコンがこわれそう...」をご覧ください。

ハードディスクを使っているとき

ディスクランプの点滅と合わせて、本体より小さな音がする場合があり
ますが、これはハードディスクドライブの動作によるもので異常ではあ
りません。ご心配の場合には購入元にご相談ください。



スピーカから「キーン」という音がする(ハウリングを起こす)

マイクロホンをスピーカに近づけると、スピーカから「キーン」という大
きな音が出ることがあります。これをハウリングといいます。故障ではあ
りません。マイクロホンをパソコン本体から遠ざけて、パソコン本体正面
の内蔵スピーカボリュームで音量を下げてください。



ダイヤラを利用時に音がでない

ダイヤラがボイス機能対応FAXモデムに対応していないのが原因です。
ボイス機能対応のアプリケーションをご利用ください。



サウンド再生中に雑音が入る

YMF724サウンドドライバ搭載機種(MA33H/S、MA30H/S)においてサウ
ンド再生中にハードディスクのアクセスを行うと雑音が入ることがあり
ます。

この場合は、「コントロールパネル」の「ヤマハDS-XG設定」の「シンセ」タ
ブにある「シンセサイザーエフェクト」のチェックをすべて外すと、この
雑音が軽減されることがあります。

マウスを動かしても...

正常な状態では、マウスを動かすと、画面のマウスポインタが移動します。マウスポインタは、   など、形を変えることがあります。

参照 マウスの設定を変えるには→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部」の「マウス」の「設定を変更する」



マウスを動かしても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形になっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、マウスの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

マウスとキーボードおよびキーボードと本体との接続を確認してください。

『はじめにお読みください』をご覧ください。マウスとキーボードおよびキーボードと本体を接続しなおしてください。マウスのコネクタがキーボードから抜けていたり、キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと差し込まれていないとマウスの操作はできません。

しばらく待っても、マウスの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。保存していないデータはなくなります。

参照 プログラムの強制終了の方法→「電源を切ろうとしたが...」(P.170)



マウスの動きが悪い

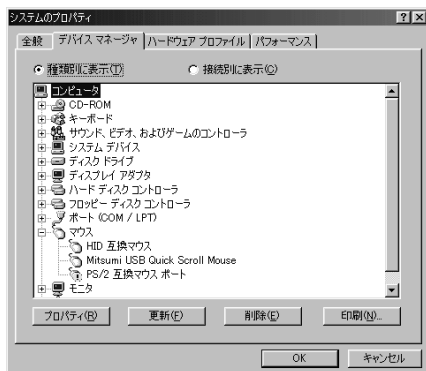
マウスの内部が汚れていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』PART3 付録の「本機のお手入れ」の「マウスのクリーニング」をご覧ください、マウスの内部を掃除してください。



デバイスマネージャの「PS/2互換マウスポート」のところに黄色い!がついている

USB接続のキーボードがセットになったモデルの場合は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックして、「デバイスマネージャ」タブ画面の中の、マウスの中の「PS/2互換マウスポート」のところに黄色い「!」がついていますが、異常ではありません。



「システム情報」→「コンポーネント」の「問題のあるデバイス」に「PS/2互換マウスポート」と表示されている

USB接続のキーボードがセットになったモデルの場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリックし、「コンポーネント」の「問題のあるデバイス」に「PS/2互換マウスポート」と表示されますが異常ではありません。

文字を入力しようとしたら...

文字は、キーボードから入力します。

漢字やひらがななど、日本語の文字を入力するときは、【Alt】を押したまま【半角/全角/漢字】を押して、日本語入力システムをオンにします。
使用できる日本語入力システムはモデルによって異なります。

参照

キーボードの設定を変えるには→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「キーボード」



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

キーボードと本体との接続を確認してください。

『はじめにお読みください』をご覧ください、キーボードと本体を接続しておしてください。

キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと奥まで差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。

アプリケーションの強制終了ができない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

次に、キーボードと本体の接続を確認してください。

参照

プログラムの強制終了の方法→「電源を切ろうとしたが...」(P.170)



キーボードで押したキーと違う文字が表示される

キーボードの  (Caps Lock) ランプが点灯していませんか？

この状態では【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押して、ランプを消すと、【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

日本語入力モードになっていませんか？

英字を入力したいときは、【Alt】を押したまま【半角/全角/漢字】を押して、日本語入力システムをオフにします。



テンキーから数字が入力できない

キーボードの  (Num Lockキーランプ) は点灯していますか？

点灯していない場合は、テンキーからは数字を入力できません。キーボードの【Num Lock】を押してNum Lockキーランプを点灯させてください。



ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない

日本語入力システムはオンになっていますか？

日本語入力システムを次のどちらかの方法でオンにしてください。

- ・ キーボードで【Alt】を押したまま【半角/全角/漢字】を押す
- ・ マウスでタスクバーの  (日本語入力インジケータ) をクリックして、「日本語入力-オン」をクリックする

参照

日本語入力システムの種類を切り替えるには『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「キーボード」「日本語入力」
日本語入力システムそれぞれの設定の変更→日本語入力システムのヘルプ



「 (チルダ)を入力したい

【Shift】を押したまま、 を押します。



「_ (アンダースコア、アンダーバー)を入力したい
【Shift】を押したまま、を押します。



記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

文字コード表は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「文字コード表」をクリック



文字コード表の文字をクリックして、「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選択します。

参照

文字コード表の使いかた→文字コード表のヘルプ



チェック!

ご使用になるアプリケーションによっては、貼り付けた先でフォントを再指定する必要があるものがあります。

ファイルを保存しようとしたら...

ソフトウェアで、文書や画像などのファイルを保存しようとして、うまくいかないときは、ここを見てください。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ハードディスクドライブ」、「フロッピーディスクドライブ」および「スーパーディスクドライブ」



保存できない

ハードディスクに保存しようとしたとき

ディスクの空き容量を確認してください

「ハードディスクの空き容量が足りない」にしたがって空き容量を増やしてください。ディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

フロッピーディスク、スーパーディスク、MOディスク、Zipディスク、PDディスクに保存しようとしたとき

ライトプロテクトされていませんか？

ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

フロッピーディスク、スーパーディスク、MOディスク、Zipディスク、PDディスクには、記録されている内容を間違えて消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能（ライトプロテクト機能）があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできる方にずらしてください。

ディスクには、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

ディスクの空き容量を確認してください

ディスクの空き容量が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

CD-ROMに保存しようとしたとき

CD-ROMは読み込み専用のディスクなので、ファイルを保存することはできません。

そのほかのディスクに保存しようとしたとき

不要なファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。



ファイル名の後ろに、入力していない文字「.TXT」「.DOC」などがつく

これは、ファイルの種類を区別するための文字(拡張子)がファイル名の最後に自動的につけられたためで、異常ではありません。

おもな拡張子

拡張子には、次のようなものがあります。

.TXT	テキストファイル
.DOC	テキストファイル、 Microsoft WORDの文書データ
.JTD	一太郎8/9の文書データ
.BMP、.JPG、.TIF	画像データ
.HLP	ヘルプファイル
.WAV	WAVE形式の音声データ
.EXE、.COM	実行可能プログラム



長いファイル名をつけられない

「ファイル、フォルダがおかしい...」(P.181)をご覧ください。



LAN(ローカルエリアネットワーク) に接続しようとしたら...

LANの接続については、ネットワーク管理者に相談してください。
ネットワークを運用中は、リンクケーブルを取り外さないでください。



ネットワークに接続できない

接続後はデスクトップの「ネットワークコンピュータ」からもLANを使用することができます。この画面には本機と、同じネットワークに接続しているほかのコンピュータが表示されます。

ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」で調べることができます。



チェック!

ネットワークコンピュータに表示されるまでには時間がかかることがあります。その場合は、しばらく待ってから「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。



共有ファイルやフォルダが使えない

ネットワーク上で、お客様がご使用になるコンピュータと、ほかのコンピュータとでファイルを交換するためには設定が必要になります。

お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていない

共有ドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続されたほかのコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

まず「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、共有サービスが追加されているか確認します。追加されていない場合は追加してください。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」

共有ドライブまたはフォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されている

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。



チェック!!

お客様が共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。



FAXモデムを使おうとしたら...



内蔵FAXモデムボードを4線式の回線につなぎたい

4線式の回線は接続できません。2線式の回線を接続してください。



FAX受信中に回線が切断されてしまう

FAX受信中にCD-ROMなどを出しませんでしたか？

FAX受信中にCD-ROMなどを出す(イジェクトを実行する)と、回線が切断されてしまう場合があります。

受信中はCD-ROMなどを出さないようにしてください。



ダイヤルが正常に実行できない

「ダイヤラ」で、ダイヤルが正常に実行できない場合は、「ダイヤル中」ダイアログボックスの「オプションの変更」ボタンをクリックし、「リダイヤルする番号」の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してからリダイヤルしてください。

印刷しようとしたら...

印刷がうまくいかないときは、その原因として、プリンタやケーブル、プリンタドライバ、アプリケーションの設定などが考えられます。ひとつずつ確認してください。

参照

プリンタ接続と設定方法→プリンタに添付されているマニュアル『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定』の「ハードウェア環境の設定」



プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

プリンタの電源は、入っていますか？

プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。

接続ケーブルがはずれていたり、接触不良を起こしていませんか？

プリンタのマニュアルにしたがって、本体とプリンタを接続しなおしてください。

プリンタが用紙切れ、トナー、インク切れになってませんか？

プリンタのマニュアルにしたがって用紙やトナー、インクを補充してください。

プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか？

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルにしたがって設定を確認してください。

プリンタのテスト印字はできますか？

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？

プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルを見てケーブルを確認してください。

プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされていますか？

新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。

参照 ▶ プリンタドライバのセットアップ→プリンタのマニュアル

プリンタドライバの設定を確認してください。

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

参照 ▶ プリンタドライバの設定→プリンタのマニュアル

本機のシステム設定を確認してください。パラレルポート(プリンタ)に関する設定があります。

参照 ▶ 『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定」の「ハードウェア環境の設定」

プリンタがLANに接続されていますか？

プリンタがLAN接続されている場合は、ルータおよびマルチポートリピータの電源を確認してください。

フロッピーディスクを使っていたら...

フロッピーディスクまたはスーパーディスクや、外付けのMO、PDなどのリムーバブルディスクを使っていて問題が起きたときは、ここを見てください。

参照

フロッピーディスク、スーパーディスクの使いかた → 『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「フロッピーディスクドライブ」または「スーパーディスクドライブ」



「マイコンピュータ」の3.5インチFDをダブルクリックしたが、フロッピーディスクまたはスーパーディスクの内容が表示されない

「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

フロッピーディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、フロッピーディスクドライブの奥まで入れて、「再試行」ボタンをクリックしてください。

同じメッセージが表示されたときは、「キャンセル」ボタンをクリックし、フロッピーディスクを取り出し、別売のクリーニングディスクを使ってヘッドをクリーニングしてください。

クリーニング後、フロッピーディスクを入れても同じ現象が起きるときは、ほかのフロッピーディスクを入れてみてください。

このとき、ほかのフロッピーディスクをセットすると内容が表示されるときは、元のフロッピーディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困難です。

ほかのフロッピーディスクをセットしても内容が表示されないときは、フロッピーディスクドライブの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先 → 『メンテナンス & サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』

フロッピーディスクのセット→『活用ガイド ハードウェア編』PART1
本体の構成各部』の「フロッピーディスクドライブ」または「スーパーディ
スクドライブ」

メモ

フロッピーディスクドライブのヘッドが汚れると、フロッピーディスク
を読むことができなくなります。ひと月に一回を目安にクリーニング
ディスクを使ってクリーニングしてください。
クリーニングディスクについては、ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス＆サポートのご案内』NEC PC あん
しんサポートガイド』

また、フロッピーディスクが壊れた場合に備えて、フロッピーディスクの
内容はバックアップをとっておくようにしましょう。

バックアップの方法

オリジナル(コピー元)のフロッピーディスクとフォーマットした新しい
フロッピーディスクを用意して、「マイコンピュータ」の「3.5インチFD」を
右クリックして、「ディスクのコピー」を選ぶと、フロッピーディスクごと
コピーすることができます。

「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき
セットしたフロッピーディスクは、このパソコンでは読めないフォー
マットのフロッピーディスクか、フォーマットされていません。
フロッピーディスクに必要なファイルが入っていないければ、「はい」ボタ
ンをクリックしてフォーマットしてから使ってください。

参照

フロッピーディスクのフォーマット→『活用ガイド ハードウェア編』
「PART1 本体の構成各部」の「フロッピーディスクドライブ」



フロッピーディスク、スーパーディスク、MO、PD、Zipディスクの
読み込みはできるが、書き込み(保存)ができない

「ファイルを保存しようとしたら...」(P.190)をご覧ください。



フロッピーディスクに飲み物をこぼしてしまった

本体の故障の原因になるので、汚れたフロッピーディスクは使わないでください。

フロッピーディスクを汚してしまい、保存しておいたデータが使えなくなってしまったときに備えて、バックアップをとっておくようにしましょう。



このパソコンに添付のフロッピーディスクを修復したい

参照 「添付品の修復、再入手方法について」(P.231)



フォーマットができない

本機で読み書きまたはフォーマットできるフロッピーディスクについては『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「フロッピーディスクドライブ」「スーパーディスクドライブ」をご覧ください。



ディスクコピーできない

MS-DOS Ver6.2以前のFORMATコマンドでフォーマットしたフロッピーディスクを「MS-DOSプロンプト」からDISKCOPYコマンドでディスクコピーすることはできません。フロッピーディスクのディスクコピーを行う場合は、「マイコンピュータ」の「3.5インチFD」を右クリックし、表示されたメニューから「ディスクのコピー」をクリックしてください。



ドライブスペース3を使用してフロッピーディスクを圧縮したとき、圧縮されたフロッピーディスクがプログラム上から認識できない

以下の手順により、圧縮されたフロッピーディスクを認識することができます。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「ドライブスペース」をクリック

「ドライブスペース3」の画面で「このコンピュータのドライブ」に「圧縮フロッピーディスク」を選択する

「詳細」メニューの「マウント」をクリック

ドライブスペース3を終了する

ハードディスクを使っていたら...



ハードディスクの動作速度が遅い

ハードディスクを長い間使っていると、データがディスクの空いている場所にばらばらに保存されるようになります。データが連続していないと、データを読み書きする時間が長くなります。このようなばらばらになったデータを最適な場所に整理するには「デフラグ」を行ってください。

参照

デフラグの方法→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ハードディスクドライブ」



ハードディスクに障害がおきた

軽い障害であれば、スキャンディスクプログラムを使って修復することができます。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ハードディスクドライブ」



ハードディスクの空き容量が足りない

ハードディスクの空き容量を増やすには、次の方法があります。

ハードディスクを増設する

ハードディスクの増設の方法は、『ハードウェア拡張ガイド』をご覧ください。

ディスククリーンアップを使う

ディスククリーンアップを実行すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。ディスククリーンアップはハードディスクの内容を検索し、一時ファイル、インターネット一時ファイル、および削除しても影響のない不要なプログラムファイルの一覧を表示します。

ディスククリーンアップは、次の方法で起動することができます。

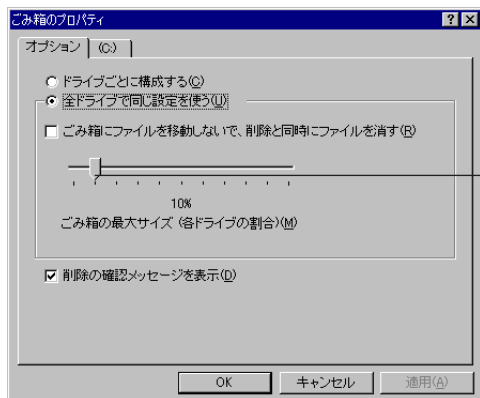
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「ディスククリーンアップ」をクリック

「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」に入っています。ごみ箱を空にすると、ごみ箱に入っていたファイルの分だけ、ハードディスクが空きます。ごみ箱を空にするときは、「ごみ箱」を右クリックして、「ごみ箱を空にする」をクリックします。

「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

ごみ箱の設定は、「ごみ箱」を右クリックし、「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」で行います。



ここをドラッグして最大サイズを調整する

「ドライブスペース3」でハードディスクの内容を圧縮する

ドライブスペースを使ってハードディスクの内容を圧縮すると、空き容量を増やすことができます。

ドライブスペース3が動作中に、一般保護違反のエラーが発生する場合は、以下の手順で「スタートアップ」フォルダのすべてのファイルを別のフォルダに移動させた後、ドライブスペース3を実行してください。

「スタート」ボタン→「設定」→「タスクバーと「スタート」メニュー」をクリック

「タスクバーのプロパティ」の画面が表示されたら、「「スタート」メニューの設定」タブの「詳細」ボタンをクリック

「エクスプローラ」が起動しますので、「すべてのフォルダ」欄の「プログラム」をクリック

「ファイル」メニュー→「新規作成」→「フォルダ」をクリック

ここでは新たに作成したフォルダの名称を「tmp」として説明します。

「すべてのフォルダ」欄の右側に表示されている「スタートアップ」フォルダをクリック

「エクスプローラ」の「編集」メニュー→「すべて選択」をクリック

反転表示した部分を右ボタンでドラッグし、そのまま「すべてのフォルダ」欄の手順で作成した「tmp」フォルダにドロップして、「ここに移動」をクリックし、「スタートアップ」フォルダのすべてのファイルを「tmp」フォルダに移動させる

「エクスプローラ」を終了させ、「タスクバーのプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリック

Windows 98を再起動する

再起動後、ドライブスペース3を実行する

ドライブの圧縮後、「tmp」フォルダのすべてのファイルを「スタートアップ」フォルダに戻し、「tmp」フォルダを削除後、Windows 98を再起動する

参照 ドライブスペース3→「スタート」ボタン→「ヘルプ」の「キーワード」タブで「ドライブスペース3」

インストールされているアプリケーションソフトを削除する

すぐに使わないアプリケーションソフトをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。

参照 アプリケーションソフトの削除→「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」(P.1)

別売のアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されているマニュアルをご覧ください。



ファイルをゴミ箱に捨てても、ハードディスクの空き容量が増えない

削除したり「ゴミ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ゴミ箱」に保管されます。「ゴミ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ゴミ箱」を右クリックして、「ゴミ箱を空にする」をクリックしてください。



領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000で計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1Mバイト=1,024×1,024=1,048,576バイト、1Gバイト=1,024×1,024×1,024=1,073,741,824バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。



ハードディスクを増設したい

本機に増設できるハードディスクの種類については次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

CD-ROMを使っていたら...



参照 CD-ROMのセットのしかた、CD-ROMドライブの使用上の注意→『活用ガイドハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「CD-ROMドライブ」



CD-ROMドライブのディスクトレイを出し入れできない

本機の電源は、入っていますか？

本機の電源を入れて、トレイジェクトボタンを押してください。

電源が切れている状態では、出し入れできません。

電源が入っているのに、CDトレイが出てこない場合は、『活用ガイドハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「CD-ROMドライブ」の「非常時のディスクの取り出し」にしたがって強制的に出してください。

アクセス中またはアプリケーションの動作中ではありませんか？

アクセス中またはアプリケーションの動作中はCDトレイジェクトボタンを押してもすぐに応答しません。



CD-ROMをセットしても自動起動しない

そのCD-ROMは、自動起動に対応していますか？

自動起動に対応していないCD-ROMは自動起動できません。CD-ROMの説明書で確認してください。

対応していないときは、Windows 98のデスクトップ画面の「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブをクリックし、表示されるウィンドウの中のアイコンをダブルクリックして起動してください。

CD-ROMのプロパティで自動起動が設定されていますか？

次の手順でCD-ROMドライブのプロパティを確認します。

「スタート ボタン」→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリック

「CD-ROM」の前の をクリックし、表示されたCD-ROMドライブ名をダブルクリック

「設定」タブをクリック

「自動挿入の通知」のチェックボックスがチェックされていない場合は、にする



ここがになっていないとCD-ROMの自動起動ができません。
画面はモデルによって異なります。

「OK」ボタンをクリック

「閉じる」ボタンをクリック

再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
Windowsを再起動してください。



CD-ROMのデータを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

CD-ROM、音楽CDは正しくセットされていますか？

CD-ROM、音楽CDの表裏を確認して、本体のCDトレイの中心にセットしてください。

CD-ROM、音楽CDが汚れていませんか？

CD-ROMが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使ってください。

参照▶ CD-ROMを取り扱うときの注意→『活用ガイド ハードウェア編』PART1
本体の構成各部』の「CD-ROMドライブ」

CD-ROM、音楽CDに傷が付いていませんか？

傷がついているCD-ROM、音楽CDは使えないことがあります。



添付されているCD-ROMに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

参照▶ CD-ROMの交換のお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』
『NEC PC あんしんサポートガイド』

本機になんらかの振動を与えませんでしたか？

振動を与えないようにして、操作をやりなおしてください。

本機で使えるCD-ROMかどうか確認します

本機で使えるCD-ROMを使ってください。



アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。たとえば、Windows 98を使うときは、Windows 98に対応したCD-ROMを使ってください。

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れしませんでしたか？

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。

音楽CDの再生中はフロッピーディスクを出し入れしないでください。



再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

動画データ再生中に、ほかのアプリケーションを実行していませんか？

ほかのアプリケーションを終了させてください。



動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？

動画を再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。ウィンドウの大きさや位置を変えるときは、いったん動画の再生を停止してからにしてください。



動画の再生中に画面が消えてしまう

Video CDなど、MPEG形式の動画を再生中にディスプレイの省電力機能が働いたり、スタンバイ状態になった場合、再生画面が消えてしまいます。動画を再生するときはディスプレイの省電力機能や、スタンバイ状態にならないように設定してください。



スタンバイ状態→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「電源」



CD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい

このパソコン本体に標準で装備されているCD-ROMドライブのドライブ番号は、Qドライブに設定されていますが、別売のCD-ROMドライブを増設したときやCD-ROMドライブの設定を変更したときなどには、とくに指定しなければ最後のハードディスクドライブの次の番号が割り当てられます(最後のハードディスクドライブがDドライブの場合はEドライブ)。CD-ROMドライブのドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

ここではQドライブに設定する方法を説明します。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリック、「デバイスマネージャ」タブをクリック

「CD-ROM」の前の  をクリックし、表示されたCD-ROMドライブ名をダブルクリック

「設定」タブをクリック

「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ文字」の  をクリックして表示された一覧の中から「Q:」を選ぶ



終了ドライブも自動的に変更されます。

画面はモデルによって異なります。

「OK」ボタンをクリック

「閉じる」ボタンをクリック

再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
Windowsを再起動してください。



MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使いたい

工場出荷時の状態のままでは、MS-DOSモードでCD-ROMドライブは使用できませんので、「PART3 他のOSを利用する」の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する（P.124）をご覧ください。



添付されていたCD-ROMが使えなくなった、こわれた

このパソコンに添付されているCD-ROMに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

参照

CD-ROMの交換のお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』
『NEC PC あんしんサポートガイド』

周辺機器を取り付けようとしたら...

周辺機器を取り付けるときは、周辺機器のマニュアルを見て接続してください。

参照 周辺機器のマニュアル、『ハードウェア拡張ガイド』



周辺機器を取り付けたい

『ハードウェア拡張ガイド』や周辺機器のマニュアルをご覧ください。



このパソコンで使っている割り込みレベルを知りたい

- ・工場出荷時の状態は『活用ガイド ハードウェア編』PART3 付録の「割り込みレベル一覧」をご覧ください。
- ・現在の割り込みレベルについては「デバイスマネージャ」の「コンピュータのプロパティ」で参照してください。



デバイスマネージャの「PS/2互換マウスポート」のところに黄色い!がついている

USB接続のキーボードがセットになったモデルの場合は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックして、「デバイスマネージャ」タブ画面の中の、マウスの下の「PS/2互換マウスポート」のところに黄色い!がついていますが、異常ではありません。そのほかのところで赤い×や黄色い!がついている場合は、その周辺機器が何らかの原因で正常に動作していないことを表示しています。Windowsのヘルプや周辺機器のマニュアル、または『ハードウェア拡張ガイド』をご覧ください。正常に動作するように問題を解決してください。



PC-9800シリーズで使用していたプリンタが使用できない

プリンタインターフェース変換アダプタ(PK-CA101)を使うことにより、PC-9800シリーズで使用していたプリンタが使えるようになります。なお、プリンタによっては変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

参照 プリンタインターフェース変換アダプタ→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」各部の名称の「パラレルコネクタ」



PC-9800シリーズで使用していた1stシリアル機器が使用できない

RS-232C変換アダプタ(PK-CA102)を使うことにより、PC-9800シリーズで使用していたシリアル機器が使えるようになります。

なお、周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

参照

RS-232C変換アダプタ→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部「各部の名称」の「シリアルコネクタ」または「シリアルコネクタ1、2」



PCIボードを取りつけたが動作しない。PCIボードを取りつけたらパソコンが起動しなくなった。ほかの機能が使えなくなった

PCIボードをパソコンに取り付けようとしても、割り込みが不足していることがあります。そのときは、BIOSセットアップメニューで、使っていない割り込みデバイスの割り込みを、「使用しない」に設定してください。たとえば、シリアルポート(B)を「使用しない」に設定すると、それまでシリアルポート(B)に割り当てられていた割り込みをPCIボードで使えるようになります。

例)

本体の電源を入れる

「NEC」のロゴの画面で「<F2>キーを押すと、セットアップを起動します。」と表示されたら、【F2】を押して「BIOSセットアップメニュー」を起動させる

「BIOSセットアップメニュー」の「詳細」→「周辺機器設定」→「シリアルポートB」の設定を「使用しない」にする

【F10】を押して、「はい」を選択して「BIOSセットアップメニュー」を終了させ、再起動する

メモ

他社の周辺機器を使用する場合、最新のドライバを各メーカーより入手してください。お持ちのドライバが最新かどうか分からないときは、各メーカーへお問い合わせください。



シリアルポート(B)を使いたい

工場出荷時ではシリアルポートBは使用しない設定になっております。
使用する場合は以下のように設定してください。

なお、MA40D/C、MA35D/C、MA30H/C、MA30H/Lをお使いの場合は、シリアルポート(B)はサポートしていませんので、使用できません。

本体の電源を入れる

「NEC」のロゴの画面で、「<F2> キーを押すと、セットアップを起動します。」と表示されたら、【F2】を押して「BIOSセットアップメニュー」を起動させる

「BIOSセットアップメニュー」の「詳細」→「周辺機器設定」→「シリアルポートB」の設定を「使用する」にする

【F10】を押し、「はい」を選択して「BIOSセットアップメニュー」を終了させ、再起動する

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリック

「通信ポート(COM2)」がほかのデバイスと競合していないことを確認する



SCSIボードを2枚増設して使用したい

Windows 98では、SCSI ボードを複数枚使用することはできません。
Windows NT4.0を使用してください。



メモリが足りない、増やしたい...

いくつものアプリケーションを同時に起動したり、メモリをたくさん使うアプリケーションを使うときは、メモリが足りなくなることがあります。

参照

メモリの増設 → 『ハードウェア拡張ガイド』



メモリを増やしたい

『ハードウェア拡張ガイド』をご覧ください。

アプリケーションを使っていたら...

アプリケーションを使っていてトラブルが起きたときはここを見てください。



スタンバイ状態から復帰しない

そのアプリケーションはスタンバイ機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションでスタンバイ機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、スタンバイ機能は使わないでください。

この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。



参照 スタンバイ機能→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「電源」

アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか？

すでに複数のほかのアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、本機を再起動してください。



複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。



参照 メモリを増設するには→『ハードウェア拡張ガイド』



削除を中断したら使用できなくなった

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、アプリケーションを選択して「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。



文書を保存せずに電源を切った(またはアプリケーションを終了した)ら、データが消えた

「ファイル、フォルダがおかしい...」の「文書を保存せずに電源を切った(またはアプリケーションを終了した)ら、データが消えた」をご覧ください。



文字を入力できない

「文字を入力しようとしたら...」をご覧ください。



本機で動作するアプリケーションについて知りたい

インターネットのホームページ「98Information」の「98AP情報」でアプリケーションの情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>



工場出荷時にインストールされたアプリケーションを削除したい

「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加 (P.1)」をご覧ください。

メモ

一度削除すると再セットアップしないかぎり元にもどせない(追加できない)アプリケーションもあります。削除するときは十分注意してください。



フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。このときは、「コントロールパネル」の「画面」を使って、画面の表示色を変更してください。



ハードウェアウィザードを実行すると、「SOUND Blaster Pro Compatible」および「ゲームポートジョイスティック」がデバイスマネージャに追加される

ハードウェアウィザードを実行すると、「SOUND Blaster Pro Compatible」が組み込まれる場合があります。この場合は、次の手順で削除してください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 4 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の「Sound Blaster Pro Compatible」および「ゲームポートジョイスティック」を削除する



アプリケーションをインストールできない

アプリケーションがこのパソコンに対応しているか確認します。アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか？

インストール先をハードディスクのドライブ名(工場出荷時の状態では、Cドライブ)に変えて、インストールしてください。

デスクトップがWebページで表示されていませんか？

デスクトップをWebページで表示していると、アプリケーションがインストールできない場合があります。その場合は以下の手順を行ってください。

インストールできることがあります。

デスクトップの任意の場所で右クリック

表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」をクリックして、「Webページで表示」の左に付いているチェックを外す

Windows 98対応と明記されていないMS-DOS用、または、Windows 3.1用またはWindows 95用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか？

MS-DOS、Windows 3.1用またはWindows 95用のアプリケーションのなかには、Windows 98にはインストールできないものがあります。Windows 98対応と明記されていないアプリケーションについてはアプリケーションのメーカーにお問い合わせください。



別売のアプリケーションについて知りたい

各アプリケーションの製造元にご確認ください。



動作が非常に遅くなった

ハードディスクの中にデータがたくさん蓄積されたため、ハードディスクの空き領域が減り、Windows 98の動作が遅くなった可能性があります。

Windows 98のインストールされているハードディスクのアイコンにマウスポインタを合わせて「プロパティ」を選択し、空き領域を確認してください。空き領域が100MBより少なくなっている場合は、必要のないデータを削除したり、アプリケーションを別のハードディスクにインストールしてCドライブから削除したりしてください。

参照

「ハードディスクを使っていたら...」(P.200)「ハードディスクの空き容量が足りない」(P.200)



再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい

アプリケーションを選んで再セットアップすることはできません。ただし、一太郎モデル、Wordモデルや一太郎9&1-2-3 98モデルでは、再セットアップしてもそれぞれ一太郎9バック、Word&Excelや一太郎9&1-2-3 98はセットアップされません。「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加 (P.1)」をご覧ください、インストールを行ってください。

インストールしたくないアプリケーションがあるときは、再セットアップした後で、削除してください。



Windows 3.1対応ソフトウェアが起動しない。使っていたら本体が反応しなくなった

以下の内容はWindows 3.1対応アプリケーションが正常に動作しないときの対処方法です。

お使いになっているWindows 3.1対応ソフトウェアの動作環境を確認してください。

Windows 3.1用のアプリケーションの中には、Windows 98では動作しないものがあります。詳しくはアプリケーションの製造元にお問い合わせください。

MS-IME98、ATOK12を使っていますか？

MS-IME98、ATOK12を標準でご使用の状態でWindows 3.1用に開発されたアプリケーションを実行すると、まれに(主としてセットアップ時に)プログラムが停止する場合があります。次の方法でWindows 3.1対応アプリケーションのWindows 98への対応を行ってください。なお、通常は、Windows 98への対応を行う必要はありません。そのままWindows 3.1対応アプリケーションをお使いください。

また、Windows 3.1対応アプリケーションのWindows 98対応は1つのアプリケーションに対して、1度だけ行えば、以後毎回有効です。ただし、アプリケーションが異なった場合はそのアプリケーションのために、再度次の方法を行う必要があります。

WIN.INIを変更する前にWIN.INIのコピーをとっておきます。

次の方法ではWIN.INIを変更しますので、「手順」を実行される前に、Windows 98のフォルダ(既定値では、C:\WINDOWS)にあるWIN.INIのコピーを取っておくことをおすすめします。

以下の手順でクイックビューアをセットアップします。すでにクイックビューアのセットアップを行っている場合は、手順へお進みください。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の画面の「Windows ファイル」タブをクリック

「ファイルの種類」の中から「アクセサリ」をクリックし、「詳細」ボタンをクリック

「ファイルの種類」の中から「クイックビューア」の左についているチェックボックスをチェックし、「OK」ボタンをクリック

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の画面で、「OK」ボタンをクリック

クイックビューアのセットアップが行われます。

Windows 98のデスクトップの画面を表示して「マイコンピュータ」をダブルクリック

症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのあるドライブまたは、フォルダをダブルクリックし、実行プログラムのアイコンを右クリック

セットアップ中に症状が起きた場合は、セットアッププログラムのアイコンを右クリックしてください。

メニューから、「クイックビューア」をクリック

選んだWindows 3.1対応アプリケーションの情報(テクニカルファイル情報)を表示する画面が開きます。

「モジュール名」の右側に表示されている文字をメモする
ここでは仮に「ABC」とします。

「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行(R)…」をクリック

「名前(O)」欄に「WIN.INI」と入力する

「OK」ボタンをクリック

「メモ帳」が起動して、WIN.INIが表示されます。

「検索」メニューから「検索」をクリック

「検索」ダイアログが開きます。

「検索する文字列:」欄に「[Compatibility]」と入力する

「次を検索」ボタンをクリック

本文内の「Compatibility」が選択されます。

「検索」ダイアログ内の「キャンセル」ボタンをクリック

【End】を押す

「Compatibility」の後ろにカーソルが移動します。

【Enter】を押す

新しい行が作成されます。

手順 でメモした文字(ここではABC)を入力する

- ② 手順 で入力した文字に続けて「=0x00400000」を入力する(xはアルファベット小文字のエックスです)

手順 で作成された行に以下の内容が表示されます。

ABC=0x00400000

- ② 「メモ帳」の「ファイル」メニューから「上書き保存」をクリック

- ③ 「メモ帳」の「ファイル」メニューから「メモ帳の終了」をクリック

Windows 3.1対応アプリケーションがご使用になれます。



Internet Explorer3.02を使いたい

Internet Explorer3.02は利用できません。



Windows 95から削除された主な機能を知りたい

削除された主な機能は、次の通りです。

- Microsoft Fax
- Microsoft Exchange
- Internet Mail and News



本機にインストールされているDirect Xのバージョンを知りたい

Direct X6です。

タイマ機能を使おうとしたら...



Timer-NXで電源が入らない

Timer-NXを設定しても、自動的に電源が入らない。

電源ケーブルの接続を確認します

電源ケーブルをACコンセントに接続します

パスワードが設定されているか確認します

ネットワークの設定やBIOSセットアップメニューなどで、パスワードを設定すると、起動時にパスワードを入力しないと、Windows 98が起動しなくなります。この場合はBIOSセットアップメニューの「起動時のパスワード」を「使用しない」にしてください。

ACPIモードになっていませんか？

ACPIモードになっていると、Timer-NXで電源を入れることができません。APMモードに切り替えてください。

参照

モードの確認、モード切り替え→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「電源」



Timer-NXで電源を切ったり、スタンバイ状態にできない

終了時に操作の必要なアプリケーションが起動していませんか？データの保存など、終了時になにか操作をしないと終了できないアプリケーションが起動していると、Timer-NXで自動的に電源を切ることはできません。

Timer-NXの設定を確認します

Timer-NXで「オン」を設定した時間に、すでにパソコンの電源が入っているときは、その後「オフ」を設定した時間がきても、電源は切れません。

参照

「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「Timer-NX」(P.61)

日付の設定を変えようとしたら...

日付や時刻が合っていないと、保存したファイルの時間がずれたり、インターネットで送信したメールの日付がおかしくなったりします。



日付と時刻を合わせたい

「コントロールパネル」の「日付と時刻」で設定してください。



本機内蔵のカレンダー時計は、電池により電源を供給されており、電源を切っても動いています。日付と時刻を設定してもなお日付や時刻がずれる場合は、ご購入元にご連絡ください。

コンピュータウイルス対策について

コンピュータを回線やネットワークにつないで、データのやりとりが多くなると心配なのがコンピュータウイルス(以降ウイルス)です。ここでは、ウイルスとはどんなものか、また、ウイルスの予防法と、検査するためのアプリケーションについて説明しています。



コンピュータウイルスとは...

コンピュータウイルスとはプログラムの一種です。ユーザ(使用者)が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

用語 ウイルス

コンピュータウイルスが「ウイルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入り込んだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりすると、本物のウイルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病といいます。

ウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

ファイル感染型ウイルス

一般に、実行型ファイル(拡張子がEXEやCOM)に感染するタイプのウイルスです。ファイル感染型ウイルスに感染したファイルを実行すると、ほかの実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることでほかのデータファイルに感染します。

ブートセクタ型ウイルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

フロッピーディスク、スーパーディスクまたはネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウイルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・ フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。
- ・ 出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。
- ・ 入手したプログラムはウイルス検査をすませてから使用する。
- ・ パーソナルコンピュータのウイルス検査は定期的に行う。

本機には「VirusScan」が用意されています

NCSA認定スキャナであるVirusScanは、「イン・ザ・ワイルド」ウイルスを検出することができます。認定状況については、NCSAのWebサイト(<http://www.ncsa.com>)をご覧ください。

VirusScanを定期的に利用して、ウイルスに感染していないかどうか、チェックさせることをおすすめします。



チェック!!

VirusScanは工場出荷時の状態ではインストールされていません。

お使いになる場合は「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「VirusScan (P.32)」を参照してVirusScanをインストールしてください。

コンピュータウイルスを発見したら

ウイルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウイルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウイルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、スーパーディスク、ハードディスク、MOディスクなど)をすべてウイルス検査する必要があります。

コンピュータウイルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウイルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体（通称IPA）がウイルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウイルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので（平成7年7月7日付通商産業省告示第429号）届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先（IPA）

本部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目1番38号

秀和芝公園3丁目ビル

電話 03-3437-2301 FAX 03-3437-5386

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>

その他

これ以前のところで質問が見つからなかったときは、ここを見てください。



西暦2000年問題について知りたい

本機は、西暦2000年問題に対応していますが、アプリケーションによっては問題が発生することが考えられます。

アプリケーションが西暦2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。



NECでは、インターネットのホームページ「98Information」の「98AP情報」で、西暦2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>



西暦2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。

西暦2000年を迎えた時に、アプリケーションによっては、年号が00年になってしまい、日付をキーにする期間計算等の結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。

これがコンピュータの西暦2000年問題です。

本機に添付されているアプリケーションは西暦2000年問題に対応しています。



マニュアルをなくしてしまった

本機に添付されているNEC製のマニュアル『はじめにお読みください』、『安全にお使いいただくために』、『活用ガイド ハードウェア編』、『ハードウェア拡張ガイド』、『活用ガイド ソフトウェア編』は、購入することができます。なお、在庫状況によっては、ご期待に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お買い求めの際は、NEC PCマニュアルセンターへお問い合わせください。

- ・ 販売方法：電話・FAXによる通信販売
いただいたFAXに対するご回答は、翌営業日以降となります。
- ・ お申し込み先：NEC PCマニュアルセンター
(電話)03-5476-1900
(FAX)03-5476-1967
営業時間：月～金曜日
AM10:00～12:00 PM1:00～4:00
(土日祝日年末年始を除く/FAXは24時間受付)

取り扱い品目などの詳細はホームページ上でご案内しております。

ホームページアドレス：<http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/>

なお、再セットアップに必要なプロダクトキーが印刷されているマニュアル(『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』など)は再入手できませんので、紛失しないように十分ご注意ください。
マニュアルの書名やパソコンの型名、プロダクトキーなどは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。



本機を海外で使いたい

海外では使えません。



テレビやラジオに雑音が入る

テレビ、ラジオやほかの電子機器は、本機から遠ざけてください。また、本機は、それらの機器とは別のACコンセントにつないでください。



本機を廃棄したい

本機を廃棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。くわしくは、各地方自治体にお問い合わせください。



トラブルを予防するには...

- 電源は、正しい順序で入れる / 切る

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「電源」をご覧ください。

- 大切なデータはバックアップをとっておく

パソコンを使っていると、うっかりファイルを消してしまったり、ドライブが故障してしまったりと、大切なデータをなくしてしまうことがあります。そんなときにもフロッピーディスクやMOディスクにデータをコピーして予備のデータをとっておくと安心です。

また、本機に添付されている「バックアップCD-ROM」を使用して再セットアップする場合には、ご自分でハードディスク内に作成されたデータやインストールされたアプリケーションソフトは、すべて消去されます。必ず、再セットアップする前に、これらのデータをバックアップしてください。

バックアップをとる方法は、「Masty Data Backup (P.46)」をご覧ください。

- メンテナンスウィザードを使って定期的にメンテナンスを行う

メンテナンスウィザードを使って、ハードディスクの軽い障害を修復するスキャンディスク、プログラムをより速く実行するデフラグ、ハードディスクの空き容量をより多くするディスククリーンアップなどのシステムツールを定期的に実行させるようにできます。

設定されたシステムツールは、「マイコンピュータ」の「タスク」フォルダに登録されます。ここで、登録された日時や曜日は後で変更することができます。

メンテナンスウィザードは、次の方法で起動することができます。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「メンテナンスウィザード」をクリック

- 改造をしない

本機用のマニュアルに記載されている方法以外で、本機の改造や修理をしないでください。マニュアルに記載されている方法以外で改造や修理をした製品については、当社のサービスの対象外となることがあります。

- あらかじめ起動ディスクを作っておく

Windows 98の調子がおかしくなったり、ちょっと設定を変更したらWindows 98そのものが起動しなくなってしまうことがあります。

こんなときに、起動ディスク(Windows 98を起動するフロッピーディスク)を使って本機を起動して、本機を検査したり、設定を変更したりすると解決に役立つことがあります。

起動ディスクは、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の「起動ディスク」タブの「ディスクの作成」ボタンで作成できます。



アフターケアについて



保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、Bit-INN、NECのサービスセンター、サービスステーションで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『メンテナンス＆サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』または本書をご覧ください。



消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自信で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	フロッピーディスク CD-ROM
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗または劣化し、修理再生が不可能な部分です。NECサービスステーションなどで交換し、お客さまに部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	CRTディスプレイ (ブラウン管) 液晶ディスプレイ いずれもディスプレイがセットになっているモデルのみ。

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。



添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものについては、修復または再入手が可能です（有料）。

フロッピーディスクの修復、CD-ROMの再入手についてのお問い合わせ先は、添付の『メンテナンス＆サポートのご案内』『NEC PC あんしん サポートガイド』をご覧ください。

- ・ フロッピーディスク
- ・ CD-ROM



本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件にしたがってください。また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きにしたがって、登録内容の変更を行ってください。

パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。

譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡（売却）される場合は、以下の条件を満たす必要があります。

本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること（本体に添付されている『ソフトウェア使用条件適用一覧』をご覧ください）

譲渡を受けられるお客様へ

NECからお客様へ、お知らせを送付することがありますので、必ず登録内容の変更に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でご返送ください。

ただし、『98OFFICIAL PASSお客様登録申込書』が未使用で残っている場合は、その申込書をご返送ください。

記載内容

本体保証書番号(製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No. (いずれのソフトも同一)

「Serial No.」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル)

NEC

98OFFICIAL PASS登録センター係行



活用ガイド ソフトウェア編

PC98-**NX** シリーズ

Mate NX

(Windows 98インストールモデル)

初版 1998年11月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。